

88-244イ



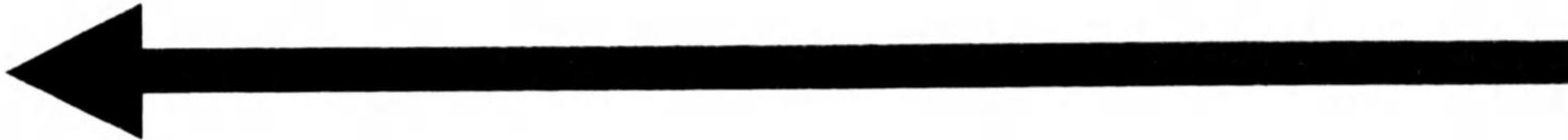
1200701731433

88

244



始



88-244

八

法律

目次

憲法	一頁
民法	八頁
行政法及府縣郡市町村制	二十二頁
刑法	五十九頁
民事訴訟法	六十一頁
刑事訴訟法	八十頁
讀書(國語漢文)	九十六頁
作文	百二十三頁
歷史	百七十頁
地理	百九十一頁

簿記……………百九十六頁
 筆寫……………二百九頁
 數學(算術及代數)……………二百十二頁
 實地受験者答案
 山梨縣文官普通試驗(卅六年四月)……………二百五十四頁
 山形縣文官普通試驗(卅五年七月)……………二百六十七頁
 千葉地方裁判所書記試驗(卅八年九月)……………二百八十七頁
 宇都宮地方裁判所書記登用試驗實地受験者答案(四十年三月) 三百二十六頁
 新潟縣文官普通試驗實地受験者答案(四十年四月)……………三百三十七頁
 盛岡地方裁判所書記登用試驗實地受験者答案
 (明治四十年四月執行)……………三百六十一頁

目次終

文官普通及
裁判所書記
試驗問題解答

法律問題及答案

憲法

問 法律命令ノ區別及命令ノ種類ヲ説明スベシ(明治三十一年五月岩手縣文官普通試驗問題)
 答 (一) 法律命令ノ區別 法律命令ノ區別ハ形式上ノモノニシテ實質上ノモノニアラズ

蓋實質上ヨリ云フトキハ法律モ命令モ共ニ國家ノ意思ニシテ臣民ハ總テ之ニ服従スヘキ者トス然ルニ之ニ反對セル學說ニアリ第一法律ハ國民ノ意思ナレモ命令ハ君主ノ意思ナリトノ說(ルソー一派)第二法律ハ國民ノ意思ト國家ノ意思ト相合致シタル者ナリトノ說(獨逸學派)是ナリ此兩說共ニ非ナリ何トナレハ我國法ノ下ニ於テハ法律モ命令モ共ニ主權者ノ命令スル所ナルガ故ニ其之カ區別ハ形式上ニ

求メサル可ラス今其之カ形式ニヨリテ區別スレハ即チ法律ハ帝國議會ノ協賛ヲ經タル天皇ノ命令ナレモ命令ハ天皇カ帝國議會ノ協賛ヲ經スシテ發布スル所ノ命令ナリ

(二)命令ノ種類

(甲)大權命令 大權命令トハ憲法上ノ大權事項ヲ實質トスル命令ヲ謂フ大權事項

トハ憲法上ノ規定トシテ天皇ノ親裁ニ專屬スル事項即チ是ナリ

(乙)緊急命令 緊急命令トハ天皇カ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要ニ因リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代リテ發スル命令ヲ謂フ故ニ

一ニ之ヲ法律ニ代ハルノ命令トモ云フナリ

(丙)行政命令 行政命令トハ大權ヲ以テ定ムヘキ事項及ヒ法律ヲ以テ定ムヘキ事項

頂(緊急命令ニ包含ス)以外ノ事項ニ付キ帝國議會ノ協賛ヲ經スシテ發スル所ノ命令ヲ云フ

此命令ニ二種アリ一ヲ執行命令ト云ヒ一ヲ補充命令ト云フ

(1)執行命令トハ天皇カ法律ヲ執行スル爲ニ發シタル必要ナル命令(敕令)又ハ發

セシムル命令(閣令、省令、府縣令、郡令、警察令ノ如キ)ナリ

(2)補充命令トハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ發シタル

必要ナル命令(勅令)又ハ發セシムル命令(閣令、省令、府縣令、郡令、警察

令ノ如キ)ナリ

問 憲法上ノ大權トハ何ソヤ(全年全月全縣全試驗問題)

答 憲法上ノ大權ハ我憲法ノ特色ニシテ天皇カ統治機關ノ權限ニ委任ヒス專ラ親裁シテ

行フ政務ノ範圍ナリ而シテ天皇カ大權トシテ親裁スル政務ノ事項(兵馬、宣戰、

講和、大赦、特赦、官制、官吏任命等)ヲ名ケテ大權事項ト云フ大權事項ハ明文

ヲ以テ憲法ニ列記ス故ニ天皇カ親裁スヘキ政務ノ事項ハ統治機關ノ干涉ヲ俟タス

シテ之ヲ行フヲ得ルナリ

問 緊急命令ハ勅令ヲ以テ廢スルコトヲ得ルカ(三十二年六月新潟縣文官普通試驗問題但算術ニ代ユル分)

答 或學者ハ緊急命令ヲ廢止スルニハ通常ノ勅令ニテモ可ナリト說ケリ此說謬レリ元來

緊急命令ハ其定ムル所ノ實質ヨリ觀察スレハ法律ト異ナルコトナシ然レモ其形式ニ

至テハ純然タル命令ニシテ法律ニアラス命令變シテ法律ト爲ルニアラサルナリ故ニ緊急命令ヲ以テ法律ヲ廢止スルコトヲ得ス又通常ノ勅令ヲ以テ緊急命令ヲ廢止スルコトヲ得ス何トナレハ緊急命令ハ法律ニ代ハルノ勅令ナルカ故ニ緊急命令ヲ以テ法律ヲ廢止スルコト能ハサルハ勿論又通常ノ勅令ヨリモ優等ノ力ヲ有ス故ニ緊急命令ヲ廢止スルニハ通常ノ勅令ヨリモ優等ノ力ヲ有スル所ノ緊急命令ヲ以テ廢スルコトヲ得ベシ從テ通常ノ勅令ニテハ之ヲ廢スルコトヲ得ス

問 條約ト法律ト抵觸セル場合ニ於テ法律ヲ變更スルカ爲メ議會ノ協贊ヲ需ムル必要アリヤ(全上)

答 凡テ法律ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ルヲ要ストハ憲法第三十七條ノ規定スル所ナリ故ニ時ノ狀況ニ依リ法律ヲ變更スルノ必要アルトキハ議會ノ協贊ヲ經サル可ラスサレハ條約ト法律ト抵觸シタル結果其法律ヲ變更セントスル場合ニ於テモ亦議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ要ス蓋シ議會ノ協贊ヲ經ルコトハ憲法上ノ一大要件ナレハナリ

問 憲法上ニ法律ヲ以テ定ムヘキ事項ハ之ヲ命令ニ委任スルコトヲ得ルカ(明治卅三年六月新編、縣文官普通試驗問題)

(町制ニ代ユル分)

答 憲法上法律ヲ以テ定ムヘキ事項ハ法律ヲ以テ更ニ之ヲ命令ニ委任スルコトヲ得ト雖法律ニ因ラスシテ直接ニ命令ニ委任スルコトヲ得ス蓋シ憲法上法律ヲ以テ定ムヘキ事項ヲシテ直接ニ命令ニ委任スルコトヲ得ルモノトセンカ、立法ノ範圍ト命令ノ範圍トヲ乱シ特ニ憲法力之ヲ分ケタル精神ニ反レハナリ(但緊急命令ハ法律ニ代ハルノ命令ナルカ故ニ例外タリ)之ヲ要スルニ我憲法ニ於テハ法律ニ因ラスシテ直接ニ命令ニ委任スルコト能ハサルナリ

問 豫算ノ性質及效力ヲ論スベシ(全上)

答 (一)豫算ノ性質

豫算トハ國家ノ一會計年度間ノ支出收納ヲ豫メ見積リタル者ナリ再言スレハ豫算ハ明年ノ國庫ノ收入支出ヲ豫想シタル見積額ニシテ法律ニアラス或學者ハ豫算ハ法律ナリト論斷セリト雖豫算ハ事實ノ豫見ナリ蓋シ議會ノ協贊ヲ經ヘシト爲シタルハ、竟政府ノ行政ヲ監督セシムルノ精神ニ出テタルニ因ル從テ直接ニ人民ニ對

シテ命令スル者ニアラス即チ行政ヲ爲スニ付テ必要ナル費用ノ支出ヲ計算シ行政官ヲシテ之ヲ守ラシムル者ナルカ故ニ法律ニアラス豫算ハ帝國議會ノ協賛ヲ經タル者ナルカ故ニ法律ナリト云フカ如キハ誤レリ議會ノ協賛ヲ經タルモノハ總テ法律ニアラス議會ノ協賛ヲ經タルモノニシテ法律ニアラサルモノアリ豫算ノ如キ國債ノ如キ即チ是ナリ現ニ我憲法ニ於テハ國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシト規定シタレモ法律ヲ以テ規定スヘシト規定セサルニ因リテ見テモ明ナリ

(二) 豫算ノ效力

豫算ノ效力ニ付テハ二個ニ區別シテ説明スルヲ要ス

(甲) 歳入ニ對スル豫算 歳入ニ對スル豫算ハ所謂事實其者ノ豫見ニ外ナラス既ニ事實其者ノ豫見タル以上ハ其性質強制的ノモノニ非ス故ニ租稅ヲ課シ又ハ會計ヲ取締ルカ如キ強制的命令ニ基ツク者ハ必スヤ法律ヲ以テシ豫算ヲ以テスルヲナシサレハ歳入ノ豫算ハ事實ノ見積標準トシテ收入スヘシト云フニ過キス從テ

其收入カ豫算ニ超過スルモ將豫算額ニ達セサルモ之ニ因リテ行政官ノ責任問題ヲ惹起スルヲナシトス

(乙) 歳出ニ對スル豫算 歳出ニ對スル豫算ハ歳入ニ對スル豫算ト異ナリ其性質行政上ノ命令ニ屬シ此命令ノ下ニ於テ行政官ハ或目的ノ爲ニ或金額ヲ支出スルヲ認許セラレタル者ナルカ故ニ豫算ノ效力ハ歳出ノ監督ヲ主トシタルニ由トス

問

歳入歳出豫算ハ如何ナル必要アリテ之ヲ設定スルモノナリヤ(三十二年三月長野縣文官講習試驗問題、現行法規ノ分)

答

入ヲ計リテ出ツルヲ制スルモノ是即チ歳入歳出ナリ一定ノ目的ヲ定メテ定マリタル金額ヲ收入支出スルモノ是即チ歳入歳出ナリ蓋シ國家ハ政治ヲ行フノ上ニ於テ常ニ經費ノ必要ヲ生ス既ニ此必要ヲ生スル以上ハ歳入ノ必要アリ然レモ入ヲ計リテ出ツルヲ制セサレハ財政ノ紊亂ヲ醸ス之ヲ以テ一定ノ金額ヲ收入支出スルニハ豫算ヲ立テ以テ之カ計數表ヲ設ケ一見シテ財政ノ概況ヲ知得シ以テ歳入歳出ノ均衡ヲ保ツノ必要アリ既ニ此必要アリ是ニ於テ乎歳入歳出ノ豫算ナルモノヲ設立セザルヘカラサル所以、決シテ偶然ニアラサルナリ

民法

問 無効ノ行爲ト取消シ得ヘキ行爲トノ差異ヲ説明スヘシ(三十年九月大禮言 文官普通試験問題)

答 無効ノ行爲トハ其目的トシタル法律行爲ノ效果カ法律上當然存在セサルモノヲ謂ヒ取消シ得ヘキ行爲トハ一タヒ發生シタル法律行爲ノ效果カ或瑕疵ノ爲メニ消滅スルモノヲ謂フ故ニ(一)無効ノ行爲ハ恰モ死者ノ如ク如何ナル良藥ヲ施スモ到底生存スルヲ得ス即チ無効ノ原因事後ニ至リテ消滅シ又ハ追認ヲ爲スモ有效ト爲ル能ハス斯ノ如ク無効ノ行爲ハ當然無効ナレ之ニ反シテ取消シ得ヘキ行爲ハ一定ノ手續ニ依ルニアラサレハ無効ト爲ラス(二)無効ノ行爲ハ凡テ利害關係人ヨリ其無効ヲ主張スルコトヲ得レ之ニ反シテ取消シ得ヘキ行爲ハ唯取消權ヲ有スル者ニアラサレハ之ヲ無効ト爲スコトヲ得ス之レ兩者ノ異ナル所以ナリ

問 不動産ヲ賣買シタルトキハ登記ヲ爲スハ何等ノ必要ニ依ルヤ(全上)

答 不動産ノ賣買ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス元來物權ノ設定ハ當事者ノ意思表示ノミニテ可ナリトスル以上ハ第三者ニ對シテモ其效力ヲ主張シ得ヘキカ故ニ特ニ不動産ノ賣買ニ依リ登記ヲ爲スニアラサレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗シ得サルモノトスルノ必要ナキガ如シト雖モ、不動産ノ如キハ此原則ニ從フコトヲ得ス若シ此原則ヲ絶對的ニ適用スルトキハ第三者ハ爲ニ不測ノ損害ヲ蒙リ取引上尠ナカラサル害毒ヲ流シ獨リ奸黠ノ徒ラシテ利慾ヲ恣ニスルノ媒介ト爲ルモ良民ハ却ツテ損スルコト多キヤ必セリ之ヲ以テ民法ハ第三者ニ對抗スルニハ登記方法ヲ必要トスルニ在リトス而シテ登記ナル者ハ第三者ニ公示スル手續ニシテ此手續ニシテ世ニ存在セサレハ何人カ不動産ニ對シテ權利ヲ有スルヤ明カナラス故ニ其權利者ヲ確定スルニハ登記方法ニ依ラシメサル可ラス之ニ由リテ權利者ヲ保護スルト同時ニ第三者ヲモ保護スルモノナリ

問 債務者ガ其債務ヲ履行セザル場合ニ於テ債權者ハ如何ナル權利ヲ有スルヤ(全上)

答 債務ノ履行ニ付キ確定期限アルトキハ債務者ハ其期限到來ノ時ヨリ遲滯ノ責任アリ

故ニ債務者カ任意ニ債務ノ履行ヲ爲サ、ルトキハ債權者、其強制履行ヲ裁判所ニ請求ス、ルヲ得若シ其性質カ強制履行ヲ許サ、ルトキハ債權者ハ債務者ノ費用ヲ以テ第三者ニ之ヲ爲サシムル事ヲ裁判所ニ請求スルノ權利ヲ有ス而シテ債務者カ其債務ノ本旨ニ從ヒタル履行ヲ爲サ、ルトキ又ハ債務者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ履行ヲ爲ス能ハサルニ至リタルトキハ債權者ハ其損害ノ賠償ヲ請求スルヲ得ヘシ要スルニ債務者カ其債務ヲ履行セサル場合ニ於テハ債權者ハ直接履行ノ權利ト損害賠償ノ權利トヲ有スルモノトス

問 法定果實ノ意義ヲ説明セヨ(三十二年六月大藏省
文官普通試験問題)

答 法定果實トハ天然果實ニ對スル語ニシテ物ノ使用ノ對價トシテ受クヘキ金錢其他ノ物ヲ云フ蓋シ法定ノ果實ハ物ヨリ生スル直接ノ産出物ニ非サルモ果實ニ代フヘキ性質アルヲ以テ羅馬法以來皆之ヲ果實ノ一種ト爲シタリ例ヘハ元金ニ對スル利息土地家屋ノ借賃ノ如キ即是ナリ

問 永小作權ト土地賃借權トノ差異如何(全上)

答 永小作權トハ小作料ヲ拂ヒテ他人ノ土地ニ耕作又ハ牧畜ヲ爲スノ權利ヲ謂ヒ之ニ反シテ土地賃借權ハ當事者ノ一方ガ相手方ニ或土地ノ使用及ヒ收益ヲ爲サシムルヲ約シ相手方ガ之ニ其賃金ヲ拂フヲ約スルニヨリテ效力ヲ生スル者ヲ謂フ故ニ(一)永小作權ハ其使用ノ目的耕作及ヒ牧畜ニ限ルト雖モ土地ノ賃借權ハ土地ノ使用及ヒ收益ニ限ルモノトス(二)永小作權ハ物權ナレモ土地ノ賃借權ハ債權ニ屬スルモノトス(三)永小作權ノ存續期間ハ二十年以上五十年以下ナルモ土地ノ賃借權ノ存續期間ハ二十年以下トス(四)永小作權ノ設定ハ必スシモ契約ニ限ラス遺言ノ如キ單獨行爲ヲ以テスルヲ得ヘシト雖モ土地賃借權ハ必スヤ契約ヲ以テ設定セサル可ラス

問 債權消滅ノ原因ヲ列擧スベシ(全上)

答 債權消滅ノ原因ニ六アリ曰ク辨濟曰ク相殺曰ク更改曰ク免除曰ク混同曰ク時效即チ是ナリ

問 當事者ノ一方ガ第三者ニ對シテ或ル行爲ヲ爲スヘキヲ約シタル契約ノ效力如何(三十二年)

六月新編縣文官(算術ニ代ユル分)
普通試驗問題

答 當事者ノ一方カ第三者ニ對シテ或ル行爲ヲ爲スヘキコトヲ約シタルトキハ其契約ハ有
 效ナリ思フニ古昔ニ在リテハ社會單純ナリシカ故ニ第三者ノ爲ニ契約ヲ取結ブ必
 要極メテ尠ナク現ニ羅馬法ノ如キハ其契約ヲ無効ト爲シタリキ然レハ社會複雜ト
 爲ルヤ經濟上ノ發達ト共ニ此契約ノ必要ヲ増加シ來レリ即チ實際問題トシテ常ニ
 起生スル場合ヲ舉グレバ保險契約、定期金契約、賣買契約、債務ノ引受等ニ於テ
 殊ニ然リトナス第三者ノ爲ニ取結ブ契約ノ有效ナルコト其レ斯ノ如シ從テ第三者ハ
 債務者ニ對シテ直接ニ其給付ヲ請求スル權利ヲ有スベシ但此場合ニ於テハ第三者
 ノ權利ハ其第三者ガ債務者ニ對シテ契約ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示シタル時ニ
 發生スルモノトス而シテ第三者ノ權利ガ發生シタル後ハ當事者ハ之ヲ變更シ又ハ
 消滅セシムコトヲ得サルハ勿論其契約ニ基因スル抗辯ハ債務者之ヲ以テ其契約ノ利
 益ヲ受クヘキ第三者ニモ對抗スルコトヲ得ルナリ

問 錯誤ト意思表示ノ關係ヲ説明スヘシ(全上)

答 凡ソ意思表示ト錯誤トノ關係ニ付テハ諸國其軌ヲ一ニセスト雖モ我民法ハ「意思表
 示ノ法律行爲ノ要素ニ錯誤アルトキハ物効トス」トノ原則ヲ規定セリ法律行爲ノ
 要素トハ行爲者ガ法律行爲ニ欠ク可ラサルモノト認メタル元素ニ外ナラス即チ各
 法律行爲ニ依リテ之ヲ決スヘキ者トス而シテ錯誤トハ意思ヲ表示シタル者ノ誤解
 ニ因リテ自己ノ真意ニ反スル意思ヲ表白シタル者ヲ云フ故ニ法律行爲ニ爲ニ至
 リタル緣因ノ錯誤ハ何等ノ影響ヲ及サスト雖モ法律行爲ノ要素ニ錯誤アリタル場
 合ニハ無効トス但此原則ニ對シテハ例外アリ表意者ニシテ重大ナル過失アリタル
 場合即チ是ナリ此場合ニハ其表意者ハ無効ヲ主張スルコトヲ得サルナリ而シテ重大
 ナル過失トハ普通人カ少シク注意セハ爲サルガ如キ過失ニシテ果シテ重大ナリ
 ヤ否ヤハ裁判官ニ於テ之ヲ決スヘキモノトス

問 隔地者ニ對スル意思表示ノ效力ヲ生スル時期如何、(明治三十二年六月新編)
縣文官普通試驗問題

答 隔地者ニ對スル意思表示ハ如何ナル時ヨリ效力ヲ生スルヤノ問題ハ古來學者間ニ於
 テ諸說未ダ一ニ歸セサルノミナラス歐洲ノ立法例ニ於テモ其主義五アリ第一表白

主義、第二發信主義、第三受信主義、第四了知主義、第五折衷主義即チ是ナリ我
民法ハ意思表示ノ原則トシテハ第三ノ主義即チ受信主義ヲ採用シタルカ故ニ隔地
者ノ申込ニ對スル承諾カ申込者ノ手ニ到達シタル時ニ於テ意思表示ノ效力ヲ生ス
ルモノトセリ然レモ契約ノ場合ニ於テハ承諾ノ通知ヲ發シタル時ニ成立スルモノ
ト爲シタリ蓋シ契約ノ承諾ニ付テ受信主義ヲ採ラスシテ發信主義ヲ採タル所以ハ
取引ノ迅速ヲ重シタルニ外ナラザレバナリ

問 法律行為ノ無効取消ノ區別(三十二年六月新潟縣
文官普通試験問題)

答 法律行為ノ無効トハ其目的ト爲シタル法律行為ノ效果ガ法律上當然存任セザルモノ
ヲ云ヒ之ニ反シテ法律行為ノ取消トハ一たび發生シタル法律行為ノ效果ガ或瑕疵
ノ爲ニ消滅スルモノヲ云フ例ヘハ無効ノ行為ハ恰モ死者ノ如ク如何ナル良藥ヲ施
スモ到底生存スルコトヲ得ズ之ニ反シテ取消シ得ヘキ行為ハ恰モ病者ノ如ク畢竟死
亡スルヤモ測ルヘカラズト雖モ現今ハ生存セルヲ以テ即チ取消ストキハ始メテ無
效ト爲ル者ナリ而シテ(一)無効ノ行為ハ法律上全然成立セサルカ故ニ追認ニ因リ

テ其效力ヲ生スコトナシ唯當事者ガ其無効ナルコトヲ知リテ追認ヲ爲シタルトキハ新
ナル行為ヲ爲シタルモノト看做サル、ニ過キス之ニ反シテ取消シ得ヘキ行為ハ之
ヲ追認即チ取消權ノ拋棄ヲ爲スルハ其行為ヲ有效ノ者ト見做スコトヲ得(二)無効ノ
行為ハ當事者、其承繼人ハ勿論其他利害關係人ハ何人ト雖モ之ヲ主張スルコトヲ得
又何人ニ對シテモ之ヲ主張スルコトヲ得之ニ反シテ取消シ得ヘキ行為ハ無能力者若
クハ瑕疵アル意思ヲ表示シタル者、其代理人又ハ承繼人ニ限り之ヲ取消スコトヲ得
ルニ過ギズ

問 留置權ヲ説明スヘシ、(三十三年十月橫濱地方
裁判所書記試驗問題)

答 留置權トハ債權ノ担保タルヘキ從タル物權ニシテ他人ノ物ノ占有者カ其物ニ關シテ
生シタル債權ノ辨濟ヲ受クル迄其物ヲ留置スル權利ヲ云フ故ニ留置權ハ左ノ三條
件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一他人ノ物ノ占有 留置權者ハ他人ノ物ヲ占有セサル可ラスサレハ其物ヲ自己
カ占有セサルトキハ留置權存在セス又自己ノ物ヲ自己所有スルカ如キハ所有權

ニシテ留置權ニアラサルナリ

第二留置權ニ關シテ生シタル債權タルコトヲ要ス故ニ他人ノ物ヲ善意ニテ占有シタル者ハ留置物ニ關シタル債權例ヘハ留置物保存ノ爲ニ立替置キタル費用ノ如キハ其償還ヲ受クル迄依然占有物ヲ擔保トシテ請求スルコトヲ得ヘシ但此債權ハ辨濟期日ニ到達スルコトヲ要ス

第三留置物ノ占有ハ不法行爲ニ依リテ得タル者ニ非サルコトヲ要ス故意ヲ以テ不法行爲ヲ爲シ以テ物ヲ占有シタル者ハ留置スルノ權利ナシ

不動産質權者ハ何故ニ債權ノ利息ヲ請求スルコトヲ得サルヤ(全上)

答 不動産質權者ハ質權ノ目的タル不動産ノ用方ニ從ヒ其使用及ヒ收益ヲ爲スヲ得ルヲ以テ法律ハ其報酬ト看做シテ債權ノ元本ニ對シテ利子ヲ請求スルコトヲ得サル者ト爲シタルニ外ナラサルナリ

(一)問 留置權ノ性質(廿八年六月大隈稅務監督局文官試驗)

答 留置權ノ性質ニ付テハ學說一定セス或ハ之ヲ一方ノ權利亂用ヲ防禦スル爲ニ一方ニ與フル所ノ方法ナリト云ヒ或ハ債權ノ擔保方法ナリト論シ或ハ又債權執行ノ一方法タル差押ト同一ナルモノナリトノ諸說アレモ民法ハ留置權ノ實質ハ物ヲ直接ニ支配スルノ關係ナレハ物權ナリトノ主義ヲ採レリ
而シテ物權ノ性質トシテ論スレハ留置權ハ他物權ナリ必スヤ他人ノ所有物ノ上ニアラサレハ設定セラレヌ又擔保セラル、債權ナケレハ存在セサルモノナルヲ以テ債權ニ從タル物權ナリ又留置權ノ性質ハ不可分のナリ元來權利ハ目的物ニヨリテ可分タリ不可分タルモノナレハ目的物ニ依リ不可分若クハ可分ト云ハサル可ラサルモ留置權ナルモノハ法律ノ規定ニヨリ生スルモノニシテ當事者ノ意志ニヨリ生スルモノニ非ス法律ハ債權者ヲ保護セシガ爲ニ目的物ノ可分不可分ニ關係ナク凡テ不可分ノ特質アルモノト定メタルナリ

(二)問

保証人カ債權ヲ辨濟シタル時ハ如何ナル効力ヲ生スルカ(全上)

答 保証人が主たる債務者ニ代リ債務ノ辨濟ヲ爲シタルハ其債務ハ茲ニ消滅シ保証人
カ主たる債務者ニ對シテ求償權ヲ發生ス之レ其辨濟其他自己ノ出捐ニ依リ債務ヲ
消滅セシムルニ付其損失ヲ賠償セシムルニアリ

三問 家督相續ト遺産相續トノ異同ノ説明(全上)

答 家督相續ト遺産相續トハ同シク何人モ其資格アルヲ通則トシ資格ナキヲ例外トス然
レモ其原因其目的等ニ於テ異ナル所ノ主要ナル點ハ

- (イ)家督相續ニアリテハ相續人ハ財産ヲ相續スルノミナラス併セテ家名モ相續ス
ト雖遺産相續ハ唯財産ヲ相續スルニ止マル
- (ロ)家督相續ニ在リテハ身分ニ變更ヲ來スモ遺産相續ニアリテハ之レナシ
- (ハ)家督相續ニハ相續人ノ特權ヲ組成スル財産アルモ遺産相續ニハ之ナシ
- (ニ)家督相續ノ場合ハ數種ノ相續人アルモ遺産相續ノ場合ニハ唯一種アルノミ
- (ホ)家督相續ヲ爲ス者ハ一人ニ限ルモ遺産相續ヲ爲ス者ハ一人ナルト數人ナルト
ヲ問ハズ

(ハ)家督相續ハ戸主死亡又ハ隱居ニ因リ開始セラル、モノナルモ遺産相續ハ戸主
又ハ家族ノ死亡ニ依リ開始セラル

二問 債權消滅原因ヲ説明セヨ(卅八年六月名古屋稅務署文官試験)

答 債權消滅ノ原因ハ或ル事實ナリ債權ノ消滅ハ或事實ニ法律ノ付スル効力ナリ故ニ債
權消滅ノ原因タル事實ハ法律行為ナルコトアリ其他ノ事實ナルコトアリ即當事者ガ債
權ヲ消滅スルノ目的ヲ以テ意思ヲ表示スルニ依リ債權消滅ノ効力ヲ生スル場合ト
當事者ノ意思ニ依ラスシテ法律ガ或事實ノ發生ニ當然債權消滅ノ効力ヲ付スル場
合トアリ然レモ債權ノ消滅原因ハ之レヲ大別シテ辨濟及ヒ辨濟以外ノ場合トナス
コトヲ得債權創成ノ目的ヲ達スルニ依リ之ヲ消滅スル場合即チ履行ヲ爲シ債權ヲ消
滅スル之レヲ辨濟ト云ヒ債權創成ノ目的ヲ達セスシテ之ヲ消滅セシムル場合即チ
辨濟以外ノ場合ニシテ或事實ノ到來ニ依リ當然債權ヲ消滅セシメ又ハ當事者ノ新
ナル意思表示ニ依リ消滅セシムル等ノ場合トス前者ハ當事者ガ豫メ爲シタル意思
表示ニ依リ或事項ヲ定メ其事項到來ニ依リ當然債權ヲ消滅セシム之レ即チ解除條

件若クハ終期ヲ付シタル場合ニシテ當事者ニ於テ別ニ消滅セシムルノ意思ヲ表示セサルモ其條件若クハ期限ノ到來ニ依リ當然債權ノ効力ヲ失フモノト債權ノ性質若クハ法律ノ規定ニ基キ或事實ノ到來カ當然之ヲ消滅セシムル即チ混同ノ場合ノ如キ後者ハ當事者ノ意思表示又ハ法律ノ規定ニ豫メ或條件ヲ定メ之カ到來ニ依リ一方カ債權ヲ消滅スル即チ相殺等ノ場合又ハ當事者ノ新ナル意思表示ニ依リ債權ヲ消滅セシムル代物辨濟更改等ノ如ク双方ノ意思表示ニ依ルトキ免除即チ一方ノ意思表示ニ依ルノ場合等ナリ

(一)問 條件ト期限ノ異同ヲ明ニセヨ(卅七年十一月大藏省文官普通試験)

答 條件トハ意思表示ノ効力ヲ制限スル法律行為ノ附帶條項ノ一ニシテ法律行為ノ効力ノ發生又ハ消滅ニ係ハルベキ主觀的不確實ノ事實ニシテ其附帶條項タルハ期限ト同一ナリ然レトモ期限ハ其發生確實ニシテ到來スヘキヲ確實ナルヲ要ス

(二)問 地役權ト所有權トノ關係ヲ論セヨ

答 地役權ハ所有權ニ從タル物權ニシテ要役地所有權ニ附隨スル權利ナルヲ以テ要役地

所有權ヲ移轉スルキハ此地役權モ亦從テ移轉シ要役地ヨリ分離シテ之ヲ讓渡シ又ハ他ノ權利ノ目的ト爲スヲ得ス地役權ハ要役地ノ便益ノ爲メニスルモノナレバ要役地ノ所有權ト主從ノ關係ヲ有シ隨伴スベキハ當然タリ故ニ要役地ト離レテ地役權ノミヲ抵當質入ヲ許サ、ルモノトス然レモ地役權ノ限界ハ所有權ノ限界ト異ナリ其發生原因ニ於テ地役權ハ人ノ意思ニ依リ所有權ハ法律ノ規定ニ基ク者トス

(三)問 代位辨濟ノ意義ヲ説明スベシ

答 代位辨濟ハ第三者カ債權者ノ承諾ヲ得位意ノ代位又ハ辨濟ヲ爲スニ付キ正當ノ利益ヲ有スル(法定代位)トキニ於テ債務者ニ代リ債務ノ辨濟ヲ爲スモノニシテ此場合ニ於テハ辨濟ト同時ニ債權者ノ權利ヲ消滅ス故ニ債權ハ其ノ以後ニ於テ自己ノ爲メニ其權利ヲ行使スルヲ得ス又第三者モ債權者ノ爲メニ之ヲ行フヲ得ス然レモ辨濟者ノ求償權ヲ確保スル爲メニ債權者ノ權利ヲ消滅セラルモノト看做シ辨濟者ニ債權者ノ地位ニ代リ自己ノ爲メニ其權利ヲ行使スルヲ得セシム然レモ之レヲ以テ代位辨濟ヲシテ債權ノ讓渡トナスモノニ非ス

行政法

問 市町村會議員郡會議員府縣會議員ハ何人ガ之ヲ選舉スルヤ、(三十一年三月靜岡縣文官督 通試驗問題法律大要ノ分)

答 (一)市町村會議員 市町村會議員ハ市町村公民タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ選舉ス

公民タル資格ヲ有スル者トハ市町村ノ政治ニ參與スルノ權ヲ有シ併テ名譽職ニ任
スルノ義務ヲ帶ブル所ノ住民ヲ云フ今公民權ヲ取得スル法律上ノ要件ヲ舉クレバ

- (1) 帝國ノ臣民タルヲ
 - (2) 公權ヲ有スル獨立ノ男子タルヲ
 - (3) 二年以上市町村ノ住民タルヲ
 - (4) 二年以上其市町村ノ負擔ヲ分任シタルヲ
 - (5) 二年以來其市町村ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納メタルヲ
 - (6) 公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル者ハ二年ヲ經ザルベカラサルヲ
- 即チ是ナリ要スルニ以上ノ要件ヲ具備スル者ニアラサレバ市町村會議員ヲ選舉スル權ナシ

(二)郡會議員 抑モ舊郡制ニ依ルトキハ郡會議員ハ郡内町村ニ於テ選舉シタル議員及ヒ大地主ニ於テ選舉シタル議員ノ二種アリシモ改正郡制ニ於テハ選舉ノ公平ヲ得セシムル目的ヲ以テ右ノ複選法ヲ全廢シテ單選法ト爲シタリ故ニ郡會議員ノ選舉權ヲ有スル者ハ改正郡制ノ規定ニ依リ郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ナリトス

(三)府縣會議員 抑モ舊府縣制ニ於テハ府縣會議員ノ選舉ニ複選法ノ主義ヲ採リタリシヲ以テ況ク選舉人ヲシテ直接ニ議員ヲ選舉セシムル方法ヲ採ラザリキ故ニ府縣内ノ郡及市ヨリ府縣會議員ヲ選出セリ即チ市ニ在リテハ市會及市參事會會同シテ市長ヲ會長トシテ選舉シ郡ニ在リテハ郡會及郡參事會會同シテ郡長ヲ會長トシテ選舉シタリキ然レモ改正府縣制ハ此複選法主義ノ不可ナルヲ悟リ以テ單選法主義ヲ採ルニ至リタリ今改正府縣制ノ規定ニ依リ其法律上ノ要件ヲ舉グレバ(一)府縣内ノ市町村公民タルヲ(二)市町村會議員ノ選舉權ヲ有スルヲ(三)其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者タルヲ即チ是ナリ要スルニ此三要

件ヲ具備スル者ニアラサレバ府縣會議員ヲ選舉スル權ナシトス

問 町村住民ノ權利義務ニ關シ町村會ノ議決ニ不服ニシテ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服ニシテ府縣參事會ニ訴願シ府縣參事會ノ裁決ニ不服ニシテ行政裁判所ニ出訴セントスルトキハ前町村會郡參事會府縣參事會何レヲ對手トスルヤ(全上)

答 凡ソ訴訟ニハ對手ナカルヘカラス是民事ニ於テモ刑事ニ於テモ將タ行政事件ニ於テモ當然ノ事タリサレバ行政裁判所ニ出訴セントスルニモ亦對手トスヘキモノナカルヘカラス而シテ本問ノ場合ニ於テ對手トスヘキモノハ府縣參事會ニアラス又郡參事會ニアラスシテ前村會ナリトス其故如何トナレバ町村住民ノ權利義務ニ付テ不服ナル議決ヲ爲シタル根源ハ前町村會ナレバナリ不服ナル議決ヲ爲シタル根源既ニ前町村會ニ在リトセハ他ハ問フヘキコニアラス何トナレハ府縣參事會郡參事會ノ裁決ノ如キモ等シク不服タルニ相違ナキモ之レ直接ニ住民ノ權利義務ニ付テ裁決シタルニアラスシテ町村會ノ議決ニ對スル訴願其モノニ付テ裁決シタルニ過キザレハナリ果シテ然ラバ住民ノ權利ヲ毀損シタル當初ノ根源ハ前町村會ニ在

リト云ハサル可ラス故ニ前町村會ヲ行政訴訟ノ對手トスヘキモノトス

問 出納官吏水火盜難若クハ其他ノ事故ニ依リ其保管スル現金又ハ物品紛失毀損シタル場合ニ於テ責任解除ヲ受ケ又ハ辨償ノ責ヲ負フ事由如何(全上)

答 夫レ出納官吏ハ其保管スル所ノ現金又ハ物品ニ付テハ常ニ大ナル注意ヲ以テセサル可ラス是レ出納官吏ノ職責ナリ既ニ職責タル以上ハ自己ガ保管スル現金又ハ物品ガ水火盜難若クハ其他ノ事故ニ依リテ紛失毀損シタル場合ニ於テハ天災其他ノ事變ノ如キ不可抗力ニ原因シタルトキニ限り其責任ノ解除ヲ受クルモノトス蓋シ出納官吏ニシテ天災事變ノ如キ不可抗力ニ原因セサルトキハ其責任ヲ解除セラル、コナケレバナリ而シテ又出納官吏ガ辨償ノ責ヲ負フヘキ事由ハ他ナシ元來自己ノ不法行爲ニ依リテ他ニ損害ヲ與ヘタル者ハ其損害ヲ賠償セサル可ラサルノ私法上ノ一大原則ナリ假令出納官吏ガ其責任ノ解除ヲ受ケタルニセヨ其損害ガ故意又ハ過失懈怠等ニ原因センカ私法上ノ原則ニ依リ之ガ損害賠償ノ責ヲ免カル、コヲ得サルナリ

問 行政處分トハ何ソヤ、

(三十一年五月岩手縣文官普通試験問題行政法大意ノ分)

答 行政處分ハ法則ニ據ルヘキモノニシテ之ニ違背スルコトヲ得ズ即チ行政官ノ主タル職權ハ法則ニ據リテ處分ヲ行フヘキモノナリ而シテ處分ヲ行フニハ特定ノ場合ニ於テ特定ノ人ニ對スルコトヲ要ス然ラズンバ到底其自由ヲ制限スルコトヲ得ズ然レモ行政處分ハ民法ニ所謂權利行為ニアラズ何トナレバ行政處分ハ權力者ガ無權力者ニ對スルノ行為タリト雖モ民法ニ所謂權利行為ハ當事者各平等ノ地位ニ在レハナリ故ニ前者ノ場合ニ於テハ當事者ノ一方タル臣民ハ自由意思ヲ有サルモ後者ノ場合ニ於テハ自由意思ヲ以テ相對スルコトヲ得ルモノトス又行政處分ハ普通ノ命令ニアラス命令ハ或ル一般ノ事實ニ就キテ其結果ヲ豫想スルニ止マルモ之ニ反シテ行政處分ハ特定ノ場合ニ於テ特定ノ結果ヲ惹起スヘキモノトス故ニ余ハ行政處分トハ特定ノ場合ニ於テ特定人ニ對シテ其自由ヲ制限スルノ行為ヲ云フト定義ス而シテ行政處分ハ之ヲ區別スルトキハ二種アリ一ハ裁量處分ニシテ一ハ執行處分ナリトス裁量處分トハ法則ニ於テ唯人民ニ對スル自由制限ノ範圍ノミヲ示シテ如何ナル

方法ヲ以テ制限スルカノ點ハ一ニ行政官ノ職權ニ委任スル場合ヲ云フ此場合ニハ官廳ハ自ラ利害ヲ判斷シテ處分スルコトヲ得執行處分トハ法則ヲ執行スル行政處分ヲ言フ此處分ノ場合ニハ法規ニ於テ處分令ヲ發スル條件ニ關シ細則ヲ設ケ全ク行政官ニ裁量ノ餘地ヲ與ヘサルナリ

問 行政訴訟ト行政訴訟トノ區別ヲ説明スヘシ(全上)

答 行政訴訟ト行政訴訟トノ區別ニ付テハ現行法規ノ上ニ於テハ斷乎タル區別ヲ爲スコト頗ブル難シ何トナレバ原則トシテハ行政官廳ノ違法處分ニ因リテ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ニ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ許シ(二十三年ノ法律ノ如キ)例外トシテハ特ニ出訴ノ方法ト場合トヲ規定シ列記法ニ依リテ行政訴訟ヲ提起スルヲ許ス(市町村制ノ如キ)アレハナリ而シテ訴訟ハ行政監督ノ方法タル點ニ於テ行政訴訟ト同一ナリト雖モ其性質行政ノ不當處分ニ因リ個人カ其利益ヲ害セラレタリトスル場合ニ上級官廳ニ訴ヘテ其處分ノ取消又ハ變更ヲ求ムル者ナリ故ニ(一)行政訴訟ハ違法處分ヲ條件トスルモ之ニ反シテ訴訟ハ不當處分ナラサル可ラス(二)行

政訴訟ハ權利ノ毀損ヲ救済スルニ在リト雖モ訴訟ハ個人カ利益ヲ害セラレタルヲ救済スルニ在リトス(三)行政訴訟ハ全國唯一ノ行政裁判所ニ訴フルモ訴訟ハ之ト異ナリ行政處分ヲ爲シタル官廳ヲ經由シテ直接上級官廳ニ訴フヘキモノトスレバナリ

問 市町村ヲ自治体ナリトセバ何故ニ市町村會ハ法令ニ依リテ認許セラレタル事ノ外議決權ヲ有セシメサルヤ(全上)

答 市町村ハ法人ナリ法人トハ法律ノ擬制ニ因ル權利義務ノ主体ナルカ故ニ市町村ト云ヘル自治体ガ行動スルニハ即チ法律ニ依リ認メラレタル範圍内ニ於テセサル可ラズ此範圍ヲ超越シテハ自由ニ處分シ命令スルコトヲ得ズ斯ノ如ク市町村ハ法ガ委任シタル事項以外ニハ活動スルコト能ハサルヲ以テ從テ市町村ノ代議機關タル市町村會ニ於テモ亦法ノ範圍外ニ向テ議決スルノ權能ナシ若シ其レ市町村會ニ於テ法令ニ依リテ認許セラレタル事ノ外ニ議決權ヲ有セシメンカ自治行政ノ監督ヲ完ウスルコト能ハサルノ虞レアレハナリ

問 町村監督ノ目的及之ヲ達スル方法ヲ述ヘヨ(全上)

答 町村ヲ以テ自治体ヲ組織シ之ニ與フルニ公法人タル資格ヲ附與シタル以上ハ國家ノ監督權ハ不必要ノ感アルヲ免レズ然レモ町村ノ事業ニシテ動モスレハ國家ノ利害ト衝突シ矛盾スルコトアリ又自治ノ發達ニ不利ナルコトアリ何トナレハ町村ハ國家ト異ナリ單ニ一地方ノ利益ノミヲ固執シ且一時ノ利ノ爲ニ永遠ノ害ヲ顧ミサルコトアレハナリ是ニ於テ乎國家ハ法ヲ設ケ以テ町村ノ政務ヲ監督セシムル所以ナリ
町村行政ヲ監督スル官廳ヲ舉グレハ一般ノ場合ニハ第一次ヲ郡長トシ第二次ヲ府縣知事トシ第三次ヲ内務大臣トス特定ノ場合ニハ第一次ニ郡參事會第二次ニ府縣參事會之ヲ監督シ而シテ行政裁判所ノ判決ヲ以テ終審トス我市町村制ニ於テハ行政裁判所ノ判決ヲ請フモノハ必ス先ヅ府縣參事會若クハ郡參事會ノ裁決ヲ經サル可ラス而シテ府縣及郡參事會は管ニ行政裁判所ノ楷梯タルノミナラス又内務大臣ニ呈出スル所ノ訴願ノ楷梯トナレリ但シ注文ヲ以テ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許シタル場合ニハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

問 府縣制第四條一項ニ府縣内市町村公民中選舉權ヲ有シ其府縣ニ於テ一年以來直接國稅十圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會ノ被選舉權ヲ有ストアリ茲ニ所有地ニ屬スル地租ト質取地ニ屬スル地租トヲ合セテ十圓以上ヲ納メ他ノ要件ヲ具備スルモノアリトセハ被選舉權ノ有無如何(三十一年七月茨城縣文官(改正府縣制第六條)普通試驗問題 法規ノ分(第二項ニ該當ス))

答 或者ハ府縣制第四條一項ニ所謂直接國稅十圓以上トハ土地ヲ所有スルニ納ムル地租ノミニ限リ土地ニ質權ヲ定設シタルニ因リ納ムル地租ハ包含セサルモノトセリ其理由ニ曰ク土地ニ質權ヲ定設シタルニ因リテ納ムル地租ハ一ノ變例ニシテ而モ立法ノ精神ヨリ云フトキハ一般何人ト雖當然ニ想像シ得ル所ノ所有地ニ屬スル地租ノミヲ指スナラン故ニ本問ニ於ケル場合ハ被選舉權ナシト然レモ解釋論トシテハ二足三文ノ價值ナシ何トナレハ府縣制ニハ單ニ「十圓以上ヲ納ムルモノ」云々ト概括的ニ規定シタルヲ以テ自己カ土地ヲ所有スルニ因リテ納ムル地租ハ勿論土地ニ質取權ヲ定設シタルニ因リテ納ムル地租ヲモ包含スルモノナリ加之論者カ土地ニ質權ヲ定設シタルニ因リテ納ムル地租ハ一ノ變例ナリト云ヒタルカ如キハ自家既

ニ矛盾セリ換言スレハ原則トシテハ土地ヲ所有スルニ因リテ納ムル地租ヲ認メ變例トシテ土地ニ質權ヲ定設シタルニ因リテ納ムル地租ヲモ認メタルモノナレハ被選舉權アリトノ說ニ服從シタルモノト云ハサル可ラス又論者ノ所謂立法論ノ如キハ論者一人ノ立法論ニシテ眞ノ立法論ニアラス何トナレハ府縣制カ「十圓以上ヲ納ムルモノ」ト廣ク規定シタル所以ハ世ニ論者ノ如キ曲解ヲ試ムル者アルヲ避ケンカ爲ニ外ナラサレハナリ既ニ廣義ノ規定ヲ爲ス然ラハ所有地ニ屬スル地租ト質取地ニ屬スル地租トヲ包含スルモノト解釋セサル可ラス要スルニ本問ハ立法論ヨリスルモ解釋論ヨリスルモ被選舉權ナシトノ說ノ非ニシテ被選舉權アリトノ說ノ正當ナルヲ明カナリ(新府縣制ノ解釋論トシテモ亦然リ)

問 郡制第十六條ニ郡會議員選舉ハ郡長ノ告示ニヨリ之ヲ行フヘシ其告示ハ遅クモ選舉ノ日ヨリ七日前ニ之ヲ發スヘシトアリ又全第二十條ニハ議員ノ當選ヲ辭シ又ハ承諾届出ヲ爲サザル者アルトキハ郡長ハ七日以内ニ更ニ選舉ヲ行ヒ又ハ町村長ニ命シテ選舉ヲ行ハシムトアリ此兩條衝突スルヲナキヤ否ヤ若シ衝突スルモノトセハ第二十條ノ場合

ニハ第十六條ノ告示ハ要セサルヤ又衝突セサルモノトセハ告示ノ日限ハ何ニヨルヤ

(三十一年七月茨城縣文官
普通試験問題 法規ノ分)

答 本問ハ舊郡制ノ問題ニシテ改正郡制ノ問題ニアラス今舊郡制第十六條ト第二十條ト

彼是對照スルトキハ恰モ相衝突スルカ如キ感アリ然レモ深思熟考スルトキハ大ニ
其然ラサルヲ發見スヘシ即チ第十六條ハ一般ノ選舉ニ付テ郡長ノ權利義務ヲ示シ
タルモノニシテ所謂原則ナリ之ニ反シテ第二十條ハ或特別ノ場合ニ於テ行フヘキ
選舉ニ付テ郡長ノ權利義務ヲ定メタルモノニシテ所謂例外ニ外ナラサルナリ

問 市町村制第八十九條ニ其所有物及ヒ營造物トアリ其所有物ト營造物トノ區別如何(今
上)

答 市町村有ノ所有物ト營造物トハ如何ナル區別アルカヲ按スルニ市町村制ノ理由書ニ
依レハ所有物トハ土地森林等ヲ指シ營造物トハ學校病院水道瓦斯局等ヲ指スモノ
ト如シト雖モ未タ所有物ト營造物トノ間ニ存スル區別ヲ明ニシタルモノト云フヲ
得ズ余ハ此區別ハ其物件本來ノ性質ニ基クニアラスシテ其目的及結果ヨリ生スル

モノト信ズ

(甲)目的上ノ區別 營造物ハ行政上ノ目的ヲ有スルモノ之ニ反シテ所有物ハ此目的
ヲ有セス行政上ノ目的トハ直接ニ公共ノ利益ニ供スルヲ云フ市町村有ノ所有
物ハ間接ニハ行政上ノ目的ヲ有スルモノ直接ニハ公共ノ利益ニ供スルヲ能ハサル
ナリ

(乙)結果上ノ區別 營造物ノ賣買讓渡ハ行政法上ノ關係ニシテ民法ノ規定ニ依ル
ヘキモノニアラス之ニ反シテ市町村有ノ所有物ハ民法ノ規定ニ依ツテ之ヲ賣買
讓渡スルヲ得ヘシ(但上級自治体ノ認可ヲ要ス)蓋シ市町村ガ造營物ヲ建設維
持スルコトハ公法的行爲ニシテ私法的行爲ニアラサレバナリ

問 仕拂命令官ト出納官吏トノ性質並ニ仕拂命令ノ職務ト現金出納ノ職務ト相兼スルヲ
得サル理由如何(全上)

答 (一)仕拂命令官ト出納官吏トノ性質 仕拂命令官トハ會計法規ニ從ヒテ其仕拂ヲ命
令スルノ職務ヲ有スルモノヲ云ヒ之ニ反シテ出納官吏トハ仕拂命令官ノ命令ニ依

リ其所屬ノ金額若クハ物品ヲ支出シ收納スルノ職務ヲ有スルモノヲ云フ
 ニニ任拂命令ノ職務ト現金出納ノ職務ト相兼ヌルヲ得サル理由 抑モ一人ニシテ
 二個ノ職務ヲ兼テシムルトキハ人各智能ニ限リアルカ故ニ其職務ヲ完ウスルヲ頗
 ブル難シ殊ニ會計上ノ事ニ至テハ層一層難キハ勿論往々監督スルヲ能ハサルニ至
 ル恐レアリ蓋シ一人ニシテ現金出納ノ職務ト任拂命令ノ職務ト相兼ヌルヲ得ル
 モノトセンカ時期ノ遅速ヲ問ハス場合ノ緩急ヲ論セス隨意ニ支出收納スルヲ得
 ルヲ以テ却テ專恣横逸ノ弊ヲ助長セシメ財政紊乱ノ端ヲ醸生スルニ至ルノ恐レア
 レハナリ此理由ニ基キ我會計法ハ右兩個ノ職務ヲ相兼ヌルヲ得サル旨ヲ明定シ
 タリ

問 尋常小學校ヲ設置スルノ手續及其變例ヲ記セ(全上)

答 尋常小學校ヲ設置セントスルニハ小學校令所載ノ學課ニ從ヒ且行政上ノ手續ヲ履ミ
 之ヲ相當官廳ニ申請シ以テ其之カ許可ヲ受クベシ但公立タルト私立タルトヲ問ハ
 スト雖モ小學校令ニ背戾シタル學課ヲ目的トスルヲ得サルナリ若シ市町村費ヲ

以テ尋常小學校費ヲ支辨スヘキ場合ニハ市制第三十一條第一項第二號及ヒ町村制
 第三十三條第一項第二號ニ依リ市會及ヒ町村會ノ決議ヲ經ルニアラサレバ市町村
 ハ之カ設立ヲ申請スルヲ得サルヤ明カナリ原則トシテハ尋常小學校ヲ設置スル
 ノ大要其レ斯ノ如シ蓋シルニ國家ハ各地ノ狀況ト民智ノ發達、民ノ負擔力ノ程度等
 ニ依リテ變例ヲ認ムルノ必要アリ是レ法ニ於テ特別ノ手續ヲ規定スル所以蓋シ偶
 然ニアラサルナリ

問 地方自治ト行政トノ區別(三十二年三月福井縣文官普
 通試驗問題 地方制度ノ分)

答 地方自治ト行政トノ區別ト發題シタルハ發題ノ本則ニ反スルモノト云ハサル可ラス
 何トナレハ地方自治ハ行政ノ一部分ニ屬スレハナリサレバ發題者ノ問意ハ蓋シ地
 方自治ト地方行政トノ區別ニアラランカ
 地方自治モ地方行政モ行政ノ一部分タル點ニ於テハ同一ナリト雖モ他ノ點ニ於テ
 純乎タル區別アリ即チ地方自治トハ府縣郡市町村ノ如キ公法人ガ其レ自身ノ生存
 ヲ維持シ發達ヲ圖リ團體共同ノ事務ヲ處理スルモノナリ而シテ法人ハ法ニ依テ認

ムルニアラサレハ生存スルヲ得ザルカ故ニ其法人カ活動スルモ亦法令ノ範圍ヲ超越スルヲ得ズ但上級官廳ノ認可ヲ要スル如キハ唯其監督方法タルニ過キサレハ總モ地方自治ノ本質ニ反スルモノニアラサルナリ

地方行政トハ國家カ直接ニ行フ處ノ行政ニシテ地方自治ノ如ク府縣郡市町村等ノ法人ニ委任シテ行ハシムル行政ニアラス而シテ其機關ノ如キモ亦國家カ自ラ之ヲ設備スト雖中央行政ノ如ク其政務ガ中央ニアラスシテ地方ニ屬ス故ニ地方行政ト名ツクルニ在リトス之ヲ要スルニ地方自治ト地方行政トハ府縣郡市町村ナル公法人ニ委任シテ行ハシムル政務ト國家カ直接ニ行フ地方ノ政務トニ因リテ區別セラレトモノトス

問 市町村條例ト市町村規則トノ區別ヲ説明セヨ(全上)

答 市町村ハ自主權ヲ有ス自主權トハ法令ノ範圍内ニ於ケル自治体ガ自己ノ組織權限ニ關スル法規ヲ制定スルノ權ヲ云フ故ニ市町村ハ市町村條例ト市町村規則トヲ制定スルヲ得市町村條例トハ所謂法律命令ニ似テ住民ノ權利義務ヲ規定スルヲ得

ルモノヲ云ヒ市町村ノ規則トハ所謂行政命令ニ似テ機關内ノ内規ヲ云フ殊ニ市町村規則ハ全ク營造物ノ監督ノ爲ニスルモノナリ故ニ市町村條例トハ其目的ヲ異ニシ從ツテ其檢束力モ均シカラス更ニ之ヲ詳言スレハ市町村條例ハ住民ノ權利義務ニ關シテ規定スルモ市町村規則ハ只其内部ノ規程ニ過キズ住民ノ權利義務ニ對シテハ毫モ之ヲ檢束スル力ナキ者ナリ但市町村條例ト云ヒ市町村規則ト云ヒ法律命令ニ反スルヲ得サルヤ明カカリ

問 知事選任郡參事會員ノ任期如何(全上)

答 府縣知事ハ府縣參事會員ノ一員ニシテ府縣會議員ノ任期ト同シク四年ナリ又郡參事會員モ郡會議員ト同シク四年ノ任期ナリトス(以上改正法ニ依ル)

問 府縣制第八十六條中抹符セル所ヲ解釋スヘシ

府縣制第八十六條

府縣會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ內務大臣ノ指揮ヲ請ヒ處分スルヲ得(舊府縣制)

答 (一) 招集ニ應セストハ他ナシ元來府縣知事ハ府縣會ヲ開會スル場合ニハ定期ノ府縣會タルト將臨時ノ府縣會タルトヲ問ハス必スヤ府縣會議員ニ向テ招集狀ヲ發セサル可ラス然ルニ往々出席議員ガ定數ニ滿タサルコアリ此場合ニハ府縣會ヲ開會スルコト能ハサルヲ以テ府縣會招集ニ應シタリト云フコトヲ得ズ假令二三ノ議員ハ出席シタルニセヨ定數ニ滿タサル以上ハ府縣會招集ニ應シタルモノト云フヲ得サルナリ

(二) 成立セサルトキトハ他ナシ夫レ府縣會ノ成立タルヤ(甲)府縣會ヲ開會シ得ヘキ定數ノ議員出席シ得ヘキ(乙)議長ノ選舉ヲ行ヒ議長ノ就任アルコトヲ必要トス故ニ唯定數ノ議員出席シ議長ノ選舉ヲ行ヒタリト云フノミニテハ府縣會ハ成立スルコトナシ其理由他ナシ其府縣會ノ議決ハ直ニ外部ニ向テ府縣會ノ決議トシテ活動スル程度ニ達セサルヲ以テナリ

問 會計法ニ於テ仕拂命令ノ職務ト現金出納ノ事務ト相兼ヌルコトヲ得スト規定セシ理由如何

(三十二年三月福井縣文官普通試驗)
何(問)會計法ニ關スル法令ノ分)

答 夫レ一人ニシテ二個ノ職務ヲ兼テシムルトキハ人各智能ニ限リアルニ因リ其職務ヲ完ウスルコト頗ル稀ナリ殊ニ會計上ノ事ニ付テハ層一層困難ナルハ勿論往々監督スルコト能ハサルニ至ル恐レアリ蓋一人ニシテ仕拂命令ノ職務ト現金出納ノ事務ト相兼ヌルコトヲ得ルモノトセンカ時期ノ遲速ヲ問ハス緩急ノ場合ヲ論セス隨意ニ支出收納スルコトヲ得ルヲ以テ却テ專恣横逸ノ弊ヲ助長セシメ財政紊亂ノ端ヲ醸生スルニ至ルノ恐レアレハナリ是レ我會計法ニ於テ右兩個ノ職務ヲ相兼ヌルコトヲ得サルモノト爲シタル理由ナリ

問 出納官吏ノ職務及ヒ責任ヲ説明セヨ(全上)

答 出納官吏ハ仕拂命令官ノ命令ニ依リ政府ニ屬スル現金又ハ物品ノ出納ヲ掌ル職務ヲ有ス故ニ出納官吏ハ猥リニ自己ノ意思ニ依ツテ出納ヲ爲スコトヲ得サルナリ從テ自己カ保管スル所ノ現金又ハ物品カ水火盜難又ハ其他ノ事故ニ依リ滅失毀損シタル場合ニハ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受ケサル可ラス但天災事變ノ如キ不可抗力ニ因リテ到底避クヘカヲサリシ場合ノ外ハ其責任ヲ免カル、コトヲ得サルナリ

問 府縣郡市町村ハ如何ナル收入ヲ以テ其支出ニ充ツルモノナルヤ(三十二年三月長野縣文官普
通試験問題○現行法規ノ分)

答 (一)府縣ノ收入ヲ以テ其府縣ノ經費ニ充當スルモノ之ヲ府縣稅ト云フ府縣稅トシテ
徵收スヘキ稅目并ニ賦課徵收ノ方法ハ(1)ハ地方稅規則ニ依リ(2)ハ府縣制ノ規定ニ
依ルヘキモノトス(二)郡ハ其郡ノ經費ニ充ツル爲ニ郡稅ヲ徵收ス但郡稅ハ府縣稅
ノ如ク直接ニ府縣内ノ市町村住民ニ賦課スルコトナクシテ郡内ノ各町村ニ賦課ス故
ニ郡内ノ町村住民ニ直接ニ賦課スルコトモナク各町村ハ更ニ之ヲ町村ノ豫算ニ編入
シテ町村稅トシテ徵收シ以テ其總額ヲ郡ノ金庫ニ收ムルモノトス(三)市町村ノ歲
入トシテ收入スルモノ之ヲ市町村稅及ヒ雜收入ト云フ市町村ハ此等ノ收入ヲ以テ
其經費ニ充ルモノナリ

問 左ノ法條ヲ説明スヘシ

町村制第六十二條ニ收入役ハ町村長及助役ヲ兼ヌルコトヲ得ス(全上)

答 收入役ハ元來出納ヲ取扱フ吏員ナリ町村長ハ町村ノ收入支出ニ付テ命令權ヲ有スル
吏員ナリ助役ハ町村長ノ職務ヲ補助スル吏員ナリ故ニ收入役ハ町村長ノ命令ニ依

テ現金若クハ物品ヲ收入支出スルモノニシテ恰モ出納官吏ノ如ク又町村長ハ支拂
命令官ノ如シ若シ其レ町村長及助役ト收入役トヲ相兼スルコトヲ得ルモノトセンカ
一人ニシテ隨意ニ支出收納スルコトヲ得ルヲ以テ其結果專橫ノ弊ヲ助長シ財政ノ紛
亂ヲ惹起スルノ恐レアルヲ免カレス是レ町村制第六十二條ニ於テ收入役ハ町村長
及助役ト相兼スルコトヲ得スト規定シタル所以ナリ

問 町村會ハ町村ノ行政ヲ監督スルノ權利アリヤ若シアリトセハ其監督方如何(三十二年六月
新潟縣文官普

通試験問題○
地方行政ノ分)

答 町村會ハ町村ノ代議機關ニシテ執行機關ニアラスト雖モ儘カニ町村ノ行政ヲ監督ス
ル權利ヲ有ス監督トハ他ニ管理者アル者ヲ監督スルニ在リ町村ノ行政ハ町村自ラ
之ヲ管理スルカ故ニ町村會之カ監督ヲ爲スノ權利アリ蓋シ町村會ハ本體ニシテ町
村ノ行政ハ支體ナリ本體ハ支體ヲ監督スルノ權ヲ有スルハ勿論尙ホ其上ニモ事務
ノ詳細ヲ監査スルノ權ヲ有セサル可ラス現ニ町村制第十五條ニ於テ町村會ハ町村
ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ

施行並收入支出ノ正否ヲ監査スルノ職權ヲ有スト規定シタルカ如キハ正シク町村
行政ノ監査方ヲ明ニシタル者ナリ從テ町村會ハ町村ノ行政ニシテ公益ヲ害スルノ
所爲アリト認ムルトキハ意見書ヲ監査行政廳ニ差出シ其處分ヲ仰クコトヲ得ヘシ是
レ亦監査權ヨリ生スル當然ノ結果ナリ

問 市町村會議員ノ選舉ニ關シ選舉人ノ等級ヲ設ケタル理由如何(全上)

答 我市町村ニ於テ市町村會議員ノ選舉ニ等級ヲ設ケタル理由ハ他ナシ元來選舉權ヲ有
スル者ハ公民ナリ公民中ニハ多ク財產ヲ有スル者アリ又寡ナク財產ヲ有スル者ア
ルヘシ然ルニ財產ノ多寡アルニ拘ハラズ之ヲ同等ノ權利者ト爲ストキハ富者ハ少
財產家ノ壓制ヲ受ケ其保護ノ點ハ單ニ人身ニ止マリ財產保護ノ實ナキニ至ルヘシ
是ヲ以テ我市町村制ハ社會ノ秩序ヲ維持シ財產ヲ保護シ人身ヲ保護スルト云フ理
由ニ基キ富者ト少財產家トノ權利上ノ區別ヲ立テ所謂等級制度ノ主義ヲ採リタリ

問 地方分權ト地方自治トノ區別ハ如何(三十三年二月大縣文官普
通試驗問題C現行法規ノ分)

答 地方分權ト地方自治トハ似テ非ナルモノナリ故ニ地方自治ト地方分權トハ混同スル

コナキヲ要ス地方分權トハ中央集權ニ對スル語ニシテ要ハ政治上ノ一主義タルニ
止マリ行政法上ノ觀念ニアラズ之ニ反シテ地方自治ハ行政法ノ一部ナルカ故ニ行
政法上ノ觀念タリ或學者ハ地方自治ノ觀念ヲ定ムルニ分權ニ重キヲ置ケリ然レモ
自治ハ或程度ノ分權ナクシテ存在シ得ラレサレモ分權アルカハ必ス自治アリト斷
定スルハ不可ナリ是レ二者ノ觀念ヲ異ニスル所以ナリ

問 府縣會議員選舉ノ無効ト當選ノ無効トノ區別(全上)

答 府縣會議員選舉ノ無効トハ選舉ノ規定ニ違背スルノ所爲ヲ云ヒ府縣會議員當選ノ無
效トハ當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサル場合ヲ云フ是レ兩者ノ間ニ於ケル區別ノ
要點ナリ

問 府縣會ハ法律ノ禁セサル事件ハ之ヲ議決スルコトヲ得ルヤ(全上)

答 府縣會ハ府縣ノ代議機關ニシテ其議決スヘキ事件ハ法ニ依リテ之ヲ附與ス故ニ府縣
會ハ法ニ依リテ附與セラレサル事件ハ之ヲ議決スヘキ權能ナシ蓋シ府縣ハ一ノ法
人ナルカ故ニ府縣會モ亦法ニ依リテ附與セラレタル範圍内ニ於テノ議決權ヲ有

スルニ過ギザレハナリ今改正府縣ニ依リ府縣ノ議決スヘキ事件ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 歳入歳出豫算ヲ定ムル事

(二) 決算報告ニ關スル事

(三) 律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料府縣稅及夫役現品ノ賦課徵收ニ

關スル事

(四) 不動産ノ處分並買受讓受ニ關スル事

(五) 積立金穀等ノ設置處分ニ關スル事

(六) 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ

爲ス事

(七) 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規定アルモノハ此

限ニ在ラス

(八) 其他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項

問 市町村ノ公法上ニ於ケル行爲ト私法上ニ於ケル行爲トノ區別(全上)

答 市町村ハ地方最下級ノ公法人ニシテ上級官府ノ監督ヲ受ケ法律ノ範圍内ニ於テ其公

共ノ行政事務ヲ處理スヘキモノナレハ之ヲ廣ク云フトキハ市町村ノ行爲ハ公法上ノモノトミニシテ私法上ノ行爲ナルモノナシト云ハサル可ラサルカ如シ然レモ市町村ト雖モ或場合ニ於テハ一私人ト同シク私法ノ規定ニ依リテ契約ヲ取結ビ權利ヲ有シ義務ヲ負フコアリ其他市町村ガ不動産及積立金穀ヲ所有スルノ必要アリ斯ル場合ニ於テハ市町村ト雖私法上ノ行爲ヲ爲シ公法上ニ於ケル行爲ヲ爲スヘキモノニアラス換言スレハ市町村ノ私法上ノ行爲トハ直接ニハ私法上ノ行爲ヲ爲シ間接ニハ公法上ノ行爲ト爲ルヘシ故ニ市町村ノ公法上ノ行爲ト私法上ノ行爲トノ區別ヲ明ニセントスルニハ市町村ノ私法上ノ行爲ノ何タルヤヲ論スレバ其公法上ノ行爲ノ何タルヤハ自ラ分明トナラン要スルニ市町村ノ公法上ノ行爲ノ内ニハ往々私法上ノ行爲モ包含スルコアリト雖之ニ反シテ市町村ノ私法上ノ行爲中ニハ毫モ公法上ノ行爲ナルモノナシトス

問 豫算各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ザル理由如何(全上)

答 豫算額ノ流用トハ例ハ甲項ノ金額不足スルニ當リ乙項ノ殘餘金ヲ移シテ其不足ニ充實セシムルヲ其他節目ノ金額ノ流用等ヲ云フ現行市制町村制中ニハ費目流用ニ關スル規定ナシ改正府縣制郡部ニ於テハ內務大臣ニ於テ之ヲ定ムル旨ヲ明ニセリ斯ノ如ク費目流用ノ事タルヤ內務大臣之ヲ定ムル者ナルカ故ニ何人モ之ヲ彼此流用スルコトヲ得ス若シ其レ之ヲ隨意ニ流用スルコトヲ得ルモノトセンカ內務大臣ノ府縣監督權ヲ蹂躪シ恰モ豫算ノ費目ヲ定メサルト異ナルコトナキニ至リ其結果府縣ノ財政ヲ紊亂スルノ弊ヲ惹起スレハナリ是豫算各項ノ金額ヲ彼此流用スルヲ禁スル所以ナリ

問 府縣制ニ於テ府縣ノ豫算ニハ必ス豫備費ヲ設クヘキコトヲ規定シタル主旨並之ヲ以テ府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ禁シタル理由如何(三十三年四月宮崎縣文官普通試驗問題)

答 府縣ニ於テ豫備費ヲ設クヘキ理由他ナシ元來府縣ハ公法人ニシテ財產權能ヲ有シ獨立ノ經濟ヲ營ムヘキモノナレバ豫算外ノ支出ヲ要シ若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツ

ルノ要アリ豫算外ノ支出トハ例ヘハ不慮ノ災害ニ罹リタル窮民ヲ救助シ或ハ凶年ニ際シ罹災救助基金ヲ支出スルモ猶ホ不足ナルトキノ類ヲ云ヒ豫算超過ノ支出トハ例ヘハ物ノ價格ニ變動ヲ生シタルカ如キ事由ニ依リ豫算額ニ不足ヲ生シタルトキニ當リ之ニ充ツル支出ノ如キヲ云フ要スルニ此等ノ支出ニ充ツル目的ヲ以テスルニアラサレハ豫備費ヲ設クルコト能ハサルナリ次ニ府縣會ノ否決シタル費途ニ充ツルヲ禁シタル理由ハ他ナシ是レ府縣ノ豫算ハ其府縣會ニ於テ議決スヘキモノナレハ府縣會ニ於テ可決シタルトキハ豫算成立シ否決シタルトキハ豫算不成立ト爲ルヘシ故ニ豫備ニシテ豫算不成立ト爲ランカ其府縣ノ費途ニ充ツルコトヲ得サルヤ明ナリ

問 郡會ノ議決スヘキ事件ハ何々ナリヤ(全上)

答 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

- (一) 歳入歳出豫算ヲ定ムルコト
- (二) 決算報告ニ關スルコト

(三) 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手数料及夫徒現品ノ賦課徴收ニ關スル

(四) 不動産ノ處分並買受讓受ニ關スル事

(五) 積立金穀等設置及處分ニ關スル事

(六) 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負担ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

(七) 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムルヲ但法律命令中別段ノ規定アルモノハ此限ニアラス

(八) 其他法律ニ依リ郡會ノ權限ニ屬スル事項

問 市町村内ニ於ケル區ノ性質ヲ論ズ(全上)

答 市町村ハ地方最下級ノ自治体ニシテ法人格ヲ有ス故ニ現行市町村制ニ於テモ市町村ハ法律上一個人ト均シク權利ヲ有シ義務ヲ負担シ云々ト定メ以テ市町村ヲ法人ト看做セリ蓋シ法人ハ法律ノ擬制ニ基ク權利義務ノ主体ナレハナリ然ルニ市町村内

ノ區ニ關シテハ現行市町村制上又ハ特別ノ他ノ法令中ニ於テモ法人ト認メタル規定ナシ唯市町村制中市町村内ノ區ハ特別ノ財産ヲ有シ營造物ヲ設クル場合ニ區會ヲ設クルヲ得ル旨ヲ規定シタルニ過キス現行市町村制ニ於テ斯ル規定アルガ爲ニ往々世人ヲシテ區モ法人ニハアラスカノ疑問ヲ惹起セシムルヲアリト雖モ敢テ區ニ法人格ヲ附與シタルモノニアラス換言スレハ區ガ特別ノ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ有スル場合ニ於テ區會ヲ設クルヲ得ル旨ヲ規定シタルノミニシテ區ヲ以テ權利義務ノ主格ヲ認メタルモノニアラサルナリ

問 市町村立小學校ノ設置ニ關シ市町村及町村學校組合並區ニ於テ負担スヘキ費用ノ概要如何(全上)

答 本問ノ場合ニ於テ負担スヘキ費用ノ概要左ノ如シ

(一) 修繕ノ費用

(二) 保存ノ費用

問 本邦ニ於テ行政裁判所ヲ設ケタルノ主旨如何(全上)

答 行政裁判所ハ如何ナル機關例ヘハ内務省、大藏省、逓信省、司法省、文部省等ヲシテ掌ラシムルモ行政裁判ノ性質ニ反スルコトナシ然レモ斯ノ如キコトハ所謂行政官廳ヲシテ自己ノ行爲ニ對シ自己ガ裁判スルカ如キ奇觀ヲ生シ其公平ヲ失スルノ恐レアリ否ナ實際ニ於テハ假令公平ヲ失セサルニモセヨ斯ノ如キハ裁判ノ威信ヲ失墜スルノ虞アルニ因レハナリ是ヲ以テ我邦ハ填國ノ制度ニ倣ヒ特ニ行政裁判所ナルモノヲ設ケタルニ在リトス

問 訴願ハ如何ナル事件ニ付キ提起スルコトヲ得ルヤ(全上)

答 訴願ハ現行法上一般ノ規定ニ依リテ許サレタルモノト特別ノ規定ニ依リテ許サレタルモノトノ二アリ

(甲)一般ノ規定ニ依リテ許サレタルモノ左ノ如シ

(一)租税及手数料ノ賦課ニ關スル事件(二)租税滯納處分ニ關スル事件(三)營業色許ノ拒否又ハ取消ニ關スル事件(四)水利及土木ニ關スル事件(五)土地ノ官民有區分ニ關スル事件(六)地方警察ニ關スル事件是ナリ此ハ是レ明治二十三年十

月法律第百五號訴願法ノ規定スル所ナリ

(乙)特別法ニ依リテ訴願ヲ許シタルモノハ例ヘハ市制町村制府縣制郡制ノ如キ河川法森林法砂防法又ハ鑛業條例ノ如キ規定中ニ散見スルモノナリ

問 市町村條例ト市町村規則トノ差別如何(三十三年四月岐阜縣
文官普通試驗問題)

答 本問ハ去ル明治三十二年三月福井縣文官普通試驗問題ト同一ニシテ全縣問題解説ノ際既ニ述ヘタルヲ以テ茲ニ重複説明スルノ要ナシ

問 市町村民權所得ノ條件如何(全上)

答 市町村內ニ在ル所ノ人民ニ二種アリ一ハ住民ニシテ一ハ公民ナリ今市町村民權ト云フトキハ住民權ヲ指シタルモノナルカ將タ公民權ヲ指シタルモノナルカト云フニ余ハ之ヲ廣義ニ解スルヲ正當ト認ム換言スレハ住民權ト公民權トヲ包含スルノ意味ニ解セサル可ラス故ニ余ハ此意味ニ於テ左ニ民權取得ノ條件ヲ示サントス

第一 市町村住民タル權利ヲ所得スルニハ左ノ二條件ヲ具備スルコトヲ要ス

(甲)永住ノ意思ヲ以テスルコト

(乙)同一市町村内ニ住居ヲ占ムルコト

第二 公民權ヲ所得スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

(一)帝國臣民タルコト

(二)滿二十五歳以上ニシテ一戸ヲ構ヘ且禁治産ニ處セラレサルコト

(三)二年以上市町村ノ住民タルコト

(四)二年以上市町村ノ負擔ヲ分任シタルコト

(五)二年以來其市町村ニ於テ地租ヲ納メ若クハ直接國稅年額二圓以上ヲ納メサルヘカラサルコト

(六)公費ヲ以テ救助ヲ受ケタル者ハ二年タルコト

問 郡費賦課ノ方法如何(全上)

答 郡ハ一ノ法人體ナリ從テ郡ハ郡ノ費用支辨ノ義務アリ既ニ支辨ノ義務アル以上ハ收入ノ途ナカル可ラス即チ郡ノ負擔ハ郡有財産ヨリ生スル收入及ヒ其他ノ收入ヲ以テ充ツルモノ、外之ヲ郡内ノ各町村ニ分賦シテ徵收シ以テ郡費ノ支辨ニ充ツ而シ

テ郡費分賦ノ割合ハ其豫算ノ屬スル年度ノ前前年度ニ於ケル各町村ノ直接國稅府縣稅ノ徵收額ニ依ルヘキモノトス但此原則ニ對シテハ例外アリ例外トハ右ノ分賦方法ニ依リ難キ事情アル場合例ヘハ非常ノ支出ヲ要スル事情アリテ多額ノ收入ヲ要スルカ如キ場合ニハ郡長ハ郡會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ特別ノ分賦方法ヲ設クルコトヲ得ルナリ

問 郡會違法議決ニ對スル郡長ノ處置如何(全上)

答 本問ノ場合ニ於テハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其議決若クハ選舉ヲ取消シ又ハ議決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ之ヲ取消サル可ラス蓋シ郡長ヲシテ此處置權ヲ有セシムル理由ハ主トシテ郡會ノ議決若クハ信用ヲ維持シ以テ郡ノ自治行政ノ美果ヲ収メントスルノ精神ニ外ナラサルナリ

問 府縣會ノ解散ハ何人が如何ナル手續ヲ以テ之ヲ命スルコトヲ得ルカ(全上)

答 府縣會ノ解散ヲ命スル者ハ内務大臣ナリ然レモ内務大臣ハ府縣會ノ停止ヲ命スル

合ト異ナリ輕々シク之ヲ命セシムルコトヲ許サス故ニ改正府縣制ハ勅裁ヲ經テ云々ト規定セリ從テ內務大臣ハ自己ノ權内ニ於テ解散ヲ命スルコトヲ得ス必スヤ勅裁ヲ經サル可ラス

問 府縣會議員選舉ノ投票ノ無效ト爲ル場合ヲ列記セヨ(全上)

答 府縣會議員選舉ノ投票ノ無效ト爲ル場合左ノ如シ

- (一) 成規ノ用紙ヲ用井サルモノ
- (二) 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- (三) 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- (四) 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- (五) 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但舊位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此限ニ在ラス

問 使用料手数料及町村税ノ性質ヲ説明スヘシ(三十四年一月宮城縣文官普通試驗問題)

答 使用料トハ公權的収入ニシテ之ヲ徵收スルニ當リテ國稅滯納處分法ニ據ルヘキモノ

ニシテ且一己人ノ私益ニ對スル報酬的ノ性質ヲモ有ス手数料トハ市町村カ自己ノ行政機關ヲ住民ノ私益ノ爲ニ利用セラレタルトキニ徵收スルモノニシテ而モ報酬的ノ性質ヲ有ス斯ノ如ク使用料ト手数料トハ一見シテ異ナラサルカ如シト雖モ手的數料ハ市町村ノ行政機關ヲ利用スル爲ニ生ス之ニ反シテ使用料ハ市町村有ノ財產及營造物ヲ利用スル爲ニ生スル者ナリ即チ其利用サレタル物件ノ性質ニ依テ異ナルモノトス町村税ハ町村カ自己ノ維持發達ノ爲ニ公權ノ作用ニ據テ其住民ヨリ徵收スル租稅ナリ故ニ町村税ハ(一)町村住民ノ負擔ニ係ル者ナリ(二)町村カ公權的作用ニ依テ徵收スルモノニシテ其手續國稅徵收ト同一ナリ(三)町村ノ維持發達ヲ目的トスル者ナリ町村税ノ性質其レ斯ノ如シ從テ租稅ノ原理原則ハ亦町村税ニモ適用スルコトヲ得ヘキナリ

問 何ヲ營造物ト云フ(全上)

答 市町村制理由書ニ依レハ造營物トハ學校、病院、水道、瓦斯局等ヲ指スモノ、如シ然モ此等ノモノガ直接ニ公共ノ利益ニ供スルコトヲ得ル場合ニ限ル換言スレハ營造

物ハ私法的ノ關係ニアラズシテ行政法上ノ關係スル學校、水道、病院、瓦斯局等ヲ指スモノナルヲ蓋シ疑ナシトス

問 市町村公吏ノ公法上ノ性質ヲ説明スベシ(全上)

答 市町村ノ公吏トハ(一)市長(二)市ノ助役(三)町村長(四)町村助役(五)市ノ収入役(六)町村ノ収入役(七)區長(八)區長代理者(九)市町村ノ書記(十)市町村ノ委員等ヲ云フ

市長ハ市會ノ推薦シタル候補者中ヨリ裁可ニ依テ就職スルモノニシテ而モ有給職タリ市ノ助役モ亦有給職ニシテ市會ノ選舉ニ出テ府縣知事ノ認可ヲ受クルモノタリ而シテ兩者ニ六年ノ任期トス

町村長及其助役ハ其町村公民中ヨリ之ヲ選舉シ知事ノ認可ヲ受クルモノニシテ共ニ其任期ハ四年ナリトス

市町村ノ収入役ハ有給職ニシテ市ニ在テハ市參事會之ヲ推薦シテ市會ノ議決ヲ經府縣知事ノ認可ヲ受ケ町村ニ在テハ町村長之ヲ推薦シテ町村會ノ議決ヲ經郡長ノ

認可ヲ受クヘキモノニシテ其任期ハ共ニ四年トス要スルニ市町村収入役ノ職權ハ市町村ノ會計事務ヲ管掌スルモノナリ

然リ而シテ市町村ノ區域廣闊人口稠密ニシテ市町村會若クハ參事會ノミニテハ行政上不便少カラサル場合アリ是ニ於テ自治体ヲ數個ニ分テ各區ニ區長及ヒ其代理者ヲ設ケリ區長及其代理者ハ名譽職ナリ但シ市ニ限之ヲ有給職ト爲ス

市町村ノ書記ハ市町村ノ事務ヲ執行スルカ爲ニ市參事會若クハ町村長之ヲ任免スルモノニシテ其人員ハ市町村會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ムルモノナリ

市町村ニ委員ナルモノヲ置キ以テ市町村ノ行政機關ニ參與シ市町村長ヲ補助スルノ責任ニ任セシム委員ヲ選任スルハ市町村會ノ決議ニ依リ市町村會議員又ハ公民中ヨリ選拔スルモノトス委員ノ職務ハ特定ノ事項ニ限ルモノナリ要スルニ委員ハ行政機關ニ隸屬シテ市町村ノ事務ヲ分掌スルモノニシテ獨立ノ職權ヲ有スル機關ニアラサルモノトス

問 市町村ノ法規設定權ヲ詳說セヨ(全上)

答 市町村ノ法規設定權ハ是レ自主權ナリ或學者ハ自治体ニ與フルニ自主權ヲ以テスル
 トキハ國家立法權ヲ減殺スルモノナレハ從テ國家統一ノ原則ニ戻リ其ノ基礎ヲ危
 クスルノ恐アリト云ヘリ然レモ自主權ハ其性質一ノ立法權ナリト雖モ其範圍甚タ
 狭ク殆ント執行命令ノ如ク且國家ノ認可ヲ俟テ始メテ其效力ヲ生スルモノナレハ
 國家ノ意思ニ反スル所ノ自主權ハ活動スル能ハサルナリ識ルヘシ自主權トハ法令
 ノ範圍内ニ於ケル自治体ニシテ自己ノ組織權限ニ關スル法規ヲ制定スルノ權ナル

問 市町村内ノ一部落ガ財産ヲ所有スルモ特別ノ機關ヲ設ケテ之ヲ處理セサル場合ニ於テ
 其部落並ニ財産ノ法律上ノ地位如何(全上)

答 市町村ハ行政ノ便益ノ爲ニ更ニ或部落ニ對シテ特別ノ機關ヲ設ケルコトヲ得即チ各部
 落ニ所有ノ財産アリ若クハ營造物アルトキハ特別ノ機關タル區會ヲ設ケルコトヲ得
 ベシ斯ノ如ク區ハ行政上ノ爲ニ設ケタル特別ノモノナレハ之ニ依テ市町村ガ公
 法人タル性質ヲ失フモノニアラス故ニ區ハ人格ナシ斯ノ如ク區ナル特別機關ヲ認

メタル場合ニ於テモ區ハ人格ナキ故ニ本問ノ如ク特別ノ機關ヲ設ケテ之ヲ處理セ
 サル場合ニ於ケル其部落並ニ財産ノ法律上ノ地位ハ市町村ニ依テ之ヲ處理スヘキ
 モノナリ何トナレハ此場合ニハ區會ト云ヘル特別ノ機關ナケレハナリ假令又區ナ
 ル特別機關アリト雖モ區ハ法人ニアラス從テ外部ニ對シテ獨立ノ權利ヲ主張スル
 コトヲ得ス故ニ市町村ニ於テ之ヲ處理スヘキモノトス

刑法

問 刑法ト刑事訴訟法トノ關係ヲ説明スヘシ(三十二年三月長野縣文官普
 通試験問題〇現行法ノ分)

答 法ニ主法助法ノ區別アリ主法トハ根本的ノ法律ニシテ助法トハ主法ニ對スル語ニシ
 テ所謂手續法ナリ刑法ト刑事訴訟法トハ等シク是レ刑事法タルニハ相違ナキモ此
 兩者ノ關係タルヤ一ハ犯罪ト刑罰トヲ定メタル根本的ノ法律ニシテ一ハ犯罪者ヲ
 所罰スル手續法タリ故ニ前者即チ刑法ハ主法ナルモ之ニ反シテ後者即チ刑事訴訟
 法ハ助法ナリ是レ恰モ刑法ニ於ケル刑事訴訟法トノ關係ハ民法ニ於ケル民事訴訟

法ノ關係ノ如キモノナリ

問 罪ヲ犯スノ意思ナキ所爲ト罪ト爲ルヘキ事實ヲ知ラスシテ犯シタル所爲トヲ例ヲ擧ケ

テ解説セヨ(三十三年四月岐阜縣文官
普通試験問題○刑法ノ分)

答 犯意トハ刑法ガ犯罪ト認メタル所爲ヲ行ハントスル決心ヲ云フ故ニ此決心ナクシテ
犯シタル所爲ハ罪ヲ犯スノ意思ナキ所爲ナリ例ヘハ官印ヲ偽造セントスルノ決心
ナクシテ官印ヲ偽造シタルカ如キヲ云フ之ニ反シテ罪ト爲ルヘキ事實ヲ知ラズシ
テ犯シタル所爲トハ例ヘハ獸皮ヲ着タル樵夫ヲ眞ノ獸ト誤認シテ銃殺シタルカ如
キ(目的物ニ犯罪構成ノ能
カアルヲ知ラザリシ)其他毒藥ヲ良藥ト信シテ病者ニ服セシメタルカ如キ(手段ニ犯
罪構成ノ
能カアルヲ知
ラザリシ場合)等ノ場合ヲ云フ

問 謀殺犯ト故殺犯トノ區別ヲ示セ(全七)

答 謀殺トハ深思熟慮ノ結果殺人ノ行爲ヲ爲シタルモノヲ云ヒ故殺トハ一時ノ激憤ニ依
リテ殺人ノ行爲ヲ爲シタルモノヲ云フ故ニ謀殺ト故殺トハ其刑罰ヲ異ニセサルベ
カラサル理由ヲ生ス何トナレハ(一)犯人ノ意思ガ深思熟慮ノ結果ニ出テシトキハ

一時ノ激憤ニ依リテ罪ヲ犯シタルモノヨリモ其情狀重シ(二)深思熟慮ニ成リタル
行爲ハ一時ノ激憤ニ出デタルモノヨリモ多クノ場合ニ於テ其目的ヲ達スレハナリ
是レ我現行刑法ニ於テ謀殺ヲ區別シテ規定シタル所以ナリ然レモ最近學派ハ謀
殺故殺ヲ區別スルニハ犯罪行爲ノ豫謀ニ成ルト否トヲ論スヘキモノニアラズシテ
主觀的ニ犯人ガ殺人行爲ヲ爲シタル原因ニ溯リテ刑罰ヲ輕重スヘキモノナリト説
ケリ余輩ハ我現行刑法ノ解釋論トシテハ前説ヲ採リ況ク學説トシテハ後説即チ最
近學派ノ説ニ左祖スル者ナリ

民事訴訟法

問 公示送達ヲ爲スヘキ場合及其送達ノ方法如何(三十二年長野縣地方裁
判所書記聘用試験問題)

答 公示送達トハ公衆ニ告知スル送達ニシテ執達吏若クハ郵便ニ依托スルコトナキモノナ
リ今其場合ヲ擧クレバ(一)原告若クハ被告ノ所在地ノ知レサル場合(二)外國ニ於
テ爲スヘキ送達ニ付テハ其規定ニ從フコト能ハス若クハ之ニ從フモ其效力ナキコトヲ

豫知シタル場合はナリ而シテ公示送達ハ原告若クハ被告ノ申立ニ因リ裁判所ノ命令ヲ以テ裁判所書記之ヲ取扱フモノニシテ其之ヲ送達スル方法タルヤ先ヅ交付スヘキ書類ヲ裁判所ノ掲示板ニ貼附シテ之ヲ爲サ、ル可ラス但判決及ヒ決定ニ在テハ其裁判ノ部分ノミヲ貼附スヘキモノトス其他裁判所ハ送達書類ノ抄本ヲ一箇又ハ數箇ノ新聞紙ニ一回又ハ數回掲載スヘキヲ命スルコトヲ得ヘキカ故ニ裁判所書記ガ此命令ヲ受ケタルトキハ其抄本ヲ掲載セサル可ラス而シテ其抄本ニハ裁判所當事者並訴訟物及ヒ送達スヘキ書類ノ要旨ヲ掲クルコトヲ要ス

問 訴訟手續ノ中止中斷及休止ノ區別ヲ説明スヘシ。(全上)

答 訴訟手續ノ中止トハ或場合ニ於テ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ裁判所ノ命令ニ依リ一時訴訟手續ノ進行ヲ停止原因己ムニ及ンテ再ビ進行ヲ始ムル者ヲ云ヒ訴訟手續ノ中斷トハ既ニ權利拘束ト爲リタル訴訟手續ヲ若干時間消滅セシムルモノヲ云ヒ訴訟手續ノ休止トハ中止中斷ト異ナリ當事者ノ合意ニ依リテ訴訟手續ノ進行ヲ遏止スルモノニシテ而モ其合意ハ不變期間ノ進行ニ對シテハ何等ノ影響

ヲ及ボサ、ルモノヲ云フ

問 假差押ト假處分トノ差異如何(全上)

答 一)假差押ハ金錢上ノ債權ニ關スル強制執行ヲ保全スルモノニシテ一般ノ物ニ及フコトナシ之ニ反シテ假處分ハ單ニ係争物ノ目的物ノミニ適用スルモノナリ
二)假差押ハ一ニ財産權上ノ物ニ適用スヘキモノナリ之ニ反シテ假處分ハ時ニ争アル權利關係ニ付假リノ地位ヲ定ムルトキニモ之ヲ爲スヘキモノトス
三)假差押ハ訴訟中ニ施行スルモノナレトモ假處分ハ訴訟ノ繫屬セサル時ニ行フモノナリ

(四)假差押ノ範圍ハ申立人ノ申立ニ制限セラル之ニ反シテ假處分ハ裁判所ハ自由ナル意見ヲ以テ必要ナル處分ヲ定メテ命スヘキモノトス

問 訴狀ニ具備スヘキ條件ヲ擧ケテ之ヲ説明スヘシ(三十二年三月新潟縣地方裁判所書記試驗問題)

答 第一當事者及裁判所ノ表示當事者ヲ表示スル理由ハ訴訟關係人ヲ知ルノ要アリ裁判所ヲ表示スル理由ハ管轄違ヒヲ避クルノ利アレハナリ

第二 起シタル請求ノ一定ノ目的物及ヒ其請求ノ一定ノ原因 一定ノ目的物トハ訴ヲ以テ得ント欲スル物ヲ云ヒ一定ノ原因トハ訴ノ起リタル根原ヲ云フ

第三 一定ノ申立 一定ノ申立トハ判決ヲ受クヘキ事項ニシテ訴ノ主眼トナルヘキモノヲ云フ

以上ノ三條件ハ必要の條件ナルヲテ以テ若シ其一ヲ缺クトキハ訴狀爲ニ無効ニ歸スルナリ此他訴狀ニハ民事訴訟法第百五條ノ規定ニ從ヒ準備書面ヲ作り且裁判所ノ管轄ガ訴訟ノ目的物ノ價額ニ依リ定マル場合ニ於テ其訴訟ノ目的物ガ一定ノ金額ニアラサルトキハ其價額ヲ見積リテ掲クヘキモノトス

問 主參加トハ如何ナルモノナルヤ(全上)

答 使參加ニハ一般ノ主參加ト特種ノ主參加トアリ一般ノ主參加トハ他人ノ間ニ權利拘束ト爲リタル訴訟物ノ一部又ハ全部ヲ自己ノ爲ニ双方ノ當事者ニ對シテ請求スルモノヲ云ヒ特種ノ主參加トハ一般ノ主參加ト異ナリ原告及被告ノ共謀ニ因リ自己ノ債權ニ損害ヲ生スルヲ主張スル者ヲ云フ

問 妨訴抗辯ハ如何ナル程度ニアルヲ問ハス之ヲ爲シ得ヘキヤ(全上)

答 妨訴ノ抗辯トハ原告請求ノ適否ニ拘ハラス他ノ事實ニ付キ抗爭スルノ義ニシテ其之ヲ提出スルニハ(一)本案ノ辯論前タルヲ(二)數個ノ妨訴抗辯ナルトキハ同時ニスヘキヲ原則トス故ニ妨訴ノ抗辯ハ如何ナル程度ニアルモ之ヲ爲スヲ得可キ者ニアラズ然レモ此原則ニ對シテハ例外アリ即チ(甲)原告ノ有效ニ拋棄スルヲ得サル抗辯ナルトキ(乙)被告ノ過失ニアラスシテ本案ノ辯論前ニ抗辯ヲ主張スル能ハサリシヲ疎明スルトキ是ナリ

問 地方裁判所訴訟手續ト區裁判所訴訟手續ノ大差如何(三十二年三月和歌山縣地方裁判所書記試驗問題)

答 (一)裁判ノ構成ヲ異ニス 地方裁判所ノ構成ハ三人ノ合議制ナルモ區裁判所ハ一人ノ判事ニテ裁判スルノ差アリ
(二)妨訴抗辯ノ方法ヲ異ニス 地方裁判所ニ於テ妨訴ノ抗辯ヲ主張セントスル被告ハ口頭辯論ト同時ニ爲スヘキモノナリト雖區裁判所ニ在リテハ管轄違ノ外此規定ヲ適用セス

(三) 本案辯論ニ付キ差アリ 地方裁判所ノ訴訟手續ニ在リテハ被告ハ妨訴ノ抗辯ニ基キ本案ノ辯論ヲ拒ムコトヲ得ルモ區裁判所ニ在リテハ被告ニ此權利ナシ

(四) 就審期間ヲ異ニス 地方裁判所ニ在リテハ口頭辯論ト送達トノ期間ハ二十日ヲ要スルモ區裁判所ニ在リテハ其期間ハ三日トス

(五) 準備書面ノ交換ヲ要スルト要セサルトノ差アリ 地方裁判所ニ在リテハ申立及事實上ノ主張ニシテ豫メ通知スルニアラサレハ相手方ニ於テ之ニ對シ陳述ヲ爲シ得ヘカラサル事情アルトキハ書面ヲ認メテ之ヲ送達スルコトヲ要スルモ區裁判所ニ在リテハ是等ノ事ヲ要セス

(六) 取扱事件ヲ異ニス 地方裁判所ニ在リテハ和解督促手續公示催告執行ノ手續ハ取扱ハスシテ是等ハ區裁判所取扱フ又地方裁判所ニアリテハ計算事件財産分別及ヒ之ニ類スル準備手續ヲ取扱フモ區裁判所ハ取扱ハス

(七) 判決事項ヲ異ニス 地方裁判所ニ在リテハ判決ヲ受クヘキ事項ハ書面ニ基キ又ハ書面ヲ以テ差出スヘキ規定アルモ區裁判ニハ之ヲ要セス

問 假差押假處分ノ區別(全上)

答 (一) 假差押ハ金錢ノ債權及ヒ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付強制執行ヲ保全スル爲メニ許スモノナレバ假處分ハ單ニ係争ノ目的物ニノミ適用スルモノナリ (二) 假差押ハ訴訟中ニ施行スルモノナレバ假處分ハ却テ訴訟ノ繫屬セサル時ニ行フモノタリ

(三) 假差押ハ申立人ノ申請ニ制限セラル、モ假處分ハ裁判所ハ自由ナル意見ヲ以テ必要ナル處分ヲ定メテ命スルナリ

(四) 假差押ハ一ニ財産權上ノ物ニ適用スヘキモノナレバ假處分ハ時ニ争アル權利關係ニ付キ假リノ地位ヲ定ムル場合ニモ之ヲ爲スヘキモノトス

問 權利拘束ノ效力如何(三十二年四月大阪地方裁判所書記試驗問題)

答 權利拘束トハ訴訟物が裁判所ニ繫屬シタル結果トシテ其訴訟物上ノ權利ガ其裁判所ニ羈束セラル、ヲ云フ今權利拘束ノ效力ヲ擧グレハ左ノ如シ

(甲) 權利拘束ノ繼續間同一訴訟事件ヲ同一又ハ他ノ裁判所ニ起訴スルコトヲ得ス若

シ起訴シタルトキハ相手方ニ於テ妨訴ノ抗辯ヲ爲スヲ得

(乙) 訴訟物ノ價格住所ノ變更其他管轄ヲ定ムル事情ノ變更ニ依ル管轄ヲ變更スル
コナシ

(丙) 被告ノ承諾ヲ得ルニアラサレバ訴ノ變更ヲ爲スヲ得ス

(丁) 被告ヨリ原告ニ對シ反訴ノ提起ヲ爲スヲ得

問 原告又ハ被告若クハ當事者双方ガ口頭辯論期日ニ出頭セサルトキハ如何ニ處分スルヤ

(全上)

答 第一原告又ハ被告ガ口頭期日ニ出頭セサルトキノ處分

(甲) 此場合ニ於テハ裁判所ハ出頭シタル相手方ノ申立ニヨリ闕席判決ヲ爲スモノ
トス

(乙) 出頭セサル一方ガ原告ナルトキハ闕席判決ヲ以テ其訴訟ヲ却下スヘシ蓋シ出
頭セサル原告ハ所謂口頭辯論ノ期日ヲ懈怠シタル結果ニ歸スルヲ以テ裁判所ハ
原告ノ訴ノ當否ヲ裁判スルノ要ナキナリ

(丙) 出頭セサル一方ガ被告ナルトキハ裁判所ハ被告ガ原告ノ事實上ノ口頭供述ヲ
自白シタルモノト看做シ原告ノ請求ヲ正當ト爲ストキハ闕席判決ヲ以テ被告ノ
敗訴ヲ言渡シ又其請求ヲ正當ト爲サ、ルトキハ其訴ノ却下ヲ言渡スヘシ若シ原
告ノ事實上ノ申立ハ立證ヲ用弗スシテ眞實ナリトノ推定ヲ受クルニ由レハナリ

第二當事者雙方カ口頭辯論期日ニ出頭セサルトキノ處分

口頭辯論ノ期日ニ於テ當事者雙方出頭セサルトキハ訴訟手續ハ其一方ヨリ更ニ口
頭辯論ノ期日ヲ定ム可キヲ申立ツルマテ之ヲ休止スベシ口頭辯論期日ニ於テ
原告及被告カ出頭セサル如キハ法律上暗黙ノ合意ニ依リ訴訟手續ヲ休止セリトシ
定ヲ受クレハナリ但一年内ニ右ノ申立ヲ爲サ、ルトキハ我民事訴訟法ハ本訴及反
訴ヲ取下ケタルモノト看做スモノトス

問 反訴トハ如何其之ヲ提出スル場合ヲ舉クヘシ(三十年名古屋地方裁
判所書記試験問題)

答 反訴ハ訴訟ニ對スル獨立ノ訴訟ニシテ被告ヨリ原告ニ對シテ起ス所ノ訴ナリ而シテ
被告ヨリ原告ニ對シテ此訴ヲ起スニハ訴訟ノ進行中ニ於テ同一裁判所ニ於テ同

手續ヲ以テスルヲ要ス故ニ訴カ管轄裁判所ニ於テ權利拘束ト爲リタルトキハ被告ハ原告ニ對シテ其裁判所ニ反訴ヲ起スコトヲ得然レモ財產權上ノ請求ニアラサル請求ニ係ル反訴又ハ目的物ニ付キ專屬管轄ノ規定アル反訴ハ若シ其反訴ガ本訴ナルトキ其裁判所ニ於テ管轄權ヲ有スヘキ場合ニ限り之ヲ爲スコトヲ許ス蓋シ訴訟ノ進行中其如何ナル程度ニアルヲ問ハス反訴ノ提起ヲ許ストキハ爲ニ訴訟ヲ延滞セシムルノ恐レアレハナリ但反訴ニ對シテハ反訴ヲ許サズ其理由ハ反訴ニ對シテ反訴ヲ許ストキハ第二ノ反訴ニ對シテモ亦第三ノ反訴ニ對シテモ亦反訴ヲ許サル可ラサルノ恐アルヲ以テナリ

問 送達ノ種類ヲ舉ゲ之カ種類ノ手續ヲ詳説スヘシ(全上)

答 送達ハ之ヲ大別シテ二種トスルコトヲ得曰ク普通送達曰ク公示送達はナリ
 普通送達ハ之ヲ大別シテ三種トスルコトヲ得曰ク送達吏ニ依ル送達曰ク郵便ニ付スル送達曰ク囑托ニヨル送達はナリ
 送達吏ニ依ル送達トハ執達吏若クハ郵便配達人カ裁判所書記ノ委任ヲ受ケテ送達

ノ執行ヲ爲スヲ云フ面シテ如何ナル場合ニ執達吏又ハ郵便配達ニヨリテ送達ヲ爲スヘキヤハ別ニ明文ナキヲ以テ裁判所書記ノ撰擇ニ委スルモノトス郵便ニ付スル送達トハ假住所ノ届出ヲ爲サ、ル場合ニ於テノミ爲ス送達方法ヲ云フ此送達ハ當事者ノ一方ニ到達シタルト否トヲ問ハス又何時ニ到達スルトヲ問ハス之ヲ郵便ニ付シタル時ヲ以テ之ヲ爲シタル效力ト看做ス囑托ニヨル送達トハ官廳又ハ官吏ニ囑托シテ爲ス送達ヲ云フ其囑托ヲ受ケタル官廳又ハ官吏カ送達スヘキ書類ヲ送達受領者ニ交付シタルトキニ送達ヲ完了シタルモノトス

公示送達トハ送達スヘキ書類ヲ裁判所ノ掲示板ニ貼付シ之ヲ以テ送達ヲ爲シタルト看做スモノニシテ普通方法ヲ以テ爲シ能サルトキニ爲ス送達方法ナリ今其場合ヲ舉クレハ(一)送達ヲ受クヘキ原告若クハ被告ノ現在地ノ知レサル場合(二)外國ニ於テ送達ヲ施行スヘキ場合ニ於テ民事訴訟法第百五十三條ニヨル能ハサル場合(三)民事訴訟法第百五十三條ニ從ヒ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テ其規定ニ從ヒテ送達ヲ爲スモ其效力ナキコトヲ豫知スル場合はナリ

公示送達ハ相手方申立ニ因リテノミ之ヲ爲シ職權ヲ以テ之ヲ爲スコトナシ其手續左ノ如シ

- (一) 受付スヘキ書類ヲ裁判所ノ掲示板ニ貼シテ之ヲ爲ス判決及決定ニ在リテハ其裁判ノ部分ノミヲ貼付スヘシ
- (二) 右ノ外裁判所ハ送達スヘキ書類ノ抄本一個又ハ數個ノ新聞紙ニ一回又ハ數回揭示スヘキヲ命スルコトヲ得其抄本ニハ裁判所當事者並ニ訴訟物及ヒ送達スヘキ書類ノ要旨ヲ掲ヘキモノナリ

同 判決ニ假執行ノ宣言ヲ付スヘキ場合(全上)

答 職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ付スヘキ場合ト債權者ノ申立ニ依ル場合トアリ

- (甲) 職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ付スヘキ場合
 - (一) 認諾ニ基キ敗訴ヲ言渡ス判決
 - (二) 証書訴訟又ハ爲替訴訟ニ於テ言渡ス判決
 - (三) 同一審ニ於テ同一ノ原告若クハ被告ニ對シテ本案ニ付言渡シタル第二又ハ

其後ノ判決

- (四) 假差押又ハ假處分ヲ取消ス判決
- (五) 養料ヲ支拂フ義務ヲ言渡ス判決
- (乙) 債權者ノ申立ニ因リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ場合
 - (一) 急速ヲ要スヘキ性質ヲ有スル事件ニ付テハ
 - (イ) 賃貸人ト賃借人トノ間ニ起リタル訴訟
 - (ロ) 占有ノミニ係ル訴訟
 - (ハ) 雇人ト雇主トノ間ニ起リタル訴訟
 - (ニ) 旅人ト旅店ノ主人若クハ飲食店ノ主人トノ間ニ起リタル訴訟又ハ旅人ト水陸運送人トノ間ニ起リタル訴訟
 - (ホ) 此他財産權上ノ請求ニ關シ訴訟ノ價格二十圓ニ超過セサル訴訟
- (二) 財産權上ノ請求ニ關スル判決ニ限り假執行ヲ許スヘキ場合
- (イ) 債權者ガ執行ノ前ニ保証ヲ立ンコトヲ申立ツル場合

(ロ)債権者カ判決確定前ニ執行セサレハ償ヒ難キ損害又ハ計リ難キ損害ヲ受クヘキコトヲ疏明シタル場合

問 各審ニ於ケル訴訟取下ノ手續及ヒ取下ノ效力如何(三十三年五月高松地方裁判所書記試験問題)

答 第一審ノ訴訟取下ノ手續及ヒ其效力

訴ノ取下トハ訴訟關係ヲ解除シテ起訴ノ效力ヲ拋棄スルノ義ニシテ請求權ノ拋棄ニアラス故ニ訴ヲ取下クルモ再ヒ之ヲ提起スルヲ妨ケス此取下ハ訴訟ノ如何ナル程度ニアルヲ問ハス裁判確定スルカ又ハ裁判所ニ於テ和解ヲ爲サザル間ハ之ヲ爲スコトヲ得又裁判ノ確定前ナレハ上訴審ニテモ取下ヲ爲スコトヲ得今其取下ノ方法ヲ擧グレバ

(一)起訴シタルノミニテ未タ訴狀ヲ送達セサルトキハ書面ヲ以テ裁判所ニ取下ヲ請求スルノミニテ足レリ

(二)本案辯論後ノ取下ナルトキハ被告ノ承諾ヲ要スルカ故ニ妨訴ノ抗辯ノミニ就テ判決ヲ受ケタルトキハ本案ノ辯論ナキヲ以テ原告ノ意思ノミニテ取下クルコトヲ得

(三)一旦闕席判決ヲ受ケタルモ被告ヨリ故障ノ申立ヲ爲シテ闕席前ノ程度ニ復シタルトキモ亦二ノ場合ト同シ

(四)訴狀ヲ被告ニ送達シタル後ニシテ口頭辯論前ナルトキハ取下ノ書面ハ之ヲ被ニ送達スルコトヲ要ス

(五)本案辯論被告ノ承諾ヲ得ルトキハ口頭辯論ニ於テ又ハ書面ヲ以テ取下ヲ爲スコトヲ得

次ニ第一審ニ於ケル取下ノ效力ヲ擧クレハ

(一)權利拘束ニ關スル總テノ效力ヲ消滅セシム

(二)原告ヨリ同一訴訟ヲ再ヒ提起シタルトキハ被告ハ前訴訟費用未済ノ抗辯ナル妨訴ノ抗辯ヲ爲スコトヲ得

(三)取下ケタル訴ノ爲ニ生シタル費用ヲ原告ニ於テ當然負担スヘキモノタリ
第二審ニ於ケル訴ノ取下ノ手續及效力

控訴即チ第二審ニ於ケル訴ノ取下トハ控訴申立權ノ拋棄ナリ故ニ第一審ノ訴ノ取下ノ如ク再ビ控訴スルコトヲ得ス而シテ之ヲ取下クルニハ書面ヲ以テシ口頭辯論ノ際ナルトキハ口頭ヲ以テスルモノトス又口頭辯論ノ前ナレハ控訴人ハ被控訴人ノ承諾ヲ得スシテ取下クルコトヲ得又口頭辯論後ナレハ被控訴人ノ承諾アルニアラサレハ之ヲ取下クルコトヲ得ス

次ニ第二審ニ於ケル取下ノ效力ヲ説明スレハ

- (一) 控訴ノ取下ハ上訴權ヲ失フカ故ニ再ヒ控訴スルコトヲ得ス
 - (二) 附帶控訴ノ效力ヲ消滅セシム
 - (三) 控訴ノ費用ハ控訴人ノ負担ニ歸ス
 - (四) 時效中斷ノ效ヲ失セス
- 第三審即チ上告審ニ於ケル訴ノ取下及ヒ效力ニ關シテハ民事訴訟法第四百三十九條第二項ニ規定セリ即チ上告人カ裁判所ノ呼出期日ニ出頭セザルトキハ法律ハ上告ヲ取下ケタルモノト看做スニ在リトス但出頭セザリシコトヲ期日ヨリ七日ノ期間

内二十分ナル理由ヲ以テ辯解シタルトキハ更ニ期日ヲ定ムルモノトス
問 判決ノ確定ハ何ニ因テ遮斷スルヤ(全上)

答 判決ノ確定ヲ遮斷スルモノハ適法ノ上訴ナリ適法ノ上訴トハ適法ナル控訴又ハ上告ヲ云フ但抗告ハ上訴ノ一種ナリト雖モ判決ニ對スル上訴ノ方法ニアラスシテ裁判所又ハ裁判長ノ決定若クハ命令ニ對シテ不服ヲ申立ツル上訴ノ一方法ナルカ故ニ判決ノ確定ヲ遮斷スル力ナシトス

問 地方裁判所訴訟手續ト區裁判所訴訟手續ノ差如何(三十四年三月茨城縣地方法裁判所書記試驗問題)

答 區裁判所ノ通常訴訟手續ハ區裁判所ノ構成又ハ第一編及ヒ本節ノ規定ニ依リ差異ノ生セサル限リハ地方裁判所ノ訴訟手續ニ付テノ規定ヲ適用スルモノトス今其差異ヲ説明スレハ左ノ如シ

- (一) 地方裁判所ニ在リテハ口頭辯論ト訴狀送達トノ期間ハ二十日ヲ要スルモ區裁判所ニ在リテハ其期間ハ三日トス
- (二) 地方裁判所ニ在リテハ妨訴ノ抗辯ヲ主張セントス被告ハ口頭辯論ト同時ニ爲

スヘキモノナリト雖モ區裁判所ニ在リテハ管轄違ノ抗辯ノ外此規定ヲ適用セズ
 (三) 地方裁判所ノ訴訟手續ニ在リテハ被告ハ抗辯ノ抗辯ニ基キ本案ノ辯論ヲ拒ム
 一ヲ得ルモ區裁判所ノ訴訟手續ニ在リテハ被告ニ此權利ナシ
 (四) 地方裁判所ノ訴訟手續ニ在リテハ準備書面ノ交換ヲ要スルモ區裁判所ニ在リ
 テハ之ヲ要セス

(三)問 假差押ト假處分ノ差異ヲ説明スヘシ(全上)

答 假差押ト假處分ノ差異ヲ問題ハ去ル明治三十二年三月和歌山縣地方裁判所書記試
 驗問題トシテ掲ケラレタルヲ以テ余輩ハ該試驗問題ヲ解説スルノ際既ニ述ヘタル
 カ故ニ茲ニ重複説明スルノ要ナシ

(二)問 書類送達ノ方法ヲ詳記セヨ(卅七年九月安瀧津 裁判所書記試驗)

答 送達ハ書記ノ職權ヲ以テ之ヲ爲サシメ書記ハ執達吏ニ委任スルカ又ハ郵便ニヨルカ
 若シ管轄違ナルルハ其管轄スベキ區裁判所ノ書記ニ囑托スルモノトス送達施行ノ
 方法ハ執達吏ガ爲ス場合ナルト郵便配達人カ爲ス場合ナルト他ノ例外ノ場合ナル
 トヲ問ハズ送達スベキ書類ノ謄本ノ交付ヲ以テ通例トシ明文アル場合ニ限り正本

又ハ認證シタル謄本ノ交付ヲ爲ス正本ヲ交付スベキハ第七三條第一六一條第二三
 八條第四〇八條第四四四條第七八九條ノ場合ニシテ認證シタル謄本ヲ交付ス可キ
 規定ハ第一五〇條ナリ若シ共同訴訟ノ場合ニ數人ノ原告或ハ被告カ一人又ハ數人
 ニ訴訟代理ヲ委任シ又ハ共同訴訟ニアラサルモ原告若クハ被告ガ數人ニ訴訟代理
 ヲ委任シタル時ハ其代理人中ノ一人ニ爲ス可キ送達ハ正本若クハ謄本ノ一通ヲ交
 付スルヲ以テ足ル但シ數人ノ當事者ノ送達ヲ爲ス場合ハ受取人ニ送達ヲ爲シ又ハ
 數人ノ代理人ヲ呼出スベキ場合ハ其員數ニ應スル正本若クハ謄本ヲ交付スルヲ要
 ス普通送達ハ送達ヲ受クヘキ者ノ住所若クハ業務所ニ付キ其送達スベキ書類ヲ本
 人ニ送達スルヲ通例トシ補充送達スルヲ得サル場合ニ於テ(一)同居ノ親族又ハ雇
 人(二)其他ノ市町村長ニ預置送達ノ告知書ヲ作り之ヲ添付ス(三)業務所等ニ在ル
 雇人等ニ送達ヲ爲スヲ得ルモノトス

(二)問 夜間送達ノ有効ナル場合(卅七年十一月福井地方 裁判所書記試驗)

答 夜間送達ヲシテ有効ナラシムルニハ執達吏ノ送達ト郵便配達人ニ依ル送達トニ係ラ
 ス裁判官ノ許可ヲ得タル場合ニ限ル但シ郵便ニ付スル送達ハ此限リニアラズ

三問 公示催告ノ要件及其効力

答 公示催告ニ記載スベキ要件ハ

(一) 中立人ノ表示

(二) 請求又ハ權利ヲ公示催告期日マテニ届出ツ可キコトノ催告

(三) 届出ヲ爲ササルニヨリテ生スル失權ノ表示

(四) 公示催告期日ノ指定

此外證書ノ無効宣告ヲ目的トスル公示催告ニ於テハ

(一) 證書ノ謄本ヲ差シ出シ又ハ證書ノ要旨及證書ヲ十分ニ認知スルニ必要ナル諸件ヲ開示スル

(二) 證書ノ盜難紛失滅失及ヒ公示催告ヲ申立ツル理由タル事實ヲ疏明スル

等ニシテ其催告ニ應セサル時ハ失權ノ宣告ヲ爲スモノニシテ其失權宣告ノ効力ハ如何ナル程度ニ及ブベキヤハ實體法ノ定ムル所トス

刑事訴訟法

問 公訴私訴ノ區別及消滅原因如何(三十二年三月新瀧地方法裁判所書記試驗)

答 公訴トハ國家ニ於テ其秩序ヲ維持センカ爲ニ犯人ノ所罰ヲ要求スル訴ヲ云ヒ之ニ反

シテ私訴トハ一個人ガ犯罪ニ因リテ受ケタル損害ノ回復ヲ要求スル訴ヲ云フ斯ノ如ク公訴ト云ヒ私訴ト云フモ共ニ犯罪ヲ以テ其起因ト爲スモノナレモ一ハ公益ヲ害セラレタルノ點ヨリ起リ一ハ私益ヲ害セラレタルノ點ヨリ起ルモノニシテ既ニ其原因ニ於テ區別アルノミナラス其目的ニ於テモ區別アリ公訴ノ目的ハ犯罪ヲ証明シ刑ヲ犯人ニ適用スルモノニシテ法律ニ定メタル區別ニ從ヒ檢事之ヲ行フニアルモ私訴ノ目的ハ犯罪ニ因リテ生シタル損害ノ賠償、贓物ノ返還ニシテ民法ニ從ヒ被害者ニ屬スルモノナリ其他公訴ハ被害者ノ告訴ヲ待テ起ルモノニアラス又告訴、私訴ノ拋棄ニ因テ消滅スルモノニアラス(但法律ニ於テ特ニ定メタル場合ハ此限ニアラス)之ニ反シテ私訴ハ其性質民事ノ訴ニシテ其金額ノ多寡ニ拘ハラズ公訴ニ付第二審ノ判決アル迄何時ニテモ其公訴ニ附帶シテ之ヲ爲スヲ得ルニ過キサルナリ

次ニ公訴私訴ノ消滅原因ヲ舉クレハ左ノ如シ

(甲) 公訴ノ消滅原因ニ六アリ

- 一 被告人ノ死去
 - 二 告訴ヲ待テ受理スヘキ事件ニ付テハ告訴ノ拋棄
 - 三 確定判決
 - 四 犯罪ノ後頒布シタル法律ニ依リ其刑ノ廢止
 - 五 大赦
 - 六 時効
- (乙)私訴ノ消滅原因ニ三アリ
- 一 拋棄又ハ和解
 - 二 確定判決
 - 三 時効

問 故障ノ期間及其起算點如何(全上)

答 故障申立ノ期間ハ刑事訴訟法第二百二十八條ニ依リ三日間トス此期間ノ起算點ニ二一アリ(一)ハ罰金以下ノ刑ヲ言渡シタル判決及ヒ私訴ノ判決ノ場合ニシテ即チ闕席

判決ノ送達ヲ以テ始マルナリ(二)ハ禁錮ノ刑ヲ言渡シタル判決ノ場合ニシテ即チ被告人自ラ其送達ヲ受ケ又ハ判決執行ニ因リ刑ノ言渡アリタルコトヲ知リタル日ヲ以テ始マルナリ

問 公判ニ於テハ如何ナル場合ニ無罪ヲ言渡シ如何ナル場合ニ免訴ヲ言渡スヘキヤ(全上)

答 (一)公判ニ於テ無罪ヲ言渡スヘキ場合ニ二アリ曰ク犯罪ノ證據十分ナラサルトキ曰ク被告事件トナラサルトキ是ナリ

(二)判決ニ於テ免訴ヲ言渡スヘキ場合ニ四アリ曰ク公訴ノ時効ニ罹リタルトキ曰ク確定判決ヲ經タルトキ曰ク大赦アリタルトキ曰ク法律ニ於テ其罪ヲ全免スルトキ即チ是ナリ

問 告訴告發ノ區別及其取下ニ付テノ效果如何(三十二年二月和歌山地方裁判所書記試驗問題)

答 (一)告訴告發ノ區別 告訴トハ被害者ガ犯罪アルコトヲ相當官廳ニ申告スルヲ云ヒ之ニ反シテ告發トハ被害者以外ノ者即チ第三者ガ犯罪アルコトヲ相當官廳ニ申告スルヲ云フ要スルニ告訴ト云ヒ告發ト云フモ均シク是レ犯罪ノ申告ニシテ申告者ガ被

害者ナルト第三者ナルトノ區別アルニ過キス

(二) 告訴告發取下ニ付テノ效果告訴及ヒ告發ハ之ヲ取下クルコトヲ許セリ之ヲ取下ケタルトキハ所謂刑事上ノ被告人タル名稱ヲ脱シテ常人ト爲ルヘシ但刑事訴訟法第十三條ノ規定ニ依リ被告人タリシモノヨリ要價ノ訴ヲ受クルコトアリトス

問 控訴抗告ノ區別(全上)

答 控訴トハ第一審ノ判決ニ服セス上級裁判所ニ事實及ヒ法律ノ適用ニ付キ覆審ヲ求ムル訴ヲ云ヒ之ニ反シテ抗告トハ裁判所若クハ判事ノ爲シタル決定ニ對スル上訴ノ方法ヲ云フ故ニ控訴モ抗告モ事實及ヒ法律ノ點ニ於テ攻撃ヲ許スモノナレモ唯控訴ハ判決ナルモ之ニ反シテ抗告ハ決定タルノ區別アルニ過キス

問 令狀ノ種類及ヒ其效力如何(三十二年四月大阪地方裁判所書記試驗問題)

答 第一令狀ノ種類左ノ如シ

- (1) 召喚狀
 - (2) 拘引狀
 - (3) 拘留狀
- 第二 令狀ノ效力左ノ如シ

(1) 召喚狀トハ訊問ノ爲ニ被告人ヲ一定ノ日時ニ一定ノ裁判所ニ出頭セシムル命令ニシテ其性質公判ニ於ケル呼出狀ト異ナル所ナシ而シテ被告人カ其日時ニ出頭セサルハ拘引狀ニ依リテ拘引セラルトアリ又召喚狀ニ依リテ出頭シタル被告人ヲ尋問スルニハ即時ニ爲スヘシ又遅クモ出頭ノ日ヲ過クルコトヲ得サルナリ

(2) 拘引狀ハ其性質召喚ト異ナルコトナクシテ訊問ノ目的ヲ以テ裁判所ニ出頭セシムルヲ強制スル命令ナリ唯強制力ヲ用ユル點ガ召喚狀ト異ナルニ過キス之カ效力ハ刑事訴訟法第七十三條ニ依リ四十八時間繼續スヘキモノタリ

(3) 拘留狀ハ被告人ヲ監獄ニ留置スルノ令狀ニシテ拘引狀ニ比スレハ一層其自由ヲ拘束スル者ナリ而シテ此令狀ヲ執行スルトキハ犯罪事實ノ湮滅及被告人ノ逃走ヲ防キ以テ訴訟ヲ完全ニ進行セシムル效力アリトス

問 豫審判事ノ作ルヘキ檢證調書ハ如何ナル事項ヲ記載スヘキヤ(全上)

答 豫審ハ犯罪ニ關スル證據ヲ蒐集スルモノナルカ故ニ豫審判事ハ事實發見ノ爲メ必要ナリトスルトキ犯所又ハ其他ノ場所ニ臨ミテ檢證スル職務ヲ有ス此場合ニ於テ作

成スヘキ調書ヲ檢證調書ト云フ今此調書ニ記載スヘキ事項ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 犯罪ノ性質方法

(二) 犯罪ノ日時場所

(三) 被告人ノ人違ヒナキコトヲ證明スヘキ模様ニ付キ調書ヲ作ル

(四) 被告人ノ利益ト爲ルヘキ模様

問 同一事件ニ付同時ニ又ハ日時ヲ異ニシテ甲乙二個ノ裁判所ニ起訴アリタルトキ其管轄

ハ何レノ裁判所ニ屬スルヤ(三十二年四月長野地方
裁判所書記登用試験)

答 刑事訴訟法第二十七條ニ曰ク數個ノ裁判所ノ管轄ナル場合ニ於テハ其中ニテ最初豫

審又ハ公判ニ於テ着手シタル裁判所ヲ以テ其管轄ナリトス故ニ本問ノ場合ニ於テ

ハ最初豫審又ハ公判ニ着手シタル裁判所カ其管轄裁判所タルヤ明カナリ

問 公判始末書ニ記載スヘキ事項ヲ列擧スヘシ(全上)

答 第一公ニ辨論シタルコト又ハ公開ヲ禁シタルコト及ヒ其事由

第二被告人ノ訊問及ヒ供述

第三證人、鑑定人ノ供述及ヒ宣誓ヲ爲シタルコト若シ宣誓ヲ爲サ、ルトキハ其事由

第四證據物件

第五辨論中異議ノ申立アリタルコト、其申立ニ付キ檢事其他利害關係人ノ意見及ヒ

裁判所ノ裁判

第六辨論ノ順序及ヒ被告人ヲシテ最終ニ供述セシメタルコト

問 證人ト鑑定人トハ其呼出狀ニ記載スヘキ要件差異アリヤ若シアリトセハ之ヲ示スヘシ

(全上)

答 證人ノ呼出狀ニハ刑事訴訟法第一百五條ノ規定ニ依リ其氏名、住所及ヒ職業ヲ記載

シ又出頭ノ時日、場所及ヒ呼出ニ應セサルトキハ罰金ヲ言渡シ且拘引スルコトアル

ヘキ旨ヲ記載セサル可ラス而シテ鑑定人ノ呼出狀ハ右ノ證人呼出狀ニ準スト雖モ

拘引狀ノミヲ發スルコトヲ得サルノ差アリ是レ兩者ノ呼出狀ニ記載スヘキ要件ノ差

異ナリトス

問 官吏公吏職務執行ニ因リ發見シタル犯罪ニ就テハ如何ナル手續ヲ爲スヤ(三十三年四月岐阜
早縣文官普通試験)

（附題）

答 官吏公吏ガ其職務ヲ行フニ因リ犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シタルトキハ刑事訴訟法第五十二條ニ因リ速カニ其職務ヲ行フ地ノ檢事ニ告發セサル可ラス而シテ此告發ハ官吏、公吏ノ署名捺印シタル書面ヲ以テ爲シ成ル可ク證據及ヒ事實參考ト爲ルヘキ事物ヲ添附スヘキモノトス

問 刑事訴訟法第二十八條ニ從犯ハ正犯ノ管轄裁判所之ヲ管轄ストアリ説明セヨ（全上）

答 元來教唆、從犯ノ裁判籍ハ法理上ヨリ云ヘハ其所爲ヲ爲シタル場所ヲ正當トスト雖モ我刑事訴訟法ハ實際ノ必要ヨリシテ從犯ハ正犯ノ管轄裁判所之ヲ管轄ストシテテ正犯、從犯（共犯）ハ併合シテ其裁判ヲ爲スヘキ旨ヲ明ニセリ故ニ其結果トシテ一人若クハ數人ノ教唆從犯ノ犯罪地ノ裁判籍ハ實行正犯ノ所爲ノ管轄裁判所又ハ各教唆ノ所爲ノ管轄裁判所ニアリト云ハサル可ラス而シテ實行正犯ノ所爲ノ裁判籍ハ教唆ノ所爲ノ裁判籍ニ亦在リト云ハサルヲ得ス但皇族ノ場合ハ例外トス

問 令狀ノ種類ヲ舉ゲ其效果ヲ論說スヘシ（三十年名古屋地方裁
判所書記試驗問題）

答 本問ハ三十二年四月大阪地方裁判所書記試驗問題ト同一ニシテ既ニ之カ解説ヲ爲セリ故ニ重複茲ニ説明スルノ要ナシ

問 現行犯罪ノ訴訟手續ヲ論記スヘシ（全上）

答 現行犯トハ現ニ行又ハ現ニ行ヒ終リタル際ニ發覺シタル罪ヲ云フ蓋現行犯ト云ヘル名稱ハ犯罪ノ性質ヨリ生スルモノニアラスシテ發覺ノ狀態ニ付シタル名稱タリ故ニ現行犯トハ現ニ行ヒツ、アル際ニ發覺シタル犯罪ハ勿論其他犯罪ヲ行ヒ終リタル際直ニ發覺シタル事件ハ犯人ノ誰タルコトヲ知ル能ハサル場合ト雖モ現行犯タルヤ明カナリ現行犯ノ性質其レ斯ノ如シ然ルニ刑事訴訟法第五十七條ニ據レハ准現行犯ナルモノアリ即チ左ノ如シ

- (一) 犯人トシテ一人又ハ數人ニ追呼セラルトキ
- (二) 兇器贓物其他ノ物件ヲ携帯シ又ハ身体被服ニ顯著ナル犯罪ノ痕跡アリテ犯人ト思料スヘキトキ
- (三) 家宅内ニ於テ犯シタル罪ヲ檢證スル爲メ又ハ其犯人ト思料ス可キ者ヲ逮捕ス

ル爲メ戸主ヨリ官吏ニ其處分ヲ求メタルトキ
以上ハ我刑事訴訟法ノ認ムル現行犯及準現行犯ノ場合ニシ全ク佛國治罪法ニ倣ヒ
タル者ナリ

現行犯及準現行犯ノ場合ニハ司法警察官、巡查、憲兵卒及ヒ通常人ハ其犯人ヲ命
狀ヲ俟タスシテ逮捕スルヲ得ヘシ而シテ此逮捕ハ重罪又ハ禁錮ノ刑ニ該ル可キ
輕罪ノ現行犯ニ限ルモノニシテ罰金以下ノ刑ニ該ルヘキ犯罪ニ付テハ巡查憲兵卒
ハ被告人ノ氏名住所ヲ問フニ止メ檢事又ハ即決ヲ爲スヘキ官署ニ告發セサル可ラ
ス若シ被告人ノ氏名住所分明ナラス又ハ逃亡ノ恐アル者ナルトキハ檢事又ハ即決
官署ニ引致スルヲ得此場合ニ於ケル引致ハ留置ヲ爲スカ爲ニアラスシテ氏名住
所ヲ確メ且ツ訊問ヲ爲サンカ爲ナリ其他現行犯ニ付テハ急速ノ處分ヲ要スルヲ以
テ豫審判事檢事司法警察官ヲシテ特別ノ處分ヲ爲サシムルヲ得之ヲ現行犯ノ特
別處分トス

問 公訴私訴ノ消滅原因ヲ列舉スベシ(全上)

答 第一公訴ノ消滅原因左ノ如シ

- (一) 被告人ノ死去
- (二) 告訴ヲ待テ受理スヘキ事件ニ付テハ告訴ノ拋棄
- (三) 確定判決
- (四) 犯罪ノ後頒布シタル法律ニ因リ其刑ノ廢止
- (五) 大赦
- (六) 時効

第二私訴ノ消滅原因左ノ如シ

- (一) 拋棄又ハ和解
- (二) 確定判決
- (三) 時効

問 告訴告發ノ差異如何(三十三年五月高松地方裁判所書記官驗問題)

答 本問ノ告訴ト云ヒ告發ト云フモ均シク是レ犯罪ノ申告ニシテ申告者ガ被害者ナルト

第三者ナルトノ差異アルニ過キス即チ告訴トハ被害者ガ犯罪アルコトヲ相當官廳ニ申告スルヲ云ヒ之ニ反シテ告發トハ被害者以外ノ者ガ犯罪アルコトヲ相當官廳ニ申告スルヲ云フモノナリ

問 故障申立期間ノ起算如何(全上)

答 故障申立期間ノ起算點ニニアリ(一)ハ罰金以下ノ刑ヲ言渡シタル判決及ヒ私訴ノ判決ノ場合ニシテ即チ闕席ノ送達ヲ以テ始マルナリ(二)ハ禁錮ノ刑ヲ言渡シタル判決ノ場合ニシテ即チ被告人自ラ其送達ヲ受ケ又ハ判決執行ニ因リ刑ノ言渡アリタルコトヲ知リタル日ヲ以テ始マルナリ

問 告訴ト告發ノ差異ヲ説明スヘシ(三十三年十月横濱地方裁判所書記試験)

答 既ニ解説シタルカ故ニ再説ヲ省ク

問 訴ヲ受ケスシテ裁判ヲ爲シ得ル場合アリヤ(全上)

答 裁判所ノ行爲ハ刑事ノ原告官タル検事ノ起訴即チ主張セラレタル刑罰請求權ニ關スル裁判ヲ爲スヲ以テ目的トス然レモ此原則ニ對シテハ例外アリ即チ現行犯ノ豫審

ノ場合ニシテ此場合ニ於テハ訴ヲ受ケスシテ裁判ヲ爲シ得ベシ詳言スレハ豫審判事ハ検事ヨリ先ニ重罪又ハ地方裁判所ノ管轄ニ屬スル輕罪ノ現行犯アルヲ知リタル場合ニ於テ其事件急速ヲ要スルトキハ検事ノ起訴ヲ待タスト雖モ直ニ其旨ヲ檢事ニ通知シテ豫審ニ取掛ルコトヲ得ルハ勿論其他豫審處分ヲモ爲スコトヲ得ヘシ

問 私訴ハ判決確定ノ成リタル場合ノ外時効ヲ同フスル理由如何(全上)

答 民事ノ時効ハ刑事ノ時効ヨリ長期ナルニ拘ハラス犯罪ニ基ク私訴ノ時効ヲ公訴ノ時効ト同一ナラシメタルハ奇怪ナルカ如シト雖モ其實決シテ然ラス夫レ公訴權時効ニ罹リタルトキハ社會ハ既ニ遺忘シタルモノニシテ國家ハ其犯罪ヲ罰スルヲ得ス然ルニ被害者ハ仍ホ犯罪ヲ原因トシテ私訴ヲ起スコトヲ得ルモノトセハ是レ公訴ノ時効ヲ設ケタル精神ニ反スト云フニ在リ而シテ又公訴ニ付キ有罪ノ確定判決アリタル場合ニ限り民法ノ時効ニ從ハシタル所以ハ被告人既ニ刑ノ言渡ヲ受ケ其判決確定シタルトキハ公訴權ハ消滅スルモ被告人ハ之カ爲ニ犯罪人タルコトヲ確認セラレタルモノナルカ故ニ被害者ハ犯罪ヲ原因トシテ賠償ヲ請求スルモ時効ノ旨趣ト

抵牾スル所ナケレハナリ

問 如何ナル人カ如何ナル場合ニ證言ヲ拒ムコトヲ得ルカ(全上)

答 左ニ記載シタル者ハ證言ヲ拒ムコトヲ得

第一 官吏、公吏又ハ官吏、公吏タリシ者其職務上黙秘スヘキ義務アル事情ニ關スルトキ

第二 醫師、藥商、穩婆、辯護士、辯護人、公證人、神職、僧侶其身分、職業ノ爲メ委託ヲ受ケタルニ因テ知リタル事實ニシテ黙秘スヘキモノニ關スルトキ

以上ノ人カ以上ノ場合ニ於テ證言ヲ拒ムコトヲ得ヘシト雖モ其之ヲ拒ムニハ拒絕ノ原因タル事實ヲ開示シ且之ヲ説明スヘキ義務アリトス

問 公訴ノ時効ヲ設ケタル理由(廿七年九月安濃津裁判所書記試驗)

答 公訴ノ時効ヲ設ケタルハ事實ノ勢力ヲ重ンスル爲ナリ元來國家ノ法律秩序ハ犯罪必罰ノ原則ヲ貫徹スルニ依リテノミ維持セラル、モノト云可ラズ國家現實ノ目的ト投合シ始メテ法律秩序ノ維持ヲ望ムコトヲ得ベシ然ルニ今犯罪ヲ數年ノ後ニ至リテ罰センカ却テ現在ノ秩序ヲ蹂躪シ犯罪人及ヒ世人ニ對シテハ何等ノ効驗アラサルベシ故ニ時効ヲ設ケタルハ實ニ犯罪ヲ必罰スルヲ得サル事實ト法律ノ必要ト相抵觸

スルニ當リ法律ヲシテ事實ニ屈從セシメ以テ其調和ヲ計ルニ外ナラサルナリ

問 保釋ト責付トノ別並ニ保釋責付ヲ取消スベキ場合(廿七年十一月福井地方裁判所書記試驗)

答 保釋トハ拘留中ノ被告人ノ自由ニ對スル制限ヲ拘留以外ノ方法ニ依リ其目的ヲ達シ得ル場合ニ於テ身體上ノ強制ニ換フルニ精神上ノ強制ヲ用ヒ金錢又ハ有價証券ヲ差出サシメ呼出シニ應ゼザレバ之ヲ沒收スル方法ニシテ被告人又ハ法律上代理人ノ請求ヲ俟ツテ裁判所之ヲ言渡ス

責付ハ日本古來ノ制ニシテ五人組又ハ村預ケノ古制度ニ胚胎シ被告人ノ請求ヲ俟ツニ及バズ裁判所職權ヲ以テ之ヲ言渡シ被告人ノ親屬故舊ニ被告人ヲ出頭セシムル義務ヲ負ハシムルモノナリ

保釋ヲ取消スベキ場合ハ左ノ如シ

(一) 被告人豫審終結ノ決定ニ依リテ重罪公判ニ附セララル、時

(二) 被告人呼出ニ應ゼザル時(尙此場合ハ保證金ヲ沒收ス然レモ豫審判事ガ免訴ノ言渡ヲ爲シ又ハ罰金以下ノ輕罪トシテ公判ニ付シタル時ハ沒收シタル保證金ヲ還付ス)

(三) 裁判所ニ於テ必要ト認メタル時

讀書問題及答案

(一)白文訓點(明治二十九年九月 岐阜縣文官普通試驗)

嘗來江戶。一日過街市。適大小神祇組飲於酒樓。望見藤樹相謂曰。彼以聖人得稱者也。聖人其如吾黨何。試唾其面。辱之。有來。遍聲色並厲曰。鈍賊得非世所謂今之聖人而胡沽虛名。以誣罔人耶。戟手向之。藤樹徐陳姓名曰。少長于近江農家。以其小識字見爲里中童蒙師耳。安得若君之言乎。其容貌言吐感動人神祇組不覺節折曰。吾黨過矣。吾黨過矣。願先生宥無禮之罪。從今敬受教於門下。

左ノ字義ヲ解釋スベシ

聲色並厲

トハ聲ヲ勵マシテ怒リタルノガ色ニマデ出デタルヲ謂フ

節折

トハ膝ヲ屈シテ感服スルノ義ナリ

(二)全 上

余數往來攝播間。訪所謂櫻井驛者。得之山崎路一小村耳。過者或不省其爲驛址。盡經足利織豐數氏世故變移。道里驛程。從輒改耳。余於是低回不能去。願望金剛山。巔立雲際。想見公舉義之秋。及其子孫據以扞護王室也。觀公詣行在對天子曰。臣而未死。賊不患不滅。夫以一兵衛尉而居然以天下之重任。豈非感激值遇許身許國哉。故能於赤子障江河。回天日於既墜。何其壯也。

左ノ字義ヲ解釋スベシ

低回

トハマゴトシテ居ツテ思ヒ切テ去ルヲ能ハサルノ義ナリ

值遇 トハ非常ニモテナシノ厚キヲ即チ厚遇ト同シ意ナリ

白文訓點及義解(明治三十年十二月 香川縣文官普通試驗)

〔一〕帝益明習國家事。朝而問右丞相勃曰。天下一歲獄幾何。勃謝不知。又問一歲錢穀出入幾何。勃又謝不知。惶愧汗出沾背。上問左丞相平。平曰。有主者。即問決獄責廷尉。問錢穀責治粟內史。上曰。君所主者何事。平許曰。陛下使待罪宰相宰相者。上佐天子理陰陽順四時。下遂萬物之宜。外鎮撫四夷。內親附百姓。使卿大夫各得其職。焉帝稱善。

孝文皇帝ハ益々國事ニ明察遊ハサレ朝廷ニ於テ右丞相ノ官職ヲ有スル周勃ニ御下問スルニ一年間ノ囚人ハ幾人アルカヲ以テセラル周勃存セサル旨ヲ謝ス又孝文皇帝ハ一年間ノ歲出ト歲入ハ幾何アルカト御下問セラル周勃又知ラサル旨ヲ謝ス周勃ハ恐レアワテ且愧デ身体中汗ヲ流シタリサレバ皇帝ハ左丞相ノ官職ヲ有スル陳平ニ御下問スルニ前ノ通りヲ以テス

平ガ答フニハ此事ニ付キテハ主務ノ吏アリ即チ決獄ノ事ハ廷尉ニ金錢米穀順ハ治ノ粟內史ニ責問遊ハサルハナラバ明カナリト奏上ス帝曰ク平ノ主務ハ如何ト平ガ答フルニハ陛下ニハ宰相ヲシテ罪ヲ得セシメラル宰相ノ主務ハ右ノ俗吏ヨリモ其實務重大ナルカ故ニ上ハ天子ヲ補弼シ陰陽ヲ理シ四時ヲ順ニシ下ハ諸般ノ事物ニ至ル迄其宜キヲ遂ケ外ハ四方ニ群ガル夷等ヲ平ラゲ内ハ我國ノ人民ヲ親附シ郷太夫ヲシテ各其職務ヲ適當ニ執ラシムル監督ノ職務ヲ有スル者ナリト奏上スルヤ帝之ヲ聞テ安堵ス

〔二〕先臣正成嘗以微力挫強賊以安先帝宸憂及天下再乱逆賊四襲遂致命於湊川臣時年十一命歸河内囑以収合餘燼報復國讐臣年已壯矣而稟性羸弱常念不及今力戰以有待之身罹無慮之疾上爲不忠之臣下爲不孝之子而今賊渠師大舉來犯是臣致命之秋也

臣正行ガ父正成嘗テ微々タル力ヲ以テ國賊タル足利尊氏ヲ挫キ以テ先ノ帝即チ後醍醐

天皇ノ宸憂ヲ安シ奉リヌ國內再ビ亂レテ惡逆無道ノ賊徒ガ四方ヨリ襲ヒ來リタルヲ以テ遂ニ湊川ニ於テ戰ヒニ敗ケテ死シタリ臣ハ當時マダ十一歳ナリキ河内ニ歸ルコトヲ命シ囑スルニ生キ残り居ル所ノ忠義ノ武士等ヲ呼ビ集メ國家ノ警ヲ返シ亂臣賊子ノ徒ヲ討チ平ゲンコトヲ以テセリ臣今年巳ニ丁年以上ト爲リタルモ不幸ニシテ身体ガ虛弱デアルカ何時死スルヤモ測リ知ルヘカラス常ニ念フノニ今ノ血氣壯ンノ時ニ力戰セザレバ國ノ警ヲ報スヘキ身ニテアリナカラ思ヒ懸ケ無キ疾病ニ罹リテ死ストキハ國家ニ對シ奉リテ不忠ノ臣ト爲リ臣ガ亡父ニ對シテハ不孝ノ子トナラン而シテ今ヤ逆賊ノ首將大軍ヲ率ヒテ來リ犯セリ今コソ臣ガ命ヲ捧ゲテ戰フニハ再ビ得ガ難キ時機ナリ

白文訓點(明治三十二年三月 長野縣文官普通試驗)

書曰明德慎罰惟刑恤哉禮云爲上易事爲下易知則刑不煩矣上人疑則百姓惑下難知則君長勞矣夫上易事則下易知君長不勞百姓不惑故君有一德臣無二心上播忠厚之誠

下塌股肱之力然後大平之基不墜康哉之詠斯起當今道被華戎功高宇宙無思不服無遠不臻然言尙簡文志在於明察刑賞之用有未盡夫刑賞之本在乎勸善而懲惡帝王所以與天下爲畫一不以貴賤親疎而輕重者也

白文訓點及釋義(三十一年三月靜岡縣文官普通試驗)

彼北條氏雖失於政其權力有更甚焉藉累世之威而加積弱之餘百萬虎狼隨其指呼魚咻中國莫之或櫻天下方以承久爲戒重踵屏息莫敢言勤王之事而楠公獨以眇々之軀唱義其間當其衝路挫其爪牙以鼓舞四方義士之氣使之一時踵起殄戮元惡於斧鉞之下報列聖之深仇雪累朝之大耻天下萬民再得仰日月之光雖曰屬皇運之泰而非公爲之唱焉能

至此。是焉知非天生斯人以匡濟世道哉。

彼ノ北條氏ハ政權ヲ失ヒタリトテ其權勢威力ハ義時ノ時ヨリモ更ニ甚タシキ所アリ累世即チ時政以來代々ノ威光ヲ藉リテ而シテ非常ニ弱リ切ツテ居ル殘餘ノ朝廷ニ對シテ兵ヲ出ス虎ヤ狼ノ如キ百萬ノ賊徒ハ皆ナ北條氏ノ指揮ノ下ニ隨ヒ全國ヲ一丸ト爲シ大ニ軍勢ヲ張レバ朝廷之ニ恐レ敢テ師ヲ出サザラン天下ノ人々ハ承久年間ノ事變ヲ以テ何ヨリノ戒メト爲シ腫ヲ重子息ヲ屏シ敢テ皇室ノ御事ニ勤ムルモノナシ而シテ獨リ正成ノミハ眇々ノ軀ヲ持チナカラ少シモ怖レズ逆賊輩ヲ討チ平ケントテ義ヲ唱ヘ其衝路ニ當リ北條氏ノ爪ト爲リ牙トナルヘキ武士ヲ挫キ天下ノ義士ヲ以テ任シテ居ルモノ氣ヲ勵マシ之等ノ者ヲシテ一時ニ腫テ起ラシメ惡逆無道ノ高時ヲ斧鉞ノ下ニ誅戮セリ代々ノ天皇ノ深仇ヲ報シ奉リ代々ノ皇室ノ大耻ヲ雪キ天下万民ヲシテ再ヒ月日ノ光ヲ仰クヲ得セシメシハ固ヨリ皇運ノ挽回セシニ因ルト雖正成ガ之ヲ唱ヘナケレハ到底斯ノ如キノ大功ヲ見ルニ至ランヤ是レソ天ヨリ斯ル偉人ヲ誕生セシメ世道人心ノ腐敗ヲ救フタノデアアル

白文訓點及義解

(明治三十一年五月 巖手縣文官普通試驗)

景雲之元。釋奠大學。其二年。旌表孝子貞婦。其三年。百官朝。道鏡於西宮。噫。釋奠之禮。何禮乎。旌表之典。何典乎。而眞備則以爲道行矣乎。故講禮講學儼然稱士大夫。而無氣節焉。則其無益於國也如此。夫以赫々天朝。祖宗百世之天下。而欲傳之一比丘。誰不知其不可。而莫敢言者。何哉。曰。悞。禍也。當此時。有一人焉。言之。是損其一身。以存祖宗之天下也。清麻呂是已。故曰。士之氣節。關係天下國家。有天下國家者。不可不養。此以爲倚賴也。及光仁天皇之即位。首召還清麻呂。復其本官。是矜式士大夫。定天下之所向也。嗚呼。可謂知所務矣。天下可百年無如諸兄眞備者。不可一日無如清麻呂者。

景雲ト云ヘル年號ノ始メ宇多天皇大學ニ幸シ孔子ヲ祀ルノ禮ヲ行ヒ玉フ景雲二年ニ世ノ孝子ト稱セラレ貞女ト認メラル、者ヲ旌表ス其三年（景雲三年）ニ多クノ官吏カ作道ノ鏡ヲ西宮ニ朝參ス噫孔子ヲ祀ルノ禮ハ何ノ必要アリテ行ハチバナラヌカ旌表ノ典ハ何ノ典デアルカ實ニ要領ヲ得ズ然ルニ眞備ハ道行ハレタリトセリ故ニ勝手氣儘ノ禮學等ヲ講シ如何ニモイカメカシクモ士大夫ト稱シヌ而シテ少シモ人間ノ尊フベキ氣節ガナイ取リモ直サズ國ニ益ナキモノナリ夫レ光リ輝ク所ノ我 皇室ハ万世一系ノ皇統ヲ以テスヘキモノナルニ之ヲ一比丘ノ道鏡ニ傳ヘントス誰レデモ其不可ナルヲ知ラサルノ理アラシヤ然ルニ何人モ此事ヲ論スルモノナキハ何ソ實ニ慨嘆ノ至リナラスヤ而シテ此事ヲ論スルモノナキハ皆ナ禍ヲ悞ル、カラノヲデアアル斯ノ如ク世ガ腐敗シタル時ニ當テ獨リ毅然トシテ言フ者アリ是其一身ヲ顧ミス一家ヲ捨テ以テ万世一系ノ皇室ヲ存シタル所以ニシテ天下ノ大忠臣清麻呂一人デアアル故ニ士ノ氣節ナルモノハ天下國家ノ生存發達ノ上ニ於テ大ナル關係ヲ有スル者ナリ天下國家ノ法政ヲ經綸スル者ハ此ノ嘉スヘキ氣節ヲ養ヒ以テ倚頼ト爲スノ要アリ光仁天皇御即位遊ハサル、ニ及ンデ劈頭

第一ニ此大忠臣タル清麻呂ヲ召還シテ本官ヲ復セラル是レ實ニ士大夫ノ模範トスル所ニシテ天下人心ノ歸服スル所ヲ定メラル、ノデアアル嗚呼務ムル所ヲ知ラサルモノト謂フベシ後世幾千代ノ久シキ迄諸兄眞備ノ如キモノ在リテハナラヌ帝國ノ臣民タルモノハ片時タリトモ清麻呂ノ如キ清廉潔白ノ士氣ト身命ヲ國家ノ犠牲ニ供スルノ忠節トヲ持タチバナラヌヲデアアル

白文訓點 （三十一年七月茨城縣
文官普通試驗問題）

「一」家有父母而辭之遠遊。勉強毎日清晨遙拜畢。輒復思今日光陰實爲可愛日而費諸遊學。關定省曠思清。使父母懷遠望。憂爲天地間一罪人矣。然今日所學業乃重大事件。有勝於定省者。故競寸陰以其業。然後歸奉感。僅是贖其罪矣。反覆思之。而後速就其業。至於夜間又把終日所學之業。一々點檢考其重大。果有勝於定省温清者。否心神已安。而後敢

就寢。是此則遊學中第一緊要之事矣。若一日沒了這念則不孝之罪竟不得免焉。

二夫勇悍趨捷。重耻輕死。我國俗所自有。我先王又養之以恩。結之以信。所以撫摩鍊治之。經數百千年。闔國之民。親其上。死其長。如手足之扞頭目。以能震懼四隣。雖魏唐之強大。不能加焉者。恃此俗也。及至通唐氏。乃舍此學。彼劉撲。爲文。鏗強爲弱。平時奔競。有急遁逃。幾乎舉朝皆婦人矣。而先王遺民。勇而輕死者。皆爲將門所收。以此奪王權。營私利。無所爲而不成。承久建武之事。輒皆爲然。故先王所以自衛。後王所以自累。均此兵也。顧用捨如何耳。

白文訓點(明治三十二年三月
長野縣文官普通試驗)

〔文中人名ハ右肩ニ一ノ縱線國名ハ左肩ニ二條ノ縱線ヲ以テ其區別ヲ明ニスヘシ〕

〔一〕先帝創業未半。而中道崩殂。今天下三分。益州罷弊。此誠危急存亡之秋也。然侍衛之臣不懈於內。忠志之士忘身於外者。蓋追先帝之殊遇。欲報之於陛下也。誠宜開張聖聽。以光先帝遺德。恢弘志士之氣。不宜妄菲薄。引喻失義。以塞忠諫之路也。

〔二〕建武四年。各愧囂使馬援奉書洛陽。援至引見。宜宜德嚴世祖。迎笑謂曰。遨遊二帝間。今見卿使人。大慙。援頓首謝。評因曰。當今之世。非獨君擇臣也。臣亦擇君矣。臣與公孫述。四縣少相善。臣前至。愕述佯載。而後進。臣今遠來。陛下何知非刺客。姦人。顧說客耳。援曰。天下反覆盜名字者。不可勝數。今

見陛下恢廓大度同符高祖乃知帝王自有真也帝壯之

讀 書 (明治三十二年四月 福井縣文官普通試驗)

(一) 山陽人トナリ癯瘦ニシテ體高ク肩蹙マリ眼光爛々トシテ之ヲ望ムニ凜トシテ犯スヘカラサルノ威アリ性又峻峭ニシテ尋常ノ人ヲ包容スルコト能ハス常ニ身平日久シク士氣ノ振ハサルヲ慨ク故ニ氣節ヲ以テ自ラ持シ亦以テ人ヲ導キ未タ嘗テ己ヲ屈シテ人ニ隨ヒ浮沈シテ容レラレンコトヲ求メサリキ

(右ノ全文ヲ解釋セヨ)

賴三陽ノ人物ハ身体ガ極ク瘠セテ頰骨ガ高ク肩ガ蹙マリ居リ兩眼ハ光リ輝テ之ヲ望ムニケダカクシテ威嚴ガアツテ犯スヘカラサル所アリ性質又ケワシクテ普通ノ人間ヲ容ル、ト能ハス平素徳川氏ノ天下ガ波ナクシテ治マリ居リ士氣ノ振ザルヲ慨嘆セリソレ故ニ士氣節操ト云フヲ以テ自ラ持シタルノミナラス進ンデ亦世人ヲ導キタリコウエウ風デアアルカラ未ダ一度モ持論ヲ曲ゲテ人ニ隨ヒ浮沈シテ容レラレンコトヲ求ムル様ニ卑屈心ハ持タナシダノデアアル

(二) 左ノ語ニ讀方及解釋ヲ與ヘヨ(全上)

服膺ス トハ乙者ガ真心ヲ以テ甲者ニ服從シテ背反セサルコトヲ云フ

土地豊饒 トハ肥ヘテ居ル土地ニシテ即チ五穀ヲ獲得スルコトヲ得ル土地ノ義ナリ

自暴自棄 トハ自分デ自分ヲ棄テ、少シモ顧ミザルノモノ即チ俗語ニ所謂やけど同ジ

意味ナリ

聚斂ノ臣 トハ國家カ賦課徴收スル租税ヲ竊カニ私シスルノ臣ヲ云フ

秩序 トハ順序タマシクスルコトノ義ナリ

鰥寡孤獨 鰥寡トト配偶者ノ一方ガ無キモノ

例ヘバ男ナレバ妻ナク女ナレバ夫ナキモノヲ云ヒ孤獨トハ父母ナキ子即チ俗ニ

所謂みなしこノ如キヲ云フ

(三) 裁判官ヲシテ公平廉潔ナラシメ權威ヲ懼レス律法ヲ枉ケサラシメン爲メ之ヲ終身官トナシ己レノ匪行アルニ非ラサレハ退職ヲ命スルコトナシ此ノ如クナルトキハ裁判官ハ只法律ヲ恪守シ特立特行シテ司法ノ大任ヲ盡クスコトヲ得ルナリ

(右抹符ヲ施セル語ヲ解釋セヨ)

公平廉潔 トハ貧富貴賤ヲ問ハズ何人ニ對シテモ私シナク清キ心ト潔キヨキ精神トヲ

有スルヲ云フ

法律ヲ枉ケ トハ法律ヲ曲ケテ解釋シテ用井サルノ義ナリ

匪行 トハ正畧ナラサル行ヒヲ云フ

法律ヲ恪守シトハ法律ヲ嚴正ニ守リ少シモ私ナキノ義ナリ

特行特立シテトハ人ニ服從シタリ又ハ人ニ左右セラレサルノ義ニシテ獨立獨行ト同意

味ナリ

白文訓點及釋義 (明治三十二年六月 大藏省文官普通試驗)

公嘗欲官一士問之於土井利勝。利勝曰：彼不常來臣家。臣未知其如何。公弗懌曰：汝宰我家務，在訪人材。材者豈肯附權勢哉。如汝所言，知耻好義者。將日趨柔媚，知耻好義者，國家之元

氣也。元氣消亡，國家衰老。其能久乎。昔酒井正親以神谷某不禮己也。謂我曰：彼真可用者，因請倍其俸。正親爲公忘私獎勵士氣。汝輩何不類焉。

徳川家康ガ嘗テ一人ノ士ヲ官ニ用井ント欲シ之ヲ土井利勝ニ問フ利勝ガ云フニハ彼レ平素臣ガ家ニ來ラサルヲ以テ其性質ヤ品行等ヲ知ラズト家康懌バズシテ曰ク汝ハ我家ヲ宰配シ汝ノ職務ハ世ノ所謂人材アリテ用ユルニ足ルベキモノハ總テ訪ヒ其人物ノ如何ヲ知ルニ在リ材アル者ハ獨立獨行スルヲ得ルヲ以テ豈敢テ權勢家ニアルモノナランヤ汝利勝ノ云フガ如クナレバ耻ヲ知リ義ヲ好ム者モ將ニ柔弱ニ流レ妄リニ權勢家ニ媚付スルニ至ラン耻ヲ知リ義ヲ好ム者ハ國家ノ元氣ナリ元氣ガ消亡スレバ國家老衰シテ久シク保ツヲ得ンヤ昔シ酒井正親アリ正親ガ臣ニ神谷某ト云フ者アリテ己レニ禮セサルヲ以テ公ニ謂テ曰ク彼レ真ニ用ユヘキモノナリト因テ神谷ノ俸ヲ倍ニシタリ正親ノ如キハ公事ノ爲ニハ私事ヲ忘レテ士氣ヲ鼓舞獎勵セリ汝輩ハ何故ニ之ノ善事ヲ等閑ニ附シテ傲ハザルヤ

白文句讀及訓點(三十三年二月大分縣
文官普通試驗)

猿之演劇也衣冠焉而為士大夫裙帶焉而為婦女且立且坐且周旋且進退舉古忠臣烈婦之狀一々依倣視之儼然人也而或擲一菓子其前則翻然自失故態頓發側衣冠曳裙帶匍匐往食之雖觀者嗤笑弗自知也嗚呼猿自飾而為人見菓而為猿唯一菓而人猿判焉然今學君子于聲音美貌而其節變干斗升之利者是亦斗升而君子小人判焉與猿何異

白文訓點及○印ノ所講義(三十三年四月岐阜縣
文官普通試驗漢文ノ分)

皇祖皇宗繼天建極教人化民莫一不出於至誠是以民皆純一正直父子之親篤而君臣之義明矣自六經傳我仁義道德之說益明愈廣雖世運隆替學科迭興而至教之要則莫復加

焉夫本道德而達於智識始於彝倫而及於事業教學之要也故道之以仁義教之以忠孝使天下之民志一定於茲則其智之所進其才之所成發於言辭顯於行實施為事業者莫出於仁義忠孝也

六經トハ支那ノ六ツノ經書ナリ六ツノ經書トハ曰ク易經曰ク書經曰ク詩經曰ク春秋曰ク禮記曰ク樂經是ナリ我邦ノ仁義徳ノ說ハ此ノ六經ヨリ傳ハツテ益明ラカト爲ツテダントト世ノ中ニ廣マリヌ世ガ隆カンニナツタリスタツタリシタケレモ學問ノ科目ハ迭ニ勃興シタソ一シテ最上ノ教ノ要ハ眞理タルカ故ニ復タ加ハル様ナトモナカツタノデアアル夫レ道德ヲ基礎ト爲シテ智識ヲ達シ人倫ノ道ヲ根本トシテ事ニ及ブノハ教ノ學問ノ肝要トスル所ナリ

白文訓點及釋義(卅八年六月大分縣
務署文官普通試驗)

秀吉之在關東也。遊於鎌倉觀源賴朝塑像。進撫其背曰。若我友也。徒手取天下。唯有吾與。若而已。然若承籍名族。不如吾起人奴也。吾欲遂略地至明。若以為如何。

秀吉北條氏ヲ討チテ關東ニ來リ鎌倉ニ遊シテ賴朝ノ木デ塑シタ肖像ヲ見テソノ側ニ倚リ其ノ背ノ撫テ賴朝ニ面シテ言フ如ク言フノニ「汝ハ我ガ友デアアル空手デ天下ヲ征伏シ大權ヲ掌握シタルハ日本アリテ以來汝ト吾バカリデアアル而シ汝ハ名族ニ生レタカラ事成シ易スカリシガ吾ハ名モナキ者ノ子デ人ノ奴僕カラ起ツタノダカラ汝ハ我ニハ及ブマイ我ハ一層土地ヲ取り遂ニハ明國ニ攻メ行キ明ヲ取ラント思フテ居ルガ汝ハトフ思フカ余ノ成功ヲ賞スルノデアロウ

往時平安故老有及親元龜間事言其時宮闕墜廢群兒入垣中搏土爲戲及織田公來始有可觀云夫應仁以還海內分

裂輦轂之下。每爲兵馬馳逐之場。非右府誰能闢除草萊。以再造王室哉。

昔京都ノ老人ノ雜話中元龜年間事ヲ記シタノヲ觀ルニ其頃ノ宮城禁裏ハ毀レ壞レテ大勢ノ兒供等ガ其類レタ垣ヲ越エテ其ノ中デ土ヲ圖クシ搏テ遊戲ヲシテ居タガ織田公ガ京都ニ入り來リテ普請ヲシテラハ立流ニナツタトノヲデス。京都ハ後土御門帝ノ應仁年間山名氏ト細川氏ガ市中戰ヲシテカラ宮闕モ兵火ニ罹リ荒レ果テ日本全國ハ山名ト細川ノ兩派ニ分レ其ノ以後ハ英雄四方ニ割據シテ戰ノ起ル度毎ニ都下ハ戰場トナツタノダダカラ織田氏デナケレバ迎モ此乱世ヲ平定シテ宮城ヲ改造シ尊王ヲ稱スルヲ出ルカ出ルカナカッタデアラウ

國文 (全上〇國語ノ分)

(一)冬枯の野へのけしきやみならましかはくちをしからましと思ふにも入かた近くかすか

なる光のいとあかぬこゝちするに空さへ俄に曇りて山端ならで月もかくれいみじう暗くなりて風荒しく吹きぬるはげに此頃の空のけしきかなを見るにはしたなくうちしぐれ來ぬれば足をうらに走り歸る

以上ヲ解釋スベシ

解 釋

○冬枯の野邊のけしき 冬になりて草も木も枯れはて見處なき野の景色なり古歌に「山里は冬ぞさみしさささりけるひとめも草もかれぬと思へば」などあり○やみならましかはくちをしからまし もしも暗にてあるならばいかばかり残念であらうにといふことなりましかば といへば大抵下にまし といふなりこればましましとましましとと活く助動詞にてしかくであるならばしがくであらうといふ場合に用ゐるなり○入かたちかくかすかなる光りの 月の西に入るに近き時うすく力なき光りなり○いとあかぬこゝちするに 甚だ不十分な心地せらるとなり○空さへ俄にくもりて 空模様まで急にくもりてなり さへはものゝある上にうへる意なり○いみじう甚だなり○はしたなくしぐれさ

ぬれば 思はぬに時雨のふりくることなり○足どららに 急ぎ足にて飛ぶが如くなる形容なり

大意 冬になりて草も木もなき野はもし暗黒なる夜ならば残念至極ならんと思へるにてる月は西に入る時に近きにうすき光りは氣に入らずいますこし明かなればよきにと思へるに空まで俄に曇りて世俗に月は西の山の端にかくるといへど山の端まで月は行かぬに雲にかくる非常に暗くなりて風は烈しく吹きくるはなるほどこの時節の空模様であるよとながめて居れば思ひもかけぬに時雨もばらくとふり來ればかくてはかなはじと足を早めて歸るとなり

(二)白川院淀に御方違の行幸ありけるに五月ばかりの事にやありけむ女房殿上人の舟あせた有りけるに曉になるほどに向ふ方に郭公一聲ほのかに鳴きて過ぐ

以上ヲ解釋スヘシ

解 釋

○白河院 一千七百三十三年に位につかれし白河天皇のことなりこゝにては上皇となられ

し故に院といふ〇澗、山城の淀なり〇御方違 方違へとは世俗にいふ方位のことにて天
一神などに向へる時は悪しき事なりと忌みてうの神に向はぬ方に住居をかふるなり〇五
月ばかり 五月時分なりばかりはほどもしくはたけといふにあたり〇ありけんあつた
でもあらうかといふことなり〇女房女官のことなり昔は男房女房などいへりくはしきは
女房官品にあり〇殿上人五位以上は殿上にのぼるなりされど三位以上を上達部といふさ
れば殿上人とは四位及び五位なり一に雲客といふ〇あまた多くなり〇曉、夜のあけがた
なり〇はのかに俗にいふばんやりといふことし遠くしてよくきこぬなどの形容な
り

大意 白河上皇が淀といふ地に御方違にいであられしに時節もちやうど五月頃の時分でも
あつたものか女官方や御殿に上らる高貴の人の舟が多くあつたに夜のあけがたにはるか
向ふの方にてはゝぎすは一響なきてとびゆきしとなり

全

上

(宮城縣ニ於ケル三十四年一月施行)
ノ文官普通試験問題〇讀書ノ分

(二)左ノ文章中一符ヲ付ケタル漢字ニ假名ヲ附シ讀方ト意義トヲ示シ且「かくても」以下

ヲ平易ナル語ヲ以テ解釋セヨ

神無月の頃、粟栖野といふ所を過ぎて。ある山里に尋ね入る事ありしに、遙なる苔の
細道を踏み分けて心細く住みなしたる庵あり木の葉にうづもるべき懸樋の雫ならで
は、露、音なふものなし。関伽棚に、菊、紅葉なぞ折り散らしたる。さすがに、住む
人のあればなるべし。かくても、あられけるよと、裏に見る程に、かなたの庭に大き
なる柑子の木の枝もたわゝになりたるか、まはりをさびしく圍ひたりしころ、少して
とさめて、この木ならましかばとおぼるしか。

答 神無月 トハ神ナカリヅキノ義ナリ

〇懸樋の雫

篋のしづくにて他より竹の中などを通じて水をとりたるをかけひといふうのかけひよ
り細くおつる雫なり

関伽棚

あかの具、花皿なぞこしらふる棚なりあかは水の梵語なり羅句語にてもわか (Aqua)

といふ漢語には鬱勃蒸_ニ蒸雜香_一以_ニ其汁_一供_ニ養佛_一也

かくても以上の解釋

○かくてもこのやうなさびしきすまゐにてもとなり ○あられけるよ居ることよとなり
り草菴集にとしをへてあれ行く宿の板びさしかくても世にはあられけるなりとなり○
あはれに 何となく物さびしく心細くなり○かなたの庭向ふの方の庭なり ○枝もた
わゝに 枝の撓むほどなり ○まはり柑子の樹の周圍なり ○ことざめて 興がさめ
しなり奥床しき住居よと思ひしもかゝるゝ菓實のある樹あるを見てあさましくなりし
なり○なからましかは なきならばなりなきならばよきにといふ意なり

●大意 かく閑靜なるすまゐにてもせらるゝかさて奥床しと思えるにはるか向ふの方に大
なる柑子の木の枝も撓むほどなりたるがありてその周圍を大切にさびしくかこひたるを
見たりうれゆゑすこしこのすまゐもかゝる菓實とさきものを大切にするかさてはすめる
人もあまゝり高尚なる人ならじと見おとりせられてさてくこの柑子の樹がなきならばよ

は、風雅なすまゐなるにと思ひしなり

(二)左ノ文章ニ誤アラバ正セ

- イ、恩を受けて報へさるものは人にあらずと存候
- ロ、曲者を手捕になせしは勇猛どころいふべかりける
- ハ、もし醫藥の効あれば多分は助かるべし
- ニ、支那兵百名許は今度の戦にて虜にせり

右ノ誤リ左ノ如シ

- イ、恩を受けて報はさるものは人にあらずと存候
- ロ、曲者を手捕にせしは猛勇といふべけれ
- ハ、もし醫藥の効あらば多分助かるならん
- ニ、今度の戦にて支那兵百名許を虜にせり

(三)左ノ語ニ假名ヲツケテ讀方ヲ示シ且ツ其意義ヲ解釋セヨ

總攪、因襲、僂僂、顰蹙、卓犖、籌畫、行脚、從容、回祿

答

總攪 トハ全體ヲカキマゼルコトヲ云フ
 因襲 トハモトカラオソヒ來ツタコトヲ云フ
 僂僂 トハクル、ノ義ナリ萬葉集ヨリ出ツ
 鑿鑿 トハチママルノ義ナリ
 卓犖 トハスグレテ居ルノ意味ナリ
 籌畫 トハハカリゴトノ義ニシテ謀計ト殆ンド同ジ
 行脚 トハ諸國ヲ巡リアルク僧ヲ云フ
 從容 トハスマシキツテ居ルコトヲ云フ
 回祿 トハ支那ノ火ノ神ノ名ヲ指シタルモノニシテ場合ニヨリテハ火事ニテ燒ケタル
 意味ニ用井ルコトモアリ

(四)左ノ文章ニ訓點ヲ附シ且假名ヲツケテ讀方ヲ示セ

伯樂一過冀北之野而馬群遂空夫冀北馬多於天下伯樂雖善知馬安能空其
 群邪解之者曰吾所謂空非無馬也無良馬也伯樂知馬遇其良輒取之群無留

良焉苟無良雖謂無馬不爲虛語矣

馬ヲ相スル人ガ一度冀北ノ野原ヲ過クルトキハ群ヲテ居ル馬ガトウノムナシクナ
 ル夫レ冀北ノ馬ハ天下デ多ク居ルト云フコトアル如何ニ伯樂ガ善ク馬ヲ知ルトイエド
 モドウシテヨク其群ガツテ居ル多クノ馬ヲ空シウスルコトガ出來得ルモノテナシ之ヲ解
 釋スル者ノ云フニハ吾人カ謂フ所ノ空シウスルトハ馬ヲ一ツモナクスルノテハナク惡
 シキ馬ハ探ラズシテ良キ馬ノミ探ルカラ良キ馬ガ無クナルノテアル馬ヲ相スル人ハ馬
 ノ良否ヲ知ル故ニ良キ馬ニ遇ヘバスグニ之ヲ取り群馬ノ中ノ良馬ヲ見ノガスコトナシ
 サレバ良馬ガ無ケレハ馬ナシト云フテモウソノ言葉ト爲ランノデアアル

作文問題及答案

○招魂祭ヲ觀ルノ記(二十九年九月岐阜縣 文官普通試驗問題)

東都九段坂上ニ一大神祠アリ名ケテ招魂社ト云フ今年今月某日茲ニ祭奠ノ禮ヲ舉行ス余知
 友ヲ誘フテ之ニ赴ク此日天氣清明ニシテ風塵起ラス戰死忠魂ヲ慰ムルノ國旗ハ戸々ニ翻リ

貴トナク賤トナク男トナク女トナク老トナク幼トナク行ク處ニ滿チ其雜沓實ニ名狀スヘカ
 ラス既ニシテ社前ニ至レハ我海陸軍ノ奏樂ハ唳々トシテ起リ神祇愼嚴典ヲ掌リ勅使到リテ
 幣ヲ奉シ續テ文武百官ノ參拜アリテ其祭奠ノ盛大ニシテ愼嚴ナル感極ツテ五体割クルカ如
 ク數行ノ涙ハ潸々トシテ兩眼ニ溢レ益國恩ノ優渥ナルヲ知リ再ヒ仰キ見ル能ハサラシム夫
 レ國家カ内ニ臣賊子ヲ平定シ外ハ弱肉強食ノ場裡ニ立チテ能ク獨立ヲ維持シ以テ國光ヲ
 輝ス所以ノモノ蓋シ國難殉死者忠節ノ功ニ歸スルナリ是ニ於テ乎慈愛ノ涙ニ富ム我國家ハ
 家ヲ捨テ身ヲ擲毛ノ輕ニ比シ國難ニ殉シタルモノ、功ヲ嘉シ之ニ酬ヒンガ爲ニ國祭ヲ以テ
 盛大ナル奠ヲ舉行スル所以ナリ嗚呼昨ハ忠奮ノ戰鬪者タリシ者モ今ヤ朝露ノ如ク消ヘ去リ
 呼ヘトモ答エズ泣ケトモ聞ヘス然リト雖モ既ニ忠君報國ノ志誠ヲ盡シ國民タルノ本分ヲ完
 ウシ以テ後世ヲシテ感泣措ク能ハサラシムルニ於テ毫モ遺憾ナシト謂フベシ余等本日此一
 大盛奠ヲ拜賽シ而シテ後式場外ニ出ツレハ轟然トシテ地ノ一角ヨリ滿天ニ響クノ煙火アリ
 驚々トシテ天地ヲ震動スルノ相撲アリ歡天喜地ノ餘興其レ斯ノ如シ亦以テ國難殉死者ノ忠
 魂ヲ慰スルニ足ラン些カ感スル所ヲ記シテ以テ同行ノ友ニ配ス

○交通ト産業トノ關係ヲ論ス(三十年九月大藏省文官普通試験)

夫レ國家ノ隆盛ハ富強ノ二字ニ在リ富強ナラサルノ國家何ソ隆盛ナリト謂フヘケンヤ而
 シテ富強ノ源泉タルヤ曰ク何曰ク何ト茲ニ一々枚舉ニ違ナシト雖モ就中余輩ハ交通ト産業
 ノ關係ハ決シテ離ルヘカラサルヲ信シテ疑ハサルナリ抑モ産業ノ發達ハ國家隆盛ノ一原因
 タリト雖モ獨リ産業ノ發達ノミニ着眼シ交通ノ發達ヲ度外視センカ産業如何ニ發達シタレ
 バトテ供給者如何ニ苦心スレバトテ貨物一處ニ停滯シ事業ノ擴張ハ到底期スヘカラサル弊
 ニ陥ルヘシ是レ豈喜フベキ現象ナランヤ是ニ於テ平隔地者ニ對シテ之カ需用ヲ望ムノ要ア
 リ從テ又供給者ト需用者トノ關係ヲ密接ナラシムルノ要アリ而シテ之ヲ密接ナラシメンニ
 ハ交通機關ノ發達ト整備トニ在リトス然リト雖モ交通機關ノミ獨リ發達シ整備シタリトテ
 之ヲ輸送スルノ貨物ナカリセハ無用ノ長物ニ歸セン斯ノ如ク交通ト産業トハ離ルヘカラサ
 ル關係ヲ有シ二者相俟チ相輔ケテ其便ヲ得其利ヲ圖リ以テ國家ヲシテ富強ノ域ニ達セシメ
 以テ國家ヲシテ泰山ノ安キニ置カシムル者ナリ然ルニ世人之カ視易キノ關係ヲ悟ラスシテ

動モスレハ之ヲ度外視シ之ヲ冷淡視セントスルノ弊アリ何ソ其レ誤レルノ甚ダシキヤ苟モ
國家ノ前途ニ着眼スルノ士ハ豈此關係ヲ等閑ニ附シ去ルコトヲ得ンヤ豈此關係ヲ等閑ニ附シ
去ルコトヲ得ンヤ

○人材養成論(三十年十月香川 縣文官普通試驗)

社會愈々發達シ人智愈々進歩スルニ隨ヒ人ハ人ト競ヒ國ハ國ト争ヒ適者生存シ弱者強者ニ壓
セラルトニ當ツテハ人材ノ欠クヘカラサル智者ヲ俟タスノ知ルヘキナリ故ニ人トシテ苟モ
此世ニ棲息スル以上ハ貴賤尊卑ノ別ナク如何ナル事業ニ向ツテモ將タ如何ナル目的ニ向ツ
テモ欠クヘカラサルモノハ人材ニ在リ或ハ天下ノ憂ニ先テ憂ヒ三寸ノ舌ヲ掉ヒテ經國ノ
略ヲ説クニ當テモ人材ノ必要アリ駿馬ニ鞭チテ官衙ニ出仕シ控働ナル事務ニ執掌スルニ當
ツテモ人材ノ必要アリ牙籌ヲ手ニシ帳簿ヲ前ニシ商機ヲ考ヘテ一攫萬金ノ利ヲ獲ントスル
ニ當ツテモ人材ノ必要アリ古今ノ書ヲ繙キ心ヲ奧妙ナル學理ニ寄セ兀々トシテ其ノ力ヲ極
ムルニ當ツテモ人材ノ必要アリ車ヲ飛ハシテ惡疫流行ノ巢窟ニ入り起死回生ノ術ヲ施スニ

當ツテモ人材ノ必要アリ或ハ蠶張ノ辯ヲ振ヒ理非曲直ヲ法定ニ辯スルニ當ツテモ人材ノ必
要アリ其他農ト云ヒ工ト云ヒ人材ノ必要アリ言フ勿レ經國家ハ天下ノ事ヲ憂フレハ足レリ
ト言フ勿レ官吏ハ官衙ニ出入スレバ足レリト言フ勿レ商人ハ牙籌ヲ手ニシ帳簿ヲ前ニスレ
バ足レリト言フ勿レ學者ハ學理ヲ論究スレハ足レリト言フ勿レ醫師ハ醫術ヲ施セバ足レリ
ト言フ勿レ辨護士ハ法庭ニ出入スレバ足レリト言フ勿レ農民ハ鋤鎌ヲ手スレハ足リ工民ハ
職工場ニテ勞働スレバ足レリト人材ノ必要ナルコト其レ斯ノ如シ是ニ於テ乎人材ヲ養成スル
ノ必要アリ而シテ之ヲ養成スルニハ如何ナル方法ニ因ルヘキカ是レ實ニ至難ノ業タリ然リ
ト雖モ余輩ハ直接ニ間接ニ國民教育ヲ盛ニシ智育ヲ以テ股肱ト爲シ體育ヲ以テ腹心ト爲シ
德育ヲ以テ爪牙ト爲サハ知ラス識ラスノ内ニ人材發達シ各個ノ方面ニ向テ好個ノ人材者奮
起シ活動シ飛舞スルニ至ラン而シテ人材者ノ奮起活動飛舞ハ國家ノ元氣ヲ盛ナラシメ國威
ヲ發輝セシムルカ故ニ國家ノ發達ヲ圖リ膨大ヲ期セントスルニハ主トシテ人材ヲ養成セサ
ル可ラス人材ナキノ國民ハ無智無能ナリ無智無能ノ國民ヲ以テ何ソ國家ノ元氣ヲ盛ナラ
シムルコトヲ得ンヤ又何ソ國威ヲ發輝セシムルコトヲ得ンヤ況ンヤ弱肉強食ノ角鬪場裡ニ在

テハ人材養成ノ必要ナルヲ刻下ノ最大急務タルニ於テヲヤ

○官紀ヲ論ス(三十一年三月解同
縣文官普通試験)

洋ノ東西ヲ問ハス時ノ古今ヲ論セス苟モ一國ヲ樹立スル以上ハ官紀ナクシテ豈善政ヲ施ス
ヲ得ヘケンヤ官紀ハ官ノ威信ヲ保持シ行政機關ノ秩序ヲ維持スル綱紀ナリ故ニ專制ノ世
ニ於テモ將タ立憲ノ世ニ於テモ政府ニシテ官紀ナカリセハ政令下ニ行ハレス下情上ニ洞通
セス上ハ聾トナリ下ハ啞トナリ其結果官ノ威信地ニ墜テ行政事務紊乱シ所謂世ハ暗黒ニ化
シ終ラン是善政ヲ行フニ當テ官紀ノ必要ナル所以ナリ

然ルニ官紀ハ行政官其人ヲ得ルト否トニ依リ其結果ニ於テ大ナル弊ヲ生スベシ官吏官權ヲ
濫用センカ或ハ詐欺トナリ醜賄トナリ遂ニ美風破壊セン又官吏跳梁跋扈セント或ハ國民ノ
自由ヲ蹂躪シ權利ヲ害シ甚タシキニ至ハテ上ヲ欺キ尊大自負スルニ至ラン官紀ノ紊乱ヲ振
肅スル所以蓋シ茲ニ在リトス故ニ官紀ハ嚴ニセサル可ラス然レモ酷ニ失スルハ不可ナリ若
シ其レ官紀ヲ酷ニセンカ官吏ノ手足ヲ縛シ其自由ヲ奪フト一般ニシテ其結果同僚ノ衝突ト

爲リ弊害百出シ行政ノ實ヲ完ウスルヲ能ハサレハナリ

25

○前年中某縣管内商工業發達ノ原因並現況ヲ詳具シ當局大

臣ニ申報スル文案(三十一年三月解同
縣文官普通試験)

前年度中本縣管内ニ於ケル商工業發達ノ原因並現況左ノ通ニ有之候條此段申報候也

明治 年 月 日

某縣 知事

大 臣 宛

(甲)商工業發達ノ原因

(一)商業發達ノ原因 昨年十二月三十一日現在ノ統計ニ徴スレハ商賈ノ員數……………
ニシテ之ヲ前々年度ノ統計ト比較スレハ……………ノ増加ト爲リ猶納稅額及ヒ手数料
等ニ於テモ前々年度ハ……………ナリシモ之ニ反シテ前年ハ……………ニシテ優ニ何割
以上ノ收入アリタリ是レ他ナシ同年ハ營業稅ノ増加ト某鐵道ノ開設全ク成リ商品ノ
販路擴張シタルニ基因スル者ナリ

(二)工業發達ノ原因 同年度統計表ニ依レハ工場ノ員數……ニシテ之ヲ前々年度ノ統計ト比較スレハ……ノ増加ト爲リ現ニ職工ニ於テモ優ニ何倍以上ニ達シ製品其他ノ増加亦之ニ隨伴セリ是レ前年ハ縣下ニ製鉄所建設セラレ且前記ノ鐵道開設ノ結果他府縣下ヨリ職工入込ミタルニ基因スレハナリ

(乙)商工業ノ現況 本年何月以來米價ノ暴騰ト共ニ諸物騰貴シ製茶生糸ノ暴落ニ依リ商工業共ニ恐慌ヲ來セリト雖昨今大ニ順境ニ向ヒツ、アレハ將來ニ於テ著大ナル變動ナキ以上ハ經濟海紊亂ノ憂ハナカルヘシ

○秩序論(三十一年三月滋賀縣文官普通試驗)

今日ハ是建設的ノ社會ナリ建設的ノ社會ハ秩序ニ因テ維持セラル、者ナリ秩序ナキモノ是草昧未開ノ社會ナリ草昧未開ノ社會ハ文明ノ公敵ナリ故ニ文明ノ社會ニ在テハ上ハ國家ノ政務ヨリ下ハ個人ノ私事ニ至ル迄一定ノ秩序アルヲ要ス世ニ秩序ヲ論スルニ當リ單ニ國家ノ秩序ノミヲ論シテ他ヲ顧ミサルモノアリ或ハ個人ノ秩序ノミヲ論シテ他ヲ顧ミサルモ

ナアリ斯ノ如キハ僻論邪說ノ嫌ナキ能ハスサウセイ曰ク秩序ハ心ノ健康身ノ健全都市ノ平和及ヒ國家ノ要全ヲ保ツ者ナリ家ニ梁アリ人ニ骨アルカ如ク秩序ハ何事何物ニモ必要ナリト實ニ至言ト謂フヘシ余輩ハ敢テサウセイノ說ニ雷同附和スル者ニアラスト雖建設的ノ社會ニ於テハ何事何物ニモ秩序ノ必要アルヲ知ル者ナリ豈何ソ單ニ國家ノ秩序ノミニ限定セシヤ豈何ソ個人ノ秩序ノミニ局限センヤサレバ國政ノ上ニ於テモ秩序アリ商業ノ上ニ於テモ秩序アリ工業ノ上ニ於テモ秩序アリ農業ノ上ニ於テモ秩序アリ其他醫師辯護士宗教家ノ如キ高等勞務者ノ上ニ於テモ秩序アリ斯ノ如ク社會ハ秩序ニ因テ維持セラル、者ナリ若シ其レ社會ニシテ秩序ナクハ何ニ因テ之ヲ維持スルヲ得ルカ各人ハ何ニ因テ生存スルヲ得ルカ蓋シ何人モ思ヒ半ニ過グルモノアラン況ンヤ無秩序ハ文明ノ仇敵タルニ於テヤ

○衆議院議員ノ當選ヲ賀スル文(三十一年三月滋賀縣文官普通試驗)

暖氣日増ニ相加ハリ申候處貴君ニハ今回本縣ヨリ衆議院議員ニ御當選被遊大賀不斜候是レ多年一日ノ如ク國事ニ御奔走被遊シ結果ニシテ而モ盛衰ヲ以テ節ヲ改メス存亡ヲ以テ志ヲ

易ヘス威ノ爲ニ畏レス利ノ爲ニ疚シカラサル平素ノ御氣象ノ致ス所ト一同欣舞罷在候世ニ
代議士ニシテ利慾ノ爲ニ節ヲ變シ賄賂ヲ受ケ甚ダシキニ至テハ刑罰ノ制裁ヲ受ケ自己ノ名
聲ヲ損スルノミナラス選舉區民ノ名譽ト信用ヲ毀損スル者有之候ヘ共幸ニシテ是迄我縣下
ニ限リテ斯ル破廉耻漢ヲ出サバリシハ大ニ誇ルニ足ルヘキト存居リ候今峻節使直、清廉
潔白ナル貴君御當選被遊縣下ノ面目不過之候乞フ自重自愛以テ爲國家力ヲ盡サレントテ勿
々敬白

○國民教育ノ必要ヲ論ス(三十一年五月岩手縣文官普通試驗)

富國強兵ノ策ハ一ニシテ足ラスト雖凡就中教育ノ進否如何ニ關ス教育盛ニシテ完全ナル國
民ヲ普及ス何ヲカ完全ナル國民ト謂フ曰ク体育智育德育ノ三者ヲ具備シ且獨立ノ氣象ニ富
ムノ國民是ナリ此種ノ國民勃興シテ始メテ富國強兵ノ實ヲ舉クルニ足ラン是ニ於テ乎國民
教育ノ必要起ル夫レ國民教育ノ要ハ小學中學ノ階級ニ依リテ各異ナル所モアルナラン然リ
ト雖凡其歸一スル所ハ完全ナル國民ヲ養成セントスルニ在リ故ニ之ヲ譬フレハ猶ホ園丁ノ

花園ヲ保護培養スルカ如ク園中ノ花卉ガ風雨霜雪ノ害ヲ受ケントスルヲ防ギ養分ノ缺乏ス
ルヲ補給スルノミ而シテ其保護ノ下ニ立チテ其補給ヲ受ケ自己ノ天性ヲ發成シテ千紫萬紅
ノ美觀ヲ呈スヘキ責任ハ花卉其者ノ自ラ有スル所ノモノナリ假令園丁ニシテ保護愛育至ラ
サルナシトスルモ花卉其モノニシテ自ラ其成育ニ努ムル所アラザランカ園丁ノ勞モ亦水泡
ニ歸スルヤ知ルヘキナリ國家ノ一分子タル國民ニ於テモ亦然リ若シ其レ國民ニシテ獨立ノ
氣象ナカラシカ國家ノ安危一日モ測リ知ルヘカラス之ニ反シテ國民獨立ノ氣象ニ富ミ且体
育智育德育ヲ具備センカ内政如何ニ多事ナリトテ外交如何ニ多端ナリトテ優ニ殖産興業ヲ
圖ルノ餘地アリ是ニ於テ乎國富兵強キニ至ル智者ヲ俟タスシテ知ルヘキナリ

○蠶業視察ノ狀況ヲ當業者ニ通報スル文(三十一年五月岩手縣文官普通試驗)

某縣下本年春蠶ノ景況ヲ熟視スルニ今春ハ氣候不順ニシテ桑芽爲ニ害ヲ蒙リ從テ惡葉ヲ混
入シテ飼育シタルモノ、如ク病蠶例年ニ比シテ多カリシカ故ニ養蠶ノ收穫昨年ヨリモ何割
方減少セシハ蓋シ勢ヒ止ムヲ得サルト存候

次ニ夏蠶秋蠶ニ至テハ昨年ト大同小異ナリト雖モ蠶糸ノ光澤宜シキヲ得ス從テ豫定ノ利益ヲ見ル能ハサリシハ縣下蠶業ノ爲ニ痛嘆スヘキ次第ナリ要スルニ本年ハ昨年ニ比シ春蠶ヨリ秋蠶ニ通シテ繭ノ收穫ニ於テ糸質ニ於テ結果宜シカラズ候依テ此段視察ノ概況及通報候也

○某縣ノ農工共進會ヲ觀テ所感ヲ記ス(三十一年七月茨城縣文官普通試験)

農ト云ヒ工ト云ヒ何レモ是レ國家民衆ノ由テ立ツ所ノモノニシテ二者一方ニノミ偏スヘカラサルナリ願ミテ我邦既往及ヒ現在ニ於ケル農工ノ業ヲ視ルニ洵ニ慨嘆ニ堪ヘサルモノ頗ブル多シ是レ蓋シ營業者各一方ニ偏シタルノ罪ニ歸セサル可ラス看ヨ農業者ヲ彼等ハ士質ニ應シテ肥料ノ適否ヲ撰ハス唯古來ノ舊慣ニヨリ耕耘妄作シタルニ過キサリシニアラズヤ又看ヨ工業者ヲ彼等ハ電氣力及蒸氣力ノ應用アルニモ拘ハラズ農具機械ノ改良發明等ニ至テハ恰モ對岸ノ火災視スルニアラスヤ嗚呼斯ノ如クシテ進マハ國家ハ如何ニ發達スレハトテ皮相ノ發達ニ過キスシテ所謂眞ノ發達ニ至テハ見ルヘキモノナシト云ハサル可ラス是ニ

於テ乎某縣ノ有志者大ニ國家ノ前途ヲ慮ヒ農工業ノ關係ノ離ルヘカラサルヲ悟リ今年今月某日縣下某所ニ於テ農工共進會ヲ開設シ以テ之ヲ獎勵セリ余輩幸ニシテ全日之ニ赴キ各種ノ農産物工品類ハ勿論其他之ニ關スル諸般ノ陳列品ヲ熟視シ大ニ得ル所アリ依テ之カ記ヲ作ル

○某官ニ任セラレタル友人ニ與フル文(三十一年七月茨城縣文官普通試験問題)

謹啓愈御多祥奉恐賀候承リ候ヘバ貴兄ニハ多年盤雪ノ學茲ニ大成ヲ告ケラレ過般某試驗ニ及弟セラレ殊ニ御成績モ拔群ノ趣ニテ今回愈某官ニ任命セラレ候由奉大賀候思フニ貴兄ノ學問ト秀才トヲ以テ官海ニテ御奮勵被遊候事ナレハ一日ハ一日ヨリ一月ハ一月ヨリ一年ハ一年ヨリ御榮進ノ事ト一同遙察罷在候先ハ不取敢任官ノ御祝迄申上候勿々頓首

○友人ノ兵役ニ就クヲ祝スル文(三十二年三月和歌山縣地方裁判所書記試驗問題)

春寒料峭益々勇壯ノ段奉南山候陳者貴君ニハ徵兵檢査ニ於テ合格被遊候由國家ノ爲メ欣喜

龍在候元來兵士ハ國家ノ干城ニシテ畏クモ敬聖文武ナル大元帥陛下ノ御指揮ノ下ニ在リテ而モ其優渥ナル古ノ武士ニ劣ラサルハ平素吾々ノ見聞スル所ニ候諺ニ花ハ櫻人ハ武士ト申シ實ニ兵士ハ國家ノ爲ニハ死ヲ惜マサルモノナレハ斯ク賞賚スル次第ト存居リ候隨分此世ノ中ニハ自ラ兵士タラント希望スル者アルモ身体ノ發達十分ナラスシテ其選ニ漏ル、者アルモ幸ニシテ貴君ハ身体倔強欠クル所ナク遂ニ合格シ入營亦近キニアリト聞キ羨望ノ至リニ堪ヘズ候伏シテ冀クハ拔群ノ功ヲ樹テ胸ニ金勳ヲ輝カシ以テ國民ノ本分ヲ盡サレンコトヲ勿々拜具

○讀書有感(三十二年三月新潟地方法裁判所書記試驗)

余性來讀書以テ感スルノ僻アリ殊ニ史ヲ讀テ感スルノ僻アリ國史ヲ讀テハ清麻呂、楠公等ノ忠ニ感シ信長、秀吉等ノ智ニ感シ辨慶、清正等ノ勇ニ感シ道真、重盛等ノ聖ニ感ス漢史ヲ讀テハ豫讓ノ忠ニ感シ張良ノ智ニ感シ關羽ノ勇ニ感シ孔子ノ聖ニ感ス嗚呼此等ノ忠ト云ヒ智ト云ヒ勇ト云ヒ聖ト云ヒ凡人ノ到底企テ及ツ所ニアラス然ルニ世ニ往々忠ヲ氣取ルモ

ノアリ智ヲ氣取ルモノアリ勇ヲ氣取ル者アリ聖ヲ氣取ル者アリ既ニ氣取ルト云フ皮想ノ忠タリ智タリ勇タリ聖タルヤ明カナリ皮想ノ忠ハ真ノ忠ニアラサルナリ故ニ國亂ルレハ反ス皮想ノ智ハ真ノ智ニアラサルナリ故ニ窮スレハ策ナシ皮想ノ勇ハ真ノ勇ニアラサルナリ故ニ死地ニ臨ンテ生ヲ思フ皮想ノ聖ハ真ノ聖ニ非サルナリ故ニ閑居シテ不善ヲ爲ス是ヲ以テ皮想ナル忠、勇、智聖ハ得易キモ真成ナル忠、勇、智聖ハ頗フル得難シ宜ナル哉清麻呂、楠公、信長、秀吉、辨慶、清正、道真、重盛、豫讓、張良、關羽、孔子等ノ形骸既ニ消ヘ去ツテ見ル能ハスト雖氏名聲嘖々トシテ千載ニ傳フルニ至ル是彼等ハ真ノ忠臣タリ勇士タリ智者タリ聖人タレハナリ余輩彼等ノ事蹟ヲ三啗シ顧ミテ方今ノ濁世ヲ慨キ以テ些カ所感ヲ述フルコト爾リ

○裁判所ノ移轉ヲ長官ニ具申スル文(全)

當何(當區裁判所、地方裁判所、控訴院、大審院等)裁判所屋舎トシテ昨年何月ヨリ何町何番地ニ新築中ノ處愈今回落成致シ候ニ付本月何日右ノ所へ移轉致シ候條依テ此段及具申候也

明治何年何月何日

何々裁判所

○長野縣普通文官試驗ヲ受クルニ際シ友人ニ告クルノ書(三十

三月長野縣文官普通試驗)

一書拜呈仕候時下春寒ノ候貴兄如何御消光被成候哉御尋申上候陳者來ル何月何日ヨリ長野縣ニ於テ文官普通試驗施行之由官報ニ廣告有之候間小生ハ應試ノ希望ニテ本日願書提出致シ候ニ付テハ不日期日ノ通知可有之ト存居リ候小生ガ今回文官普通試驗ノ願書ヲ提出致シタルニ付テハ友人間ニ於テモ種々ノ評モ有之候へ共小生ハ他ニ大ニ感スル所アリテ願書ヲ提出致シタル次第ニ御座候事情既ニ如斯ニヨリ目下已ムヲ得サル事故ノ外ハ外出セズ受驗課目ニ就テ專心一意ニ勉勵罷在候僥倖ニシテ試驗合格採用相成候ハ、平素修養シタル學理ヲ實地ニ應用シ以テ益地方行政ノ發達ニ努力セントノ考ニ御座候何レ出發ノ際ハ貴所へ參堂可致候へ共當分ノ内ハ試驗前故御伺不致候間此旨不惡御推察被成下度餘ハ拜眉ノ節萬々申述ヘク候草々頓首

○分村請願書ヲ郡長ヨリ知事ニ進達スル際ニ於ケル副申書

(全)

去何月何日本郡某村分村ノ件ニ付同村人民總代ヨリ別紙ノ通請願書提出候ニ付早速入民總代ヲ出頭セシメ之カ事情ヲ聞キ且本官該村ニ出張シ細大洩サス取調へ候處現行法規ノ下ニ於テ毫モ不都合ナキハ勿論更ニ進ンテ現在ノ狀況ヨリ將來ヲ察スルニ若シ分村行ハレサルトキハ却テ村ノ自治上ニ大ナル弊害ヲ惹起スルノ恐レ可有之ト存候間願書之趣キ御聽許相成候様致度關係書類相添此段及進達候也

○觀梅記(三十二年三月和歌山縣地方裁判所書記試驗)

春寒未タ骨ニ徹スルト雖凡池氷既ニ融解ス幽馥時ニ來リテ人袖ヲ襲フ是ヲ以テ遊意勃々トシテ禁スル能ハス觀梅ノ念頗リニ起リ友人ヲ誘フニ大森ノ觀梅ヲ以テス友人亦手ヲ拍テ之ヲ贊シ共ニ家ヲ出ツ既ニシテ新橋ニ到レハ一聲ノ笛氣ト共ニ氣車ハ進行ヲ始メヌ高輪品川

モ瞬間ニシテ過ギ大森ニ着ス着スレハ道路雜沓シ或ハ瓢ヲ携フルモノアリ枝ヲ提クルモノアリ紳士アリ書生アリ都人アリ田舎漢アリ洋服アリ和服アリ高襟アリ編笠アリ美人アリ御多福アリ余等此等ノ奇觀ヲ評シツ、知ラス識ラスノ間ニ足ハ進ミテ梅園ニ到ル園内ノ光景絶佳ニシテ幾千株トナキ老樹ハ庭中ニ踰屈シ恰モ老龍大蛇ノ偃臥スルカ如シ花ハ枝上ニ玉ヲ綴ルカ如ク玲瓏トシテ美ヲ極メ靚郁トシテ芳香ヲ放ツ而シテ微風吹キ來ツテ花ニ觸ル、ヤ鬱鬱トシテ吾人ノ來遊ヲ謝スルカ如グ又吾人ニ何事ヲカ訴フルカ如シ滿庭ノ老幼男女花ニ戯レ香ニ酔ヒ或ハ詩ヲ賦シ或ハ和歌ヲ詠シ或ハ俳句或ハ仙柳或ハ都々逸ト各自天狗ト爲リ大天狗アリ中天狗アリ小天狗アリ笑フヘキモノ出デ賞スヘキモノ顯ハル既ニシテ一茶亭ニ入り粗茶一碗以テ渴ヲ潤シ風流ノ談益起リ毫モ倦ム所ナク眺望亦飽ク所ヲ知ラス是ニ於テ乎同遊ノ友各自筆ヲ取り本日ノ觀梅ヲ記スルモノ、如シ余ノ如キ無風流心ノ者ト雖モ遂ニ感シテ之カ記ヲ作ル

○螢狩記

(三十二年四月長野縣地方裁判所書記)

青山暮暮レ杜鵑雲端ニ叫ビ晝ハ蠅ニ攻メラレ夜ハ蚊ニ襲ハル是ニ於テ乎讀書意ノ如クナラス不平益燃ユ知ラス此不平ヲ何ニ由テ慰セン乎ト時ニ偶々知友某來テ螢狩ノヲ以テ余雙手之ニ贊同シ濁酒一杯ヲ傾ケ以テ暑氣ヲ拂フノ時日既ニ西山ニ白キ戸々又燈ヲ點ス某曰ク期至レリト余直ニ立テ準備ヲ整ヘ相携ヘテ途ニ就ク忽ニシテ吾妻橋ニ到ル余等ト同感ノモノ諸所ニ隱見出沒ス亦彼等ニ敗ケジト或ハ堤上ニ出テ或ハ河岸ニ立チ或ハ畦ヲ走リ或ハ畑ヲ踏ミ少シク獲ル所アリト雖モ未タ以テ誇ルニ足ラス故ニ暫時休戦ノ後体度ヲ取り以テ苦熱ヲ忘レント仰テ天ヲ見レハ月暗ク風ナシ暫クニシテ微風吹キ來ツテ螢火點々トシテ飛フ恰モ流星ノ空外ニ迸ルカ如ク或ハ亂柳ニ觸レ玉露ノ畔岸ニ灑クカ如シ一高一低一往一來螢火益々撩乱飛騰スルモノ其數幾千萬ナルヲ知ラス是ニ於テ乎余輩再ビ戰鬪ヲ始メ枝ヲ以テ生擒スルアリ手ヲ揚ケテ撲ツアリ空ヲ撲テ失望スルアリ捕獲シテ逃ケラル、アリ東西奔走ノ狀恰モ狂スルカ如ク余ハ吶喊シテ沼田ニ墜チ某ハ匍匐シテ岩ニテ頭ヲ打ツ然リト雖モ獲ル所ノモノ衆ニ優リ囊中輝々トシテ堤上ニ到レハ衆人羨ムヲ甚シ依テ數十螢ヲ衆人ニ分與シ凱旋シテ歸路ニ就ク

○試験及第ヲ祝スル文(上)

前文省署陳者貴君ニハ今回某試験ニ御及第ノ由本日官報ニ依リ相知リ候實ニ今回ノ試験ハ採用スヘキ人員僅ニ十數人ニ過キササルニ受験者一千人以上ニ及ビタルヲ以テ失禮トハ存シ候へ共友人ヲ思フノ情切ニシテ蔭ナガラ心痛致シ居リ候處幸ニノ貴君ニハ及第者中劈頭第一ノ位置ヲ占メラレ欣喜雀躍手ノ舞ヒ足ノ踏ム所ヲ知ラス候是レ余ノ深ク貴君ノ爲ニ祝スル所ナリ然レモ今日ノ及第ハ唯貴君ノ一小階梯ヲ作りシニ過キス今日受クル所ノ免狀ハ未以テ貴君ガ學業成就ノ招牌ト爲スニ足ラス學海ハ渺茫タリ前途ハ遼遠ナリ故ニ國家ノ爲ニ取自愛自重以テ益御盡力アランコトヲ偏ニ奉願上候先ハ不取敢御及第ノ祝旁申上候草々不備

○職責論(三十二年四月福井縣文官普通試験)

夫レ職務ハ公ナリ公ナルヲ故ニ責務アリサレバ文武ノ官吏タルト公吏タルトヲ問ハス總テ嚴正ナル制裁ノ下ニ羈束セラル蓋文武ノ官吏公吏等ヲシテ適法ニ且完全ニ職務ヲ執行セシ

メントノ精神ニ外ナラサルニ在リスノ如ク職務ト責任ト相伴ハサル可ラサルハ猶魚ニ於ケル水人ニ於ケル空氣ノ如シ豈何人モ之ニ向テ異議ヲ狹ムモノアラシヤ唯職務ノ輕重ニ由テ責任ニ大小アルニ過キス從テ官吏ニ對シ公吏ニ對シテ其職責ヲ不問ニ附スレハ彼等姦譎陰險ノ徒ハ之ヲ奇貨トシ職責ヲ曠廢シ放縱淫逸ヲ事トシ輕躁狂愚ヲ演シ其有スル所ノ學問ハ之ヲ曲ケ其有スル所ノ智識ハ之ヲ惡ニ用非其結果道德破壞シ國亂レ血ヲ以テ血ヲ洗フノ慘狀ヲ呈スルニ至ラン是武官ニ軍紀ノ必要アリ文官ニ官紀ノ必要アル所以ナリ既ニ然ル以上ハ之ヲ濫用シ之ヲ紊亂シタル者ハ其責ニ任セサル可ラス從テ責任ナキノ職務ハ有名無實ニ歸セン吾人ハ名實ノ完備ヲ望ム名アツテ其實ナキハ吾人ノ探ラサル所ナリ故ニ職務ハ嚴正ナラサル可ラス之ヲ等閑ニ附スルヲ得ス又之ヲ私スルヲ得ス是レ余ガ職責ヲ論スルニ當リ既ニ冒頭ニ於テ職務ハ公ナリト謂ヒ又職務ニハ必ス責任伴フ者ナリト謂フ所以決シテ偶然ニアラサルナリ

○仕官ノ目的ヲ友人ニ報スル文(上)

羈望貴君益御健勝之段奉賀候際者小弟今般某縣知ヲ拜命仕リ候節ハ實ニ其狀ハハリ實ニ其狀ニ至リニ不堪候今回小弟ガ某縣知ヲ拜命シタルニ付テ世人動モスレハ變節シテ激官運動シタル者ナリト攻撃スレモ小弟ハ決シテ彼等ガ誤解スルカ如キ者ニアラス其實ハ他ナシ近年我縣下腐敗シ官吏ハ醜賄是レ事トシ稅政ニ亞クニ更ニ大ナル稅政ヲ以テシ民ハ苛政ノ下ニ苦ミ其慘狀見ルニ忍ヒス之カ爲メ既ニ東奔西走罷在リ候ヘ共如何セン奸人跋扈シ速ニ之カ弊ヲ除去スル能ハサルヲ憂慮致居リ候處今般知事ノ恩命ニ接シタルヲ好機トシ遂ニ拜命仕リタル次第ニテ小弟ハ少シモ心ニ疚シキ點無之候要ハ從來ノ弊政ヲ矯メ國家ノ爲メ民人ノ爲メ一身ヲ犠牲ニ供シ以テ憲政ノ實ヲ舉ケ以テ代議政治ノ本分ヲ完ウセシメントノ微衷ニ有之候餘ハ拜眉ノト萬々可申述候恐惶謹言

○觀櫻記

(三十二年四月大阪地
方裁判所書記試驗)

春色郊外ニ遍ク梅花既ニ枝ヲ辭シ桃花亦飛ビ今ヤ方ニ櫻花盛ヲ呈スルノ候ト爲レリ今年今日今日學友數輩來テ觀櫻ノ遊ヲ促ス余此櫻花爛熳タルノ好時節ニ際シ野外運動ヲ爲シ以テ

大ニ英氣ヲ振作シ精神ヲ鼓舞スルノ可ナルヲ知ル豈學友ノ好意ヲ無ニスルコトヲ得ンヤト直ニ之ヲ贊スレハ一友傍ニ在リ謂テ曰ク本日ノ觀櫻ハ飛鳥山ニシテハ如何ト他反之ヲ駁シテ曰ク飛鳥山ハ尙早シ上野カ墨堤ニ限ルベシト余ハ曰ク吾々ハ平素上野ノ圖書館ニ往復スルモノ其花ハ目ニ慣レ其樹ハ既ニ知ル所ナレハ毫モ吾人ヲ喜ハシムルニ足ラス若カス墨堤ニ遊ハンニハト衆皆余ノ說ニ贊同セリ是ニ於テ乎一同弊衣短袴草鞋ヲ穿テ瓢ヲ腰ニシ肴ヲ携ヘテ出發ス忽チニシテ吾妻橋ヲ經テ枕橋ヲ渡リ終ニ墨堤ニ達ス堤上十里千株萬朶傾斜縱橫トシテ恰モ長蛇ノ蟠屈スルカ如ク櫻花ハ紅色淡濃相競ヒ相咲キ恰モ胡蝶カ花ニ戯ルカ如ク之ヲ遠望スレハ雪ノ如ク烟ノ如ク亦霞ノ如シ而シテ幾百萬ノ老幼貴賤男女ハ花ニ戯レ花ニ醉ヒ或ハ瓢ヲ手ニシテ舞蹈スルアリ或ハ盃ヲ口ニシテ吟スルアリ彼ニ一團此ニ一隊喧々囂々スルモノ是レ諸學校ノ運動會タリ諸工場ノ觀櫻會タリ諸新聞社ノ運動會等トス往テ之ヲ觀レハ聲劍アリ角力アリ綱引アリ高飛アリ劍舞アリテ其勇壯ナル其活潑ナル筆紙ニ盡クシ難シ而シテ伏シテ堤下ヲ觀レハ帝國大學及高等學校等ノ端艇競爭アリ一發ノ砲聲ト共ニ互ニ競爭ハ始マリヌ或ハ赤ト叫ヒ白ト稱シ青ト呼ヒ追ヒツ追ハレツシテ一定ノ區劃線ニ

到レハ審判所ノ砲聲ハ一發シテ勝艇ノ旗ヲ掲クルアリ或ハ何々會社何々商店等ノ旗ヲ建テ提灯ヲ飾リ幕ヲ張リテ氣景ヲ付クルノ船アリ或ハ球燈ヲ飾リ妓ヲ嬖シテ三絃ヲ弄シ盃ヲ傾クルノ船アリ其他千狀万態實ニ名狀スヘカラス兎角スル間ニ足ハ進ンデ白髯社前ニ達ス余等境内ニ入り或樹下ヲ占領シテ携ル所ノ酒肴ヲ出シ献酬交々錯ハリ醉フテハ愈花ヲ賞シ飲ンデハ愈快談シ遂ニ日ノ西山ニ傾クヲ知ラス驚テ境内ヲ出ツレハ四面寂莫トシテ人影稀ナリ依テ余等一同櫻花ニ別ヲ告ゲテ歸リヌ

○大阪控訴院地方裁判所ノ新築竣工ヲ司法省ニ

報告スル文(全上)

常管轄地方裁判所昨年何月ノ暴風雨ニテ壞倒候ニ付豫テ地ヲ其所ニトシ新築工事ニ着手致居リ候處漸クニシテ本月何日竣工相成候條依此段及報告候也

○自助論(三十二年六月新潟)

縣文官普通試験

世ニ因循固陋ノモノ頗ル多シ人ニシテ自助ノ精神ナキモノ蓋シ其一人ナリ夫レ人ノ此世ニ處スルヤ如何ナル事業ニ向テモ又如何ナル目的ニ向ツテモ自助ノ精神ナカル可ラス自助ノ精神トハ他人ノ力ニ依頼セス自己ノ力ヲ以テ何事ヲモ貫徹セントスル意思ノ働キヲ謂フ故ニ人ニシテ此働キナカリセハ所謂自主獨立ノ精神ヲ缺クモノト云ハサル可ラス而シテ自主獨立ノ精神ナキモノハ千難萬障ヲ冒シテ邁往スルコトヲ知ラス因循固陋ノ極遂ニ草木ト共ニ朽ツルニ至ラン例ヘハ爰ニ一ノ盆栽ノ檜アリト假定セヨ檜其モノ、本性ハ成長ノ曉ニ至ラハ能ク棟梁ノ材ニ適シ能ク大艦巨舶ヲ造クルニ足ラン然ルニ盆栽ノ檜ハ成長スヘキ本性ヲ有シナガラ一鉢器ノ中ニ在リテ幹ヲ曲ケ枝ヲ屈セラレ克ク千歲ノ風雨霜雪ヲ經ルモ到底棟梁ノ材大艦巨舶ノ材ニ用非ラル、コトナキニアラスヤ人ニシテ自助ノ精神ナキモノ亦然リ自助ノ精神ナキモノハ一ノ企ツル所モナク一ノ爲ス所モナク他人ノ馬前ニ跪キ空シク天賦ノ本性ヲ没却シテ一生ヲ終リ殆ント盆栽ノ檜ト擇ブ所ナキニアラズヤ嗚呼是何ゾ無氣力ノ甚ダシキヤ何ア卑屈ノ甚ダシキヤ若シ其レ國家ニシテ斯ル國民充滿センガ印度埃及安南ノ二ノ舞ヲ踏ミ國家ノ滅亡知ルヘキナリ故ニ人ニシテ自助ノ精神ナキモノハ個人ノ上ヨリ觀

察スルモ將國家ノ上ヨリ打算スルモ共ニ語ルニ足ラサルナリ

○殖産興業論(三十二年六月新瀨
縣文官普通試験)

國家ノ興亡盛衰ハ國家元氣ノ消長ニ關シ國家ノ元氣ハ國民ノ貧富ニ胚胎ス故ニ富國強兵ノ策ヲ講セントスルニハ重キヲ殖産興業ニ置カサル可ラス看ヨ英國ハ何ニ由テ國富兵強キニ至リタルカ主トシテ殖産興業ヲ獎勵シタル結果ニアラスヤ又看ヨ米佛ヲ彼等ハ國富兵強キニ至リタルカ重キヲ殖産興業ニ置キタル結果ニアラスヤ果シテ然ラハ殖産興業ノコタル豈之ヲ忽諸ニ附シ去ルコトヲ得ンヤ

顧ミレハ我邦古來氣候温和ニシテ地味肥沃タリシカ故ニ農ヲ以テ建國ノ基礎ト爲シ從テ殖産ニ關スル發達ハ稍ヤ見ルヘキモノアリタレハ興業ニ至テハ見ルヘキモノナカリシナリ然レハ一朝米使ベルリ浦賀ニ來港スルヤ茲ニ鎖國の蠻夢ハ打破セラレ開國進取ノ國是ト爲リ爾來各國ト相交ハリ彼我ノ利益相交換スルヤ商工業發達ノ上ニ一大動力ヲ與フルニ至レリ是レ實ニ國家ノ爲ニ喜フヘキノ現象ナリ然ルニ國民ノ現狀如何ト顧ミレハ慨テ世ノ流潮ニ

感瀾シテ處世ノ方針ヲ誤リ文弱ニ流レ浮薄ニ陷リ實業ヲ賤視シ徒ラニ文筆ノ奴隸ト爲リ其弊ヤ蕩々都鄙ヲ侵シ父祖傳來ノ着手ナル業務ヲ捨ツルノミニシテ他ニ之ニ更フルノ生産的事業ニ着眼スルモノ極メテ稀ナリ加之人口ノ増殖ハ年々五十萬ヲ下ラス貧民ハ日ニ増加シ金融ハ月ニ逼迫シ銀貨ハ下落シ物價ハ騰貴シ國民ノ生活ヲシテ益困難ナラシムルニアラスヤ是豈ニ國家ノ發達國民ノ福利ノ爲ニ默止スヘキノ秋ナランヤ苟モ國ノ爲ニ憂ヒ世ノ爲ニ慨クノ士ハ之カ救濟ノ策ヲ講セサル可ラス救濟ノ策トハ何ソ殖産興業ヲ振作セシムルコト即チ是ナリ然ラハ殖産興業ヲ振作セシムルハ今日ノ一大急務ナリト謂フモ決シテ過言ニ非サルヘシ夫レ我邦ハ一小島嶼ニ過ギスト雖ハ父祖傳來ノ日本魂ヲ以テ殖産興業ニ注入スレハ今日ノ弊害ヲ除去スル決シテ至難ノ業ニアラサルナリ若シ其レ國民ニシテ殖産興業ヲ冷淡視センカ如何ニ軍備ヲ擴張シ如何ニ國威ヲ海外ニ發揚セント欲スルモ豈得ベンヤ識ルベシ殖産興業ノ策ハ國家富強ノ基礎タルコトヲ

○秋日山ニ遊ブノ記(明治三十二年十月浦和
地方事務所所記試驗)

枯凋落葉人ヲシテ轉々悲愁ノ感ニ堪ヘサラシムルモノハ秋ナリ余閑居終日讀書ニ耽ケテ氣亦鬱スルヲ以テ一日友人ヲ訪ヒ語ルニ四山荒涼ノ勝ヲ探リ紅葉間豁ノ景ヲ觀以テ鬱ヲ散シ以テ士氣ヲ鼓舞シ以テ詩文ノ良材ニ供セントノコトヲ以テス友人直ニ快諾シ共ニ家ヲ出ヅ此日天氣清朗ニシテ草鞋頗ブル輕ク兎角スル間ニ山麓ニ達ス是ヨリ路漸ク峻シク一步ハ一步ヨリ峻嶮ト爲リ行クコト十數町ニシテ路絶ス俯シテ脚下ヲ望メバ溪流アリ水ハ清クシテ底ニ微シ音ハ淙々トシテ山谷ノ間ニ反響ス仰テ頭上ヲ見レハ紫巖アリ疊々トシテ相重ル是ニ於テ手足稍躊躇セシモ奇ヲ好ムノ余等豈斯ノ如キニ退步センヤ益勇ヲ鼓シ或ハ巖角ヲ匍匐シ或ハ葛藤ヲ攀チ手足ト共ニ歩スレハ山愈深クシテ谷愈清シ前ヲ眺メハ瀑布山巔ヨリ直瀉シ岩石ニ激シテ或ハ烟ト爲リ或ハ霧ト爲ルノ奇觀ヲ呈シ瀑聲ハ山谷ニ震ヒ人語更ニ辨セス老松古柏ハ奇形ヲ誇リ紅葉松柏ニ交リテ盛ヲ競フノ光景ハ自ラ一種ノ雅致ヲ添ヘ恰モ友禪ノ衣服ヲ着ケテ靜カニ人ヲ待ツモノ、如ク轉々余等ヲシテ仙境ニ遊ブノ思アラシム余等此ノ光景ニ恍惚之ヲ久フスレハ圖ラサリキ蟲聲ノ耳ヲ掠ムルアリ驚テ天ヲ見レハ日既ニ西山ニ隱レ暮雲樹梢ニ懸リ悽風肌ヲ襲テ瀑聲益高シ人多ク山ニ遊ンデ日暮ル、ヤ焦心苦慮シテ狼

狽スル者アリ然レモ余等所爲ラク天地ハ我家ナリ在ル所ハ慈母ノ懷裡ナリ山夜何ソ意トスルニ足ランヤ況ンヤ今夜月明ニシテ此別天地ヲ眺ム亦再ビ得難キノ風流タルニ於テヲヤト益低回シテ去ル能ハス然ルニ天ノ一方ヲ顧ミレハ不幸黒雲起リ雨降り此良夜ヲ奪ヒ去ラントスルノ兆アリ余等驚テ歸路ニ向フ時ニ偶々路ヲ迷フテ益深山ニ入り行クコト數町ニシテ一ノ燈火ヲ認ム到レハ則チ山寺ナリ一老僧アリ怪ンテ余等ニ問フ余等告クルニ實ヲ以テス僧余等ヲ導テ山麓ニ出ヅレハ黒雲既ニ去ツテ明月亦皓々タリ余等老僧ノ厚意ヲ謝シ別レテ家ニ歸レハ鷄鳴一聲曉ヲ報ス

○甲地區裁判所出張所ヲ乙地ニ移轉センコトノ請願書(全)

從來甲地ニ設置有之候某區裁判所出張所ハ何郡ノ僻隅ニ當リ人家ノ稀少ハ勿論交通ノ便ヲ欠キ吾人管轄内ノ民衆ハ一小訴訟ニ於テスタモ往復ノ日數ヲ徒消シ多額ノ費用ヲ要シ勞力亦頗フル多ク其他諸事ニ於テ不便尠ナカラズ候殊ニ社會人事ノ關係ハ一日ニ複雜ニ赴カントスルノ有様ナレハ本郡ノ中心ニシテ而モ交通ノ便四通八達ノ乙地ニ移轉相成候ハ、獨

リ吾人ノ便利ノミナラス上級裁判所ノ便利亦尠ナカラサルコト存候伏シテ冀クハ特別ノ御詮議ヲ以テ乙地へ移轉ノ義御採用相成度此段奉悃願候草々敬具

○處世接人ノ要ヲ論ス

(三十三年二月大分縣文官普通試験)

社會ハ活動ス人ハ活動スル社會ニ棲息スル者ナリ是ヲ以テ人ノ思想タルヤ千種萬様ニシテ限リナク各自或ハ富者タラントシ或ハ智者タラントシ或ハ學者タラントシ或ハ大將タラントシ或ハ善者タラントシ或ハ權力家タラントシ或ハ名譽家タラントス從テ人々互ニ衝突シ互ニ競争シ其結果優勝劣敗、弱肉強食ノ慘劇ヲ演スルニ至ルヘシ故ニ人ハ如何ニスレハ最安穩ニ此社會ニ棲息スルコトヲ得ルヤ是實ニ處世上ノ一大問題ニシテ其方法亦種々アリト雖凡余輩ハ世ニ處スルニハ目的ヲ一定シ而シテ之ニ向テ進行スルニハ一定ノ方針ヲ立ツ可シト絶叫スル者ナリ其故他ナシ既ニ述ヘタルカ如ク社會ハ弱肉強食ノ社會タルカ故ニ苟モ吾人カ此世ニ處スルニハ目的ヲ一定スルノ要アリ目的一定セサルモノハ所謂希望ナケレハ何ソツ社會ニ活動スルコトヲ得ン然レモ假令一定ノ目的ヲ有スレバトテ方針ヲ一定シテ進行セ

サレハ恰モ水上ノ浮草ノ如ク風ノ爲ニ動搖セラルト殆ント擇フ所ナキニ至ラン又艦ニ羅針盤ナキト殆ント一般ナラン然ラハ(一)目的ヲ一定スルコト(二)其方針ニ向ツテ進行スルコト(三)要件ハ處世ノ大原則ト稱スルモ敢テ過言ニアラサルヘシ從テ此原則ヲ無視センカ世ニ擯斥セラレ人ニ指彈セラレ所謂處世ノ方針ヲ誤リ不平ヲ起シ不快ヲ感シ或ハ自暴自棄ヲ起シ或ハ花柳ノ禍ニ色ヲ漁シ或ハ暴飲暴食百年ノ大患ヲ買ヒ或ハ不法ノ輸贏ニ貴重ノ光陰ヲ空消シ千百ノ腐敗之ニ兆シ墮落ノ極之ニ胚胎シ所謂禽獸ト共ニ朽ツルニ至ルモノ平素吾人ノ見聞スル所ナラスヤ識ルヘシ處世ノ大原則ハ一定ノ目的ニ對シ一定ノ方針ニ向テ進行スルニ在ルコトヲ

然リ而シテ處世ノ途ヲ誤ラサラント欲セハ以上ノ大原則ノ外、人ニ接スルノ良否如何亦與テ力アリト云ハサル可ラス而シテ人ニ接スルニハ仁義禮智信ノ外ニ逸スルコトヲ得ス若シ其レ人ニシテ仁義禮智信ノ五陣ヲ破壊センカ所謂人面獸心ニ外ナラサルナリ人面獸心焉ソツ文明ノ接人方法ナランヤ吾人ハ世ニシテ蠻野ノ集合体ナレバ則チ已ム苟モ然ラサル以上ハ仁義禮智信ヲ度外視シテ焉ソツ人ニ接スルノ途ヲ得タリト云フヲ得ベンヤ

○在京ノ友人ニ留學子弟ノ監督ヲ托スル文(全上)

餘寒未去凌兼候處高堂益御多祥ノ段奉恭智候次ニ迂生無異消光罷在候間乍他事御休神可被下候陳者拙弟某儀政治學研究ノ目的ヲ以テ出京ヲ許シ本日當地發足致候間不日着京ノ上ハ貴所へ參堂可致候就テハ愚弟未ダ齡廿歳ニ滿タス淺學短才ニシテ而モ初メテノ上京ナレバ事々物々御迷惑ノ儀トハ存候へ共實ハ他ニ監督ヲ依頼スヘキ知己友人等モ無之ヲ以テ鐵面皮ヲモ願ミス貴君ニ御依頼致候段不惡御推察被下度先ハ偏ニ奉願上候也

○官紀振肅ヲ論ス(三十三年四月宮崎縣文官普通試験)

官紀ハ官ノ威信ヲ保持シ國家機關ノ秩序ヲ維持スル綱紀ナリ國家ハ之ニ由テ善政ヲ行フヲ得國民ハ之ニ由テ苛政ヲ受クルコト少ナシ故ニ洋ノ東西タルト時ノ古今タルトヲ問ハス將タ政体ノ立憲タルト非立憲タルトヲ論セス苟モ一國ヲ樹立スル以上ハ善政ヲ行フノ必要アリ是ニ於テ乎官紀ノ必要ヲ生ス若シ其レ國家ニシテ官紀ナカリセハ上下壅塞シテ政令下ニ

行ハレス下情亦上ニ達セス上ハ變ト爲リ下ハ變ト爲リ其結果官ノ威信地ニ墜チ政務紊亂シ所謂世ハ暗黒ニ化シ終ラン是善政ヲ行フニ當ツテ官紀ノ必要アル所以ナリ然ルニ官紀ハ行政官其人ヲ得ルト否トニ由リテ其結果ニ於テ弊害アリ乃チ官吏ニシテ潔白公平ノ心腸ヲ以テシ謹嚴慎重ノ頭腦ヲ以テセハ國政日ニ舉リ民亦萬歳ヲ唱フト雖モ官吏官權ヲ濫用センカ官紀紊亂シ其結果詐欺ト爲リ醜賄ト爲リ美風破壊セシ又官吏跳梁跋扈センカ國民ノ自由ヲ蹂躪シ權利ヲ害シ却テ官ノ威信ヲ地ニ墜シ甚シキニ至テハ上ヲ欺キ尊大自負スルニ至ラン是レ豈國家人民ノ爲メ歟止スヘキノ現象ナランヤ是ニ於テ乎官紀ヲ振肅セサル可ラサル必要生ス官紀振肅トハ紊亂シ破壊シタル官ノ綱紀ヲ公整セントスル政略方法ナリ故ニ官紀振肅ハ政治上ノ問題ニシテ法律上ノ問題ニアラス然レモ官紀ヲ振肅スルニ當リテハ社會萬般ノ情況ニ照シ或ハ習慣ニ或ハ理論ニ或ハ經濟ニ或ハ人情ニ或ハ風俗ニ或ハ鑑國法等ニ鑑ミ以テ紊亂シ破壊シタル官ノ綱紀ヲ公整セサル可ラス然レモ之ヲ法トシテ發布スル場合ニハ官紀振肅ト稱スルコトヲ得ス蓋シ此場合ニハ國家ノ立法事項ニ屬シ官紀振肅其モノニアラスシテ即チ官紀振肅ノ結果ニ外ナラサレハナリ

○文官普通試験ニ應スル旨趣ヲ友人ニ報スルノ文(全上)

(本問ハ三十二年三月長野縣又官普通試験問題ト其趣旨同一ナルカ故ニ茲ニ復説明スルノ要ナシ讀者宜シク該問題ノ答案ヲ一覽セラレヨ蓋思ヒ牛ハニ過タルモノアラン)

○官吏ノ責任ヲ論ス(三十三年四月岐阜縣文官普通試験問題)

凡官吏ノ責務ヲ論セントスルニハ其義務ト責任トニ區別シテ論セサル可ラス蓋官吏ノ責任ハ義務ヨリ生スル効果ニ外ナラサレハナリ

(一)義務 官吏ハ何故ニ義務ヲ有スルカ是國家トノ關係ヨリ生スル結果タリ國家ハ官吏ニ對シテ命令權ヲ有シ又強制力ヲ有ス是ヲ以テ官吏ハ國家ニ服從セサル可ラス而シテ此服從ナルモノハ官吏ノ任命ニ始マルナリ蓋官吏ヲ任命スルノ目的ハ主トシテ職務ヲ担任セシムルニアレモ任命アレハ必ス職務アリト云フヲ得ス職務ナシト雖モ官吏タル資格ニ妨ゲナシ純ニ官吏タルノ資格アレバ服從ノ義務ヲ有ス可キナリ之ヲ官吏ノ服從義務ト云フ從テ官吏ハ我力ノ及ブ限國家ノ利益ト爲ルヲ行ヒ其利益ヲ害スルヲ得ス之ヲ官吏ノ忠

實義務ト云フ而シテ官吏ハ又職務ノ内外ヲ問ハス政府ノ威信ヲ損セズ國家ノ体面ヲ傷クル行爲ヲ爲スヲ得ス之ヲ官吏ノ品位保持ノ義務ト云フ斯ノ如ク官吏ハ職務ヲ担任スルト否トヲ問ハス一般ヨリ云フトキハ服從ノ義務忠實ノ義務及品位保持ノ義務ヲ有スヘシ但官吏カ特ニ職務ヲ担任セサルトキハ誠實ニ其職務ヲ行ハサル可ラス之ヲ職務充實ノ義務ト云フ

(二)責任 官吏ノ責任ハ官吏ノ義務ヨリ胚胎ス從テ其義務ニ違背セハ之カ責任ヲ免ルコトヲ得ス而シテ官吏ノ義務違背ノ責任ニ三種アリ曰ク懲戒處分曰ク刑罰曰ク賠償是ナリ抑モ官吏ノ義務ヲ強制シ官紀ヲ維持セシカ爲メ特殊ノ權力關係ニ本ツキテ處分ヲ要スルコトアリ之ヲ懲戒處分ト云フ又官吏ニシテ官紀ヲ紊スノミナラス動モスレハ國家ノ秩序ヲ亂スコトアリ此場合ニ加フル制裁ヲ刑罰ト云フ而シテ官吏ハ以上ノ制裁ノミナラス其權限ヲ越ヘ以テ個人ニ損害ヲ加フルコトアリ此場合ニ於テハ賠償ノ責任アリト要スルニ以上ノ責任ハ官吏ノ義務違背ヨリ生スル效果ナリ故ニ官吏ノ責任ハ官吏ノ義務ヨリ胚胎スルモノナルト蓋疑ナキ所ナリ

○某縣ニ於テ文官普通試験ヲ施行セントスルニ當リ曩ニ試験ヲ行ハレタル他ノ縣ニ比シ參考ト爲ルヘキ事項問合ノ

文(全上)

本問ノ文意ハ甚タ明瞭ヲ欠ケリ即チ試験ヲ受ケントスル者ヨリ某縣ニ參考ト爲ルヘキ事項ヲ問合ハスノ文ナルカ若クハ某縣ヨリ文官普通試験委員長ニ之ヲ問合ハスノ文ナルカ不明瞭モ亦甚タシト云ハザルヲ得ス是試験委員カ問題提出ノ方法ヲ知ラサルヨリ生シタルノ弊ナリ故ニ本問ノ答案ヲ附スルニハ豫メ試験委員ノ意思ヲ解釋セサル可ラス然ラハ之ヲ前者ニ解釋スヘキカ將後者ニ解釋スヘキカト云フニ余輩ハ後者ノ可ナルヲ認ム若シ前者ナリトセンカ試験課目ハ官報ニ揭示スルヲ以テ特ニ參考ト爲ルヘキ事項ヲ問合スノ要ナケレハナリ今後者ニ付テ答案ヲ附スレハ左ノ如シ

本縣ニ於テ判任官吏欠亡ヲ生シ候ニ付今回文官普通試験ヲ施行致度候ヘ共元來文官普通試験科目ハ文官高等試験ヤ判檢事ノ試験ト異ナリ更ニ一定セス各省ト各府縣ト相違シ一

ノ府縣ハ他ノ府縣ト相異ナリ居リルモノ是畢竟各府縣ノ地理ニ於テ慣習ニ於テ將經濟ノ狀態ニ於テ已ムヲ得サル義ト被存候本縣亦他府縣ニ比シ特異ノ事情頗フル多キヲ以テ從テ試験科目ノ撰定ニモ大ニ困難ヲ感シ居リ候間就テハ來ル何月何日頃試験施行ノ豫定ニ有之候ニ付大至急他ノ縣ニ比シ參考ト爲ルヘキ事項御指示相願度此段及問合候也

水害地ノ實況ヲ報告スル文(三十年群馬縣文官普通試験)

謹啓小生儀某縣某所ノ水害地實況視察ノ爲メ出張致候處被害地ノ現況新聞風説ヨリモ甚シク去月何日ヨリ本月何日迄大雨打續キ稀有ノ出水ニテ堤防ヲ破壊シ街市ニ侵入シ一面ノ水ト相成低キ所ハ床上ヨリ二丈餘ニ及ヒ家屋ノ流失スルモノ人畜ノ溺死スルモノ其數夥多ニシテ泡沫ノ水聲ハ老幼慟哭ノ聲ト相和シ親ハ子ヲ尋子子ハ親ヲ尋子夫ハ妻ヲ失ヒ兒ハ餓ニ叫ビ食フニ食ナク衣ルニ衣ナク僅カニ世ノ慈善家ノ救助ニ依リ糊口ヲ凌キツ、其日ヲ送リ居ルノ慘狀實ニ斷腸絶魂ノ情ニ堪ヘス候幸ニシテ小生出張以來官吏モ人民モ協力協心東西ニ奔走シ篝火ヲ四方ニ焚キ死力ヲ盡シテ堤防ヲ防禦致シタル結果市街ノ水漸ク減シ人々少

シテ安堵ノ思ヒヲ致居候依テ不取敢被害地ノ實況ヲ報告ニ及ビ候也

○教育、衛生及ヒ勸業ノ必要ナル理由(全上)

第一 教育ノ必要ナル理由

社會ハ千狀萬態ニシテ恰モ其面貌ノ異ナルカ如シ人心ノ同シカラサル亦然リ或ハ善人アリ或ハ惡人アリ或ハ有益ノ人アリ或ハ有害ノ必要アリト雖其基ツク所ハ教育ノ良否如何ニアリト云ハサル可ラス蓋教育ハ人ノ心靈ヲ陶冶スル力ヲ有スルモノナレハ此陶冶力ナクンハ到底隠レタル才徳ヲ發顯スルコト能ハサルベシ之ヲ譬フレハ如何ナル良種佳木アリト雖凡之カ培養宜シキヲ得ルニアラスンバ花モ爛熳タル能ハス果實モ甘美ナル能ハサルカ如ク人モ完全ナル教育ヲ受クルニアラズンバ善人ト爲リ有爲ノ人ト爲リ英名ヲ竹島ニ垂ルコト能ハサルナリ是レ余カ教育ヲ必要トスル唯一ノ理由ナリ

第二 衛生ノ必要ナル理由

人カ此世ニ活動スルニ當リテハ衛生ヨリ重キハナシ蓋シ衛生ハ根幹ナリ活動ハ枝葉ナリ根幹衰ヘ枝葉何ンア盛ナルノ理アラシヤ是ヲ以テ清麗ナル泉ハ必ス幽谷碧巖ノ間ニ湧キ旺盛ナル氣力ハ必ス強健ナル身体ニ寓ス故ニ健康ナル身体ハ英雄ヲ造リ豪傑ヲ出シ智者ヲ生シ學者ヲ造リ實務家ヲ出シ富者ヲ生スト雖之ニ反シテ健康ナラサレハ忍耐力ヲ缺キ果斷力ヲ失ヒ實行力ヲ弱カラシメ一事一業モ亦成就スルコト能ハス所謂失敗ニシテ因循ト爲リ沈鬱ト爲リ退歩ト爲リ疾病ト爲リ終ニ枯死スルニ至ルヤ智者ヲ俟タスシテ知ルヘキナリ是ニ於テ乎衛生ノ必要起ル而シテ個人身体ノ不健康ハ延テ國家全体ニ影響ヲ及ホスコトアルヲ以テ國家モ法令ヲ以テ特ニ之ヲ取締ルノ要アリ是ニ於テ乎國家ニ衛生行政ノ必要ヲ生ス蓋シ身体健康ノ有無ハ國民元氣ノ強弱ニ關シ國民元氣ノ強弱ハ國家ノ盛衰ニ關スレハナリ

第三 勸業ノ必要ナル理由

世ニ國家富強ノ原因タルモノ尠ナカラス又國民富榮ノ原因タルモノ頗ブル多シ蓋シ勸業ノ如キモ亦其一ナリ

抑古封建ノ世ニ在リテハ戰爭ヲ以テ業務トスル所謂士ノ階級ヲ社會ノ上級ニ位セシメタ

ルヲ以テ世人勸業ノ必要ヲ悟ラス農工商ノ三者ヲ以テ卑賤ノ業ト爲シタリ然レモ國民ノ富榮ヲ圖リ國家ヲ富強ナラントスルニハ農工商ノ獎勵ト發達ヲ度外視スルヲ得ス又之ヲ冷淡視スルヲ得ス夫レ良田アリト雖モ農ナクンバ其用ヲ見ス良材アリト雖モ工ナクンハ機械ヲ製作スル能ハス又農アリ工アリト雖モ商ナクンバ其產物ヲ交換スルヲ能ハス故ニ農工商ノ三者ハ相俟テ相輔ケ以テ發達セシメサル可ラス然ラスンハ國家ノ富強ヲ圖リ國民ノ富榮ヲ期スルヲ能ハス從テ勸業盛ナレハ產殖シ財豊カニ上下ノ富饒衆庶ノ便益茲ニ胚胎スルヤ明カナリ識ルヘシ勸業ハ之ヲ大ニシテハ國家經濟ノ基本ト爲リ之ヲ小ニシテハ國民經濟ノ根本タルヲ是勸業ノ必要ナル所以ナリ

○余ノ境遇及前途ノ目的

(三十四年一月宮城縣文官普通試驗)

世ニ不幸ナルモノアリトセハ余ノ如キ不幸ナルモノ極メテ稀ナラン余幼ニシテ孤兒ト爲リ叔父某ノ育スル所ト爲ル然ルニ哀イ哉余八歳ノ時叔父偶々病魔ノ侵ス所トナリ醫藥效ヲ奏セス遂ニ余ヲ捨テ、逝去シヌ是ニ於テ余又路傍ニ迷ヒシモ或人ノ周旋ニ依リ豪農某家ノ子

守ニ雇ハレ朝ハ鷄鳴ニ起キ夜ハ星ヲ踏ムノ時迄主家ノ兒ヲ背ニスルヲ既ニ五年、余十四歳ノ春ヲ迎フルヤ稍ヤ社會ノ狀況ニ感シ在家ニ請フテ某學舎ノ夜學生ト爲リ晝ハ主家ノ農事ニ力ノ及ハン限リ働キ居ルヲ猶二年ヲ過キ齡十七ヲ迎フルヤ身ヲ立テ家ヲ興サントノ念燃ユルカ如ク遂ニ主家ヲ辭シ主家ヨリ受ケタル少許ノ金ヲ旅費トシ大膽ニモ一聲ノ氣笛ト共ニ東京ニ上リタリキ爾來何カ一事業ヲ企テ資ヲ得以テ學業ヲ勵マント欲セシモ奈何セン知友ナク親戚ナキヲ以テ雇人口入所ノ周旋ニ依リ某商店ノ飯焚男ニ雇ハレ漸ク一時ノ糊口ヲ凌キタリト雖モ到底斯ノ如キヲニテハ余ノ目的ヲ達スル能ハサルヲ悟リ遂ニ某商店ヲ辭シ夜ハ車ヲ挽キ晝ハ某學校ニ通學シ螢雪ノ苦ヲ嘗ムルヲ茲ニ五年ニ及ヘリ是レ余カ既往及ヒ現在ニ於ケル境遇ナリ余ハ以上ノ境遇ニ因リテ齡既ニ二十二歳ニ達ス男子此世ニ生レテ既ニ丁年以上ト爲ル豈前途ノ目的ナクシテ可ナランヤ抑モ人ノ前途ノ目的タルヤ甚タ多ク或ハ農タラントシ或ハ商タラントシ或ハ工タラントシ或ハ學者タラントシ或ハ宗教家タラントシ或ハ法律學者タラントシ或ハ代議士タラントシ或ハ何或ハ何ト茲ニ屈指スルノ遑ナシト雖モ要ハ自己ノ好ム所ニ從テ前途ノ目的ヲ定メサル可ラス世ニハ他人ノ教唆ニ依リテ前

途ノ目的ヲ變更スルモノアリ又ハ他人ニ雷同附和シテ前途ノ目的ヲ誤ルモノアリ斯ル徒ハ所謂薄志弱行ノ徒ニシテ共ニ語ルニ足ラサルナリ然ラハ余ノ目的那邊ニ在ルヤト云フニ他ナシ余カ前途ノ目的ハ官吏タラント欲スルニ在リ世人動モスレハ民ニ對シテ威權ヲ擅ニセシカ爲ニ官吏タラント欲スルモノアリ或ハ驕奢淫逸ヲ専ラニセンカ爲ニ官吏タラント欲スルモノアリ何ソ其レ誤マレルノ甚シキヤ余カ前途ノ目的ヲ官吏ト定タルハ威權ヲ擅ニセンカ爲ニアラス又驕奢淫逸ヲ専ラニセンカ爲ニアラスシテ上ハ國家ノ爲メニ忠節ヲ盡シ以テ報國ノ鬼ト爲リ下ハ國民ノ爲メニ福利ヲ圖リ以テ赤誠ヲ致サント欲スルニアルノミ是レ余カ前途ノ目的ニシテ文官普通試驗ヲ受ント欲スルノ意思亦茲ニ存スルナリ

○友人ニ文官試験ノ狀況ヲ報スル文(全上)

拜啓筆研益御清穆欣喜ノ至リニ堪ヘス陳者今回宮城縣ニ於テ文官普通試驗施行セラレ候ニ付小生曩ニ願書ヲ提出致シ置キ候處試験委員ヨリ期日ノ通知モ有之候間去何日ヨリ何日迄宮城縣廳ニ出頭シ筆記及口述ノ兩試験相受ケ候ヘ共固ヨリ淺學菲才ノ小生故諸多ノ問題ニ

於テ大ニ困苦仕候殊ニ國文ノ解釋ト作文ノ問題ニハ閉口致シ候間依テ貴君御參考ノ爲ニ問題全部ヲ別紙ノ如ク寫シ御送附致候ニ付御笑覽下サレ度候聞ク所ニ依レハ今回ノ受験者ハ何百何十人ニシテ此内三十人許採用セラルトノ事ナレハ小生ハ多分落第ノ事ト存居リ候何レ兩三日中ニ及第者氏名發表ノ由ニ付委細ハ後便ニ可申述候ヘ共先ツ今日ハ不取敢試験ノ狀況ノミ概畧申上候勿々敬具

○吾人ノ理想(廿七年九月安瀾津 裁判所書記試驗)

人ノ此世ニ生ラ享クル偶然ノ結果ニ非ズ是レ天賦ノ職務ヲ全フセンガ爲ナリ即チ吾人ハ各善ナル目的ニ向ツテ突進センガ爲ナリ故ニ吾人ハ吾人ノ全能力ヲ擧ゲテ自己ノ事業ニ傾注シ一意専心其ノ向フ處ニ直進シテ倦ム可ラズ事業ハ永久ニ是ヲ大成ス可キモノニシテ小成ニ安ンズ可キモノニ非ズ細事ニ拘束セラレ碌々爲スヲナク大局ノアル所ヲ觀破セザルハ吾人ノ尤モ戒ム可キ所ナリ然リト雖モ又漫リニ架空ノ大計ヲ立テ高遠空漠ノ望ヲ抱キ自己ノ能力ヲ量ラズンバ其極失望落膽苦境ニ陥リ如何トモナス可カラザルニ至ル故ニ先ヅ自己ノ能力ヲ量リ事ニ當ツテ不憊不屈ノ精神ヲ涵養セザル可ラズ

吾人ハ活動ノ動物ナリ其イカノアラン限リ勇躍奮闘シテ其ノ天職ヲ完フセザル可カラズ見
ヨ彼ノ沈滯不動ノ池水ハ水車ヲ動かスニ足ラズ之レニ反シ懸崖千仞ノ絶壁ヨリ落ツル瀑山
間ヲ奔騰スル溪流ハ之ヲ利用セバ幾千万馬力ノ力ヲ出シテ器械ヲ活動セシム其レ因循固息
ニシテ唯遊惰ヲ之レ事トスル輩ノ如キハ池水ト等シク終ニ腐敗シテ死スルニ至ル之ニ反シ
活動シテ其ノ天職ヲ完フセバ万世不死ノ人タルヲ得ベシ人ハ唯パンノ爲ニノミ活ケルモノ
ニ非ズトハ吾人ノ信奉ス可キ真理ニシテ活動ハ吾人ノ生命ナリ

「若シ吾人ニシテ時々刻々奮勵スルヲ能ハズンバ此ノ世モ地獄ナラン吾人ハ逸樂ニ耽ル可
ラズ苟モ覺醒セル間ハ常ニ何事ヲカ勉勵セヨ併セバ豈怠惰遊逸ヲ貧ルノ暇アランヤ」トハ
之レ米人ウエード氏ノ吾人ニ教ヘラレタル所吾等ハ此訓言ニ從ヒ其生アル限リ活動シ奮闘
シ自己ノ目的ニ向ツテ猛進シ如何ナル障害ニ遭遇スルモ必ズ万難ヲ排除シ決シテ遂行スル
ヲ勿レ艱難汝ヲ玉ニスト吾人ハ困難ニ會スル毎ニ愈々奮勵シ以テ其天職ヲ完フセザル可ラ
ズ嗚呼吾人ハ唯將來ニ於テ光明ナル目的ニ達セント希望スルモノナリ活動セヨ奮闘セヨ猛
進セヨ秩序的ニ勉強セヨ然ラバ吾人ノ理想トナル所ハ必ズ確得スルヲ得ン

○出征軍人ノ家族ヲ慰問スル書簡(廿七年九月安邊津 裁判所書記試驗)

肅啓御留守宅皆々様愈々御清榮奉賀候陳者今回ノ戰役ハ實ニ國家消長ノ關スル所ニシテ敵
ハ世界ニ名高キ強兵ヲ以テ任ズル國ナルニ依リ戰鬪ノ激烈ナルハ新聞紙上ニテ承知仕居候
處御主人様ニハ御勇健各所ニ御轉戰到ル處御偉勳ヲ建テサセラレ候趣奉慶賀候小生モ御見
舞旁御伺ヒ可申旦夕懇念仕リ居候得共何彼用事ニ取紛レ不本意ナカラ御無沙汰ニ打テ過ギ
面目次第モ御座無ク候万一相應ノ御用モ有之候ハ、御遠慮ナク仰付下サレ度先ハ御慰問迄
如此候勿々不備

○富國強兵論(廿八年六月大坂稅務監督局文官試驗)

國運ノ隆頽ハ兵ノ強弱ト國家ノ貧富ニ胚胎ス國運ノ隆頽ガ富國強兵ト關連スルハ人體ノ健
康ガソノ血液ト筋肉ノ發達如何ニ關スルガ如シ筋肉ノ發達ハ強兵ニ比ス可ク血液ノ充實ハ
富國ニ比ス可シ然シテ筋肉ノ發達ハ血液ノ充實ニ基ヒシ血液ノ充實ハ發達セル筋肉ノ適當
ナル運動ニヨル之レ富國強兵ノ相俟ツ所以ナリ國貧ニシテ強兵ヲ求ムルモ豈得可ケンヤ
看ヨ英國ハ商業ヲ獎メ興業ヲ勵マシ世界到ル所英人ノ足跡ヲ印セザルナシ見ヨ米國ハ大ニ

肥沃ヲ利用シ殖産ヲ振作シ共ニ富國ノ策ヲ講ジ佛獨亦然リ故ニ其強兵ヲ曰フモノ必ず先ツ
 指テ英米獨佛ニ屈ス頃者我邦ハ露ト兵ヲ構ヘ連戰連捷海ニ陸ニ其勇武ヲ發揮シ世界ノ耳目
 ヲ聳動ス加フルニ舉國皆奉公ノ義氣ニ富ミ衣食ヲ節シ國債ニ應シ軍資ヲ献シ内顧ノ憂ナカ
 ラシム此レ國體ノ精華ニシテ好果ヲ収ムル期ス可キナリ然ルニ之ニ反シテ國貧ニシテ能ク
 其戰費ヲ支フル能ハズンバ其終局果シテ如何近ク比律賓ノ米ニ征服セラレタルハ比軍如何
 ニ勇敢ナリト雖軍資ニ乏シク遂ニ降伏スルノ不得止ニ至ル如斯事例ハ枚舉ニ暇非ズ之レ富
 國ト強兵トハ車ノ兩輪ノ如ク鳥ノ兩翼ノ如キ所以ニシテ強兵ノ實ヲ舉ゲント欲セバ大ニ軍
 備ノ擴張ヲ要シ軍備ノ擴張ヲ圖ラントセバ富國策ヲ講セザル可カラズ富國ノ策ヲ講ゼズシ
 テ徒ニ軍備ヲ増大ニセンカ般鑑伊多利ニアリ豈戒メサルベケンヤ

○仕官ヲ求ムル文

廿八年九月福井地
方裁判所書記試験

拜啓不肖年來司法官ノ神聖ニシテ其事務ノ活動實ニ壯ニシテ社會ノ秩序此レニヨリ濟美ヲ
 見ルモノト自覺致シ身司法官トナリテソノ重職ニ任シ度キ希望ニ候得共素心容易ニ達セラ
 ルベクモ非ズ加之試験規則ノ改正ハ又我等ニ一層ノ苦痛ヲ與ヘラレ候ニ付テハ一躍ノ空望

ヲ斷テ徐々計畫可致ト存シ今回某地方裁判所書記試験ニ應ジ合格ノ俸ヲ得候間何レニカ奉
 職致度存候得共一寒生ノ斯道ニ知己乏シク大ニ當惑致居候閣下ハ先輩トシテ能ク後進者ヲ
 保護下サレ候ノミナラズ地位又高ク仁愛ニ優レサセ給フト聞キ欣喜不能禁失禮ヲモ願ミズ
 拙書ヲ認メ別紙履歷書ヲ相添ヘ御歎願申上候御採納御傾慮下サレ候ハ、幸甚

○修學ノ説(全上)

人ノ此世ニ生ル、ヤ必ず生存競争場裏ニ驅馳セザル可ラズ此酷烈ナル競争ニ自己ノ所信ヲ
 貫徹シテ凱歌ヲ奏セントスルコト皆人ノ望ム所ナルベシ其生存競争ニ捷チ得ル所以ノモノ
 ハ何ゾ腕力ノ豪健ナルニアルカ將又智識ノ優逸ナルニアルカ腕力如何ニ強豪ナルモ智識ノ
 秀ナルニ如カサルヤ遠シ智識ヲ涵養スルハ學ヲ修メ徳ヲ研クニアリ然レモ學ヤ深遠ニシテ
 之レヲ修ムル容易ノ業ニ非ズ堅忍勉勵シ螢雪ノ苦ヲ積ムニ非サレバ豈能ク其ノ目的ヲ達ス
 ルヲ得ベケンヤ

夫レ學ヤ其類夥多ナリ一人ニシテ其幾多ヲ兼修セントスルモ不能ノ業ナリ故ニ其ノ一ヲ撰
 擇シテ研磨セバ奏効シ又智能ヲ啓發シ德器ヲ成就スルニ於テ專ラナラシカ學ヤ愈々深ク益

々趣味ヲ覺エ或ハ天地自然ノ理ヲ盡シ万物ヲ應用シ自己ノ利ニ供シ人ノ便ヲ計リ或ハ人道ノ據ル可キヲ極メ人生天賦ノ自主自由ニシテ獨立不羈ノ氣象ヲ養成シ忠孝ノ本義ヲ明カニス社會幾億ノ競争者アルモ豈意トスルニ足ランヤ嘻天地ノ間怙恃ス可キ者唯修學アルノミ然リト雖學ヲ修ムノ害モ又甚シキモノアリ即チ學習ニ偏スレバ必スヤ其身體ヲ害フ身體壯健ナラサレバ學亦用ヲ爲サス學ヲ修ムルノ徒必ズ體育ヲ怠ラズ能ク其分ヲ度リ身體ヲ壯ニシ學ヲ修メ智能ヲ啓發スルニ於テハ天下能ク其欲スル所ヲ以テ吾人ヲ歡迎セン樂哉修學ノ効豈偉大ナラズヤ

歴史

(一) 藤氏ノ政權ヲ擅ニスルニ至リシ原因如何(明治三十年九月大藏省文官普通試験)
藤原氏ノ政權ヲ擅ニスルヤ其由來スル所蓋シ遠シ其先中臣鎌足中大兄皇子ト共ニ蘇我氏ヲ亡シ中興ノ大業ヲ佐ケテ偉勳アリ皇子位ニ即クヤ鎌足大織冠内大臣ニ任セラレ姓ヲ藤原ト賜ヒ其子不比等又持統文武元明元正ノ四朝ニ歷仕シ律令ヲ撰定シ大ニ政ニ勵ミ太政大臣ニ任セラレ、モ辭シテ受ケス之ヨリ後子孫分レテ南家北家京家式家ノ四家ヲ爲ス皆祖宗ノ功勞ニ因リ顯職ヲ占ム又其女ハ容レテ皇妃ト爲シ外戚ハ自家ノ特權ト信シ他家ノ

皇妃ヲ立ツルヲ拒ミ勢威漸ク盛ヲ至ス桓武帝崩御シ平城嵯峨淳和兄弟相傳ヒ淳和帝仁明帝ニ讓ル仁明其子ヲ舍キテ淳和ノ皇子ヲ立テ皇太子ト爲ス之レ先帝禪讓ノ德ニ報ヒテナリ是ヨリ先キ押勝等ノ反セシヨリ藤原氏ノ勢稍衰ヘタリシカ冬嗣ニ至リ一族ノ興隆ヲ奴メ又其女ヲ仁明帝ノ後宮ニ入レ皇子ヲ生ム是於テ皇太子亂ヲ東國ニ作サントスト讒シ之ヲ廢シ文德帝ヲ立ツ良房又女ヲ入レ皇子ヲ生ム此時ニ當リ帝儲貳ヲ立テントシテ外祖良房ヲ憚リ果サス帝多病ニシテ在位永カラス遂ニ位ヲ清和帝ニ讓ル藤原氏ノ出ナリ帝幼冲ナリシカバ萬機ハ太政大臣良房之ヲ攝行ス

大寶以後三大臣ヲ立テ、百官ノ上ニ置クト雖モ多ク其員ヲ滿タサス才量ヲ擧ケ門地ヲ撰ハス太政大臣ニ至ッテハ則闕ノ官ト稱シ押勝道鏡ノ徒一時ノ濫賞ヲ受クルニ過キス良房人臣ヲ以テ大政ヲ攝行ス良房ノ後基經繼ク陽成帝位ニ即クニ及ヒ昏狂ナリ基經之ヲ廢シ光孝帝ヲ立ツ天子ノ廢立其端ヲ此ニ啓ク帝不豫ナリシカハ基經臥内ニ入り宇多帝ヲ立ツルヲ奏ス宇多帝ハ基經ニヨリテ立テラレタルヲ以テ細大ノ事皆基經ニ關白セシム是ニ於テ藤原氏全ク天下ノ權ヲ掌握シ一族皆顯職ニ坐シ卿相ノ位其族人ニ非サレハ擬セス官品

流ヲ論シ門地ヲ議シ后ハ皆其女帝ハ皆其女ノ生ム所其族ニ非サレモノハ之ヲ去リ皇族ト雖用免ル、能ハスト賴氏ノ言ノ如ク然リ之レ其原因ナリトス

(二)元寇ノ顛末ヲ畧述スベシ(全上)

紀元一千九百二十八年龜山天皇ノ永久三年八月元使黑的等來リ國書ヲ呈ス全五年三月播磨筑前ニ來 牒狀ヲ太宰府ニ奉ル府ハ之ヲ時ノ執權北條時宗ニ送ル時宗之ヲ朝廷ニ奉ル天皇即チ返牒セントシ時宗ニ示ス時宗彼カ狀ノ禮ナキヲ怒リ返牒ニ及ハスト奏ス使者空シク飯國ス是ヨリ先キ元ハ其祖鉄木真カ金ヲ亡シ宋ヲ破リ孫忽必烈にニ至リ其勢盛ニシテ遂ニ宋ヲ滅シ四隣ヲ併吞シ餘威ヲ藉リ我國ノ未タ修交セサルヲ憾ミ征服セントスルヤ我國ニ時宗ノアルアリ其使ヲ追飯スニ及ヒ元主又更ニ張良弼等ヲ遣ハス又之ヲ逐フ是ニ於テ忽必烈怒リ後宇多天皇ノ文永十一年十月忽敦等ヲシテ元兵一万五千ト高麗軍八千戰艦九百艘ヲ以テ來ラシム忽敦等壹岐對島ニ上リ侵掠ヲ擅ニシ進テ博多ニ來ル我軍討テ之ヲ破ル敵夜ニ乘シテ遁ル時宗益々兵備ヲ嚴ニシ北條實政ヲ鎮西ノ探題トナシ西海南海ノ兵ヲ博多ニ東山北軍ノ兵ヲ敦賀ニ屯セシメ山陽山陰ノ兵ニ京師ヲ守ラシム

建治元年四月元又世杜世忠何文著等ヲシテ必ス答書ヲ得ヨト命シ來ラシム時宗使ヲ鎌倉ニ召シ龍ノ口ニ斬ル元使ヲ遣ハス前後九回更ニ要領ヲ得ス是ニ於テ元主憤懣ニ堪ヘス大ニ兵ヲ募リ再ヒ來寇ス實ニ弘安四年五月ナリ元范文虎忻都洪茶丘等ヲ將トシ高麗ノ軍ヲ併セテ凡十一萬戰艦海ヲ蔽フテ壹岐對島ニ至リ百姓ヲ殺シテ殘虐ヲ極ム遂ニ進ンテ博多ニ迫ル我軍能ク戰ヒ兩月ニ亘レテ勝敗決セス河野通有菊地武房等夜ニ乘シ敵艦ニ上リ大ニ戰ヒ多ク敵ヲ斬ル敵鷹島ニ退ク時ニ京師流言シテ曰ク賊已ニ長門ニ迫リ直ニ京師ヲ犯スト龜山上皇親ヲ石清水八幡ニ祈請シ宸筆ヲ神宮ニ奉リ身ヲ以テ國難ニ代ラント祈ラセ給ヒリ將士之ヲ聞キ大ニ奮フ七月晦日大風俄ニ起リ海水簸蕩シ賊艦覆沒ス少貳景資等此時ニ乘シ掩擊ス敵死スルモノ算ナク海上歩シテ行クヘシ始メ元兵十一萬生還スルモノ范文虎等僅カニ三人ノミ元又我邊ヲ窺ハス之ヲ弘安ノ役ト云フ

(三)日本ト朝鮮トノ古來ノ關係ヲ畧記スヘシ(全上)

神代ノ時月讀尊ノ韓國ヲ經畧シ素鳴尊五十猛命亦嘗テ新羅ニ住キ神武天皇ノ時稻飯命航シテ彼ノ國王トナリ爾來間斷アリシモ崇神天皇ノ六十五年任那始メテ朝貢アリ垂仁天皇

三年ノ新羅ノ王子天日槍歸化シ邑ヲ但馬ニ賜フ此ノ如ク古來朝鮮ハ我國ノ版圖タリシモ太祖統一以來内地ニカヲ用ユルヲ急ナルヲ以テ外蕃ノ一ニ至リテハ其餘力ヲ展フルニ暇アラズ然レモ熊襲ハ常ニ往來セリ仲哀天皇ノ時ニ熊襲反ス天皇宮ヲ筑柴ノ香椎ニ進メ之ヲ討ス勝タス群臣ト議ス時ニ神アリ皇后ニ誨ヘテ曰ク天皇熊襲ノ服セサルヲ憂フル勿レ海西ニ國アリ寶貨ヲ産ス急ニ之ヲ伐タハ乃ニ血ヌラスノ服シ熊襲亦從テ降ルヘシト皇后之ヲ奏ス天皇從ハス熊襲ヲ討チ遂ニ陣中ニ崩ス皇后乃チ喪ヲ秘シ急ニ軍ヲ整ヒ舟師ヲ帥ヒ男装ノ親ラ之ヲ督シ新羅ヲ討チテ降ス高麗百濟亦風ヲ望ンテ來皈ス之ヨリ毎歲朝貢ス皇后攝政ノ間力ヲ韓地ノ事ニ用ヒ新羅ノ百濟ヲ侵スヤ荒田別等ヲ遣ハシ新羅ヲ破リ後又朝貢ヲ欠クニ當リ之ヲ討シ版圖大ニ廣ク三韓又事ナキヲ得應神天皇十五年阿直岐良馬ヲ貢シ又王仁論語及ヒ千字文ヲ獻シ又縫衣女ヲ獻ス欽明天皇ノ十三年百濟佛像及ヒ經論ヲ獻ス降テ豊臣氏ニ至リ明主朱翊鈞政ヲ失ヒ武備具ラスト聞キ先ツ朝鮮ニ使ヲ遣シ鄉導タラシム朝鮮王李昭從ハス秀吉怒リ彼古昔我國ニ臣事セリ而ルニ今ハ叛ノ元ノ先導ヲナシ我ニ寇スト職ヲ秀次ニ讓リ自ラ膺懲ヲ加ヒントシ乃チ奏請ノ兵食戰艦ヲ具ヘ那古耶ニ營

シ浮田秀家ヲ元帥トシ増田長盛石田三成大谷吉隆ヲ參謀トシ加藤清正小西行長ヲ先鋒トシ水陸軍十五万游軍六万即チ發ス實ニ文祿元年二月ナリ秀吉那古耶ニ至ル諸軍會スル者五十万而ノ我兵韓地ニ至ルヤ向フ所敵ナク清正韓ノ二王子及大臣等ヲ擒ニシ八道我軍ノ爲ニ席卷セラルル明聞テ大ニ驚キ大兵ヲ派シ來リ韓ヲ援ク我軍益々奮戰シ大ニ明韓ノ軍ヲ破ル明將沈惟敬行長ニ説キ和ヲ請フ行長之ヲ容シ那古耶ニ謀ル而シテ明更ニ李如松ヲ大將トシ兵五万ヲ率井韓兵ヲ併セ二十万我軍和議ノ決スルヲ待チ兵ヲ勤スルニ乘シ平壤ニ向フ小早川隆景之ヲ碧蹄館ニ要撃シ大ニ之ヲ敗ル後和議破レ大兵更ニ攻ントス秀吉薨シ軍ヲ還ス德川氏ニ至リ將軍繼職每ニ必ス使節ヲ以テ聘賀ス明治維新トナリ近年交通斷絶セシヲ以テ其舊交ヲ訪チ使ヲ遣ス時ニ大院君國政ヲ執ル我使者ヲ退ケ答書又無禮ナリ於是征韓論起ル西郷隆盛江藤新平板垣退助副島種臣等大ニ之ヲ唱ヒ議正ニ決セントス偶々岩倉具視木戸孝允大久保利通伊藤博文等歐洲ヨリ歸リ之ニ抗シ事終ニ已ム明治八年我軍艦薪水ヲ江華島ニ求ム彼兵ノ砲撃ニ遇フ九年黑田清隆特命全權辦理大使トシ適ヒテ事ヲ理ス十五年朝鮮ノ暴徒我公使館ヲ襲フ初メ韓我陸軍士官ヲ聘シ兵制改革及ヒ訓練ヲ習フ

時ニ頑民鎖國論ヲ唱フルモノト結ヒ王宮ヲ犯シ轉シテ我公使館ヲ圍ム公使花房義實捕虜
 圍ヲ衝テ歸朝シ狀ヲ具ス我政府其罪ヲ問ヒ償金五十万圓ヲ出サシメ並ニ亂徒ヲ捕ラヒ巨
 魁ヲ罰シテ謝セシム後我政府ハ彼ノ貧弱ヲ恤ミ四十万圓ヲ免ス十七年朝鮮ハ大黨獨立黨
 相爭ヒ暴徒起リ大臣ヲ刺シ王宮ヲ攻ム我公使竹添進一郎請ニ應シ兵ヲ以テ王宮ヲ衛ル時
 ニ清兵暴徒ヲ助ケ王宮ヲ侵シ我公使館ヲ襲フ竹添公使等難ヲ仁川ニ避ク我政府又問罪使
 ヲ遣ス朝鮮其罪ヲ謝シ償金ヲ出シ兇徒ヲ罰シ謝罪書ヲ至ス獨立黨ノ金玉均朴泳孝遁レテ
 我國ニ漂浪ス廿七年朝鮮東學黨ノ變ニ乘シ清國ハ朝鮮ヲ屬國ト稱シ兵ヲ出ス我國其獨立
 ヲ保持セシメントシ清國ト戰ヒ以テ朝鮮ノ獨立ヲ各國ニ承認セシム之我國ト朝鮮古來ノ
 關係ノ大畧ナリ

(一)大化ノ革新ノ大要ヲ記ヒ(明治三十二年大藏省
文官普通試驗問題)
 孝德天皇位ニ即キ中大兄皇子皇太子トナリ中臣鎌足ト圖リ積年ノ弊政ヲ一掃セントシ先
 ツ左右大臣及ヒ内臣ノ職ヲ置キ年號ヲ立テ大化ト云ヒ唐制ヲ模倣シ新政ヲ行フ新政ヲ行
 フニハ先ツ民心ヲ悅服セシムルニ如カスト鐘匱ヲ朝ニ設ケ民ノ冤枉ヲ聽キ訟ヲ直フシ使

ヲ諸國ニ遣ハシテ戸口ヲ調査シ以テ兼併ヲ杜カシメ人民私有ノ兵器ハ之ヲ國ノ兵庫ニ收
 メシム而シテ大化二年正月新政ヲ布キ四事ヲ宣ス其一ハ子代ノ民處々ノ屯倉及ヒ部曲田
 莊ヲ罷メテ公民公地トナシ大夫以上ニ食封ヲナシ官人百姓ニハ布帛ヲ賜フ其二ハ全國ヲ
 六百餘國六十餘郡一萬三千餘鄉ニ分チ京師ヲ坊ニ分チ郡ノ大中小ニ大領小領主政主帳ノ
 四部官ヲ置キ以テ郡國郷ノ政ヲナシ朝ニ大臣アリ之ヲ統ヘ中央集權ノ實ヲ舉ケ其三ハ戶
 籍計帳ニヨリ利用收授ノ法ヲ立テ其四ハ賦役ノ制ヲ改メテ田調戶別調調副物及ヒ庸役ノ
 法ヲ定ム五年又中務式部治部民部兵部刑部大藏官内ノ八省神祇宮太政官ノ二廳ヲ置キ冠
 位ヲ七色十三階ニ分ツ之ヲ大化ノ新政ト云フ

(二)奈良朝トハ何天皇ヨリ何天皇ニ至ル何年間ヲイフヤ(全上)
 元明元正聖武孝謙淳仁稱德光仁桓武ノ八朝八十五年ニシテ桓武天皇延曆十二年山城ニ遷
 都ス

(三)足利氏ノ末葉四方ニ割據セル豪族及其地方ヲ舉ケヨ(全上)
 足利氏ノ末ニ當リ群雄四方ニ割據シ織田信長ハ美濃尾張ト和泉攝津ノ内北畠氏ハ伊賀伊

勢志摩ヲ松永氏ハ大和河内ノ内筒井氏ハ大和ノ内三好氏ハ和泉攝津ノ内畠山氏ハ紀伊河内大和和泉ノ内武田氏甲信濃飛騨今川氏駿河ト三河尾張ノ内徳川氏ハ三河ノ内北條氏ハ伊豆相模下總ト上野ノ内里見氏安房上總佐竹氏常陸ノ内小田宇都宮諸氏常陸下野ノ内南部伊達相馬蘆名最上ノ諸氏奥羽一帯上杉氏ハ越中越後佐渡ト上野ノ内朝倉氏越前毛利氏周防長門安藝備中備後伯耆出雲石見隱岐山名氏ハ但馬因幡波多野氏丹波一色氏ハ丹後浮田氏備前浦上氏美作赤松別所兩氏播磨細川三好河野長曾我部諸氏ハ四國及ヒ淡路ヲ大友氏島津氏伊東氏龍造寺氏等ハ九州ヲ宗氏ハ壹岐對馬ヲ各相對立セリ

(四)關ヶ原ノ原因結果ヲ記セヨ(全上)

豊太閤薨シテ後秀頼幼ナルヲ以テ徳川家康前田利家上杉景勝毛利輝元浮田秀家(五大)及前田玄以淺野長政石田三成増田長盛長東正家等十人ヲシテ政令ヲ管掌セシム利家ヲシテ秀頼ニ保傳タラシメ家康ハ伏見ニ在リテ内外政事ノ大權ヲ行ヒ威權愈々盛ナリ三成等之ヲ妬ミ利家ヲ奉シテ家康ヲ除カント謀ル時ニ利家卒シ計成ラス既ニシテ加藤清正福島正則黒田長政等三成ヲ疾ミ家康ニ党ス毛利秀元浮田秀家上杉景勝島津義弘等三成ト結ヒ兩

党水火ノ如シ三成職ヲ罷ノ其邑澤山ニ皈リ相約シ家康ヲ謀ル而シテ上杉景勝モ亦國ニアリ相通シ東西並ヒ起テ家康ヲ伐タントス慶長五年家康景勝ヲ召ス來ラス其邑ニ據リ兵ヲ舉ク家康親ヲ軍ヲ率非テ東ス是ニ於テ三成等機乘スヘシト爲シ諸將ト兵ヲ舉ケ東西夾撃セントス家康豫メ之ヲ知ル下野ノ小山ニ至リ之ヲ聞キ結城秀康ヲシテ上杉景勝ニ備ヒシメ親ヲ世子秀忠ト諸將ヲ率ヒ西軍ニ向ヒ疾驅西上ス九月十四日關ヶ原ニ合シ十五日黎明戰端ヲ開キ大戰數合西軍敗レ三成等誅セラレ加藤清正黒田孝高等四國九州ヲ定メ上杉佐竹又降ル因テ秀頼ニハ攝津河内和泉六十五万石ヲ與ヒ家康自ラ江戸ニ居リ關東八國ヲ根據トシテ天下ニ政令シ諸將ヲ各國ニ分封ス是ニ於テ天下ノ大權悉ク家康ニ皈ス之レ關ヶ原戰役ノ結果ナリ

(一)神功皇后三韓ノ征服ハ我邦ノ文化ニ何等ノ影響アリシカ(明治三十三年四月宮崎縣文官普通講習問題)

神功皇后ノ三韓ヲ征服スルヤ熊襲ノ叛服常ナラサリシモ遂ニ止ミ内治大ニ緒ニ付キ應神天皇ノ十五年百濟王其臣阿直岐ヲ遣ハス阿直岐經典ニ通ス天皇皇子稚郎子ヲシテ就テ學ハシム更ニ博士王仁ヲ招ク王仁論語十卷千字文一卷ヲ献ス此後種々ノ文籍舶來ス於此從

來不備ノ文字ヲ補ヒ文物稍ヤ見ルヘキモノアルニ至ル降リテ後世宗教法政ノ如キ其發達又皇后ノ征服ニ起因ス又稚郎子カ儒道ヲ學ヒ仁義ノ道ヲ明カニシ其皇兄ト讓位ヲ爭ヒ薨去セラル、アルモ仁德天皇位ニ即クヤ能ク下民ノ情ヲ究メ仁政ヲ布キ君臣父子ノ如ク後世ニ美ヲ成ス之レ神功皇后カ三韓ノ征服ニヨリ文化開ケ内治ノ成就セシニ因ル

(二)大江廣元最澄紫式部吉備真備細川賴之阿部比羅夫藤原星窩僧道元以上ノ人名ヲ年代ノ順序ニヨリ排列シ且之等ノ人々ノ事蹟中著名ノモノヲ畧記スベシ(全上)

阿部比羅夫齊明天皇ノ四年東夷ノ叛スルヤ命ヲ受ケテ之ヲ征シ齋田淳代ノ二郡ヲ討シ之ヲ平ケ其地ノ酋長恩荷ヲ以テ淳代津輕二郡ノ郡司ニ任シテ還リ又肅慎ヲモ威懾セシム吉備真備ハ留學生トシテ唐ニ遊ビ孝謙帝ノ八年歸朝シ擧ケラレテ大學助中宮亮等トナリ後貶セラレテ肥前守トナリ又入京シ仕ヒテ大ニ用ヒラル真備ノ唐ニアルヤ孔明カ八陣ノ法孫子ノ九地結營ノ法ヲ學ビテ精シ僧最澄ハ桓武帝ノ時唐ニ渡リ道遠ニ學ビ歸朝シテ延曆寺ヲ建立シ天台宗ヲ興シ又密教ヲ起シ智行兼備ノ僧ニ灌頂ヲ授ケ信徒頗ル多シ又神佛混合論ヲ稱ヒ大日貴神ヲ叡山ニ鎮座シ山王權現ト稱シ敬神ノ國民ヲ誘引セリ傳教大師ト諡

ス紫式部ハ一條帝ノ御代五歲學女ノ一人ニシテ藤原爲時ノ女宣孝ノ妻ナリ幼ニシテ饒慧人ノ讀書ヲ聞ケハ輒テ暗記ス長シテ史籍ニ涉リ朝廷ノ典故ニ通ス又和歌ヲ好クス上東門院ニ仕ヒ其著源氏物語ノ如キ今ニ及テ小説ノ文章範トナル式部女德ヲ重ンシ謙遜ナリシトカ大江廣元ハ源賴朝ノ起ルヤ三善康信ト共ニ京師ヨリ行キテ帷握ニ參與ス賴朝平氏ヲ亡ホシテ霸府ヲ鎌倉ニ開キ軍國ノ事ヲ議スニ及ヒ廣元ノ力甚タ多ク公文所ノ別ヲ置キ賴朝ヲ六十六國ノ總追捕使トスル等頗ル功アリ源氏亡ブルニ及ヒ北條氏ト鎌倉幕府ノ政治ヲ採ル廣元又朝廷ノ官務ニ精通セリ僧道元ハ後堀川帝ノ時宋ヨリ皈リ曹洞宗ヲ傳ヘ禪宗始メテ興ル永平寺ヲ越前ニ創ス北條氏深ク之ヲ信シ鎌倉ニ禪寺ヲ建立シテ五山ト云曹洞宗ノ祖トス細川賴之ハ足利義滿ニ舉ケラレ執事トナルニ及ヒ執事ヲ改メ管領トナル賴之文武ヲ兼通シ最モ政畧ニ長シ義滿ヲ補佐シテ足利氏ノ根低ヲ立ツ又將士ヲ敬重シ文アリ武アルノ士ヲシテ義滿ニ待セシメ大ニ士風ヲ革ム藤原惺窩ハ德川家康ニ聘セラレ古今ノ成敗政治ノ得失ヲ論シ又大ニ朱子ノ學ヲ稱道シ一家ノ風ヲナシ門下又有名ノ學者ヲ出ス

(一)聖德太子ノ事業ヲ問フ(三十四年宮城縣)

皇太子厩戸攝政トシテ聰明衆ニ超ユ首トシテ朝制ヲ改定セントシ之レカ手段トシテ先佛
 教ヲ興隆シ教化ヲ以テ民俗ヲ化セントシ四天王寺ヲ難波ニ建テ法興寺ヲ起シ又法隆寺中
 宮寺ニ資ヲ給シ大ニ佛法ヲ説ク此時ニ當リ寺四十六僧八百十六人尼五百六十九人佛教天
 下ニ蔓延ス太子始メテ朝官ノ冠位ヲ定ム凡テ十二階又朝禮ヲ改メ出入ノ禮ヲ定ム又曆日
 ヲ用ヒ韓漢ノ曆法ニ仍ル太子此ニ於テ憲法十七條ヲ制シ訓戒ヲ垂ル法制ノ稿矢トス其要
 ハ先ツ上和下睦ヲ説キ三法ヲ信スルヲ勸メ禮信ヲ本トシ邪慾ヲ絶チ賢才ヲ舉ケ民業ヲ勸
 ムルニアリキ又小野妹子ヲ隨ニ遣ハシ書ヲ送ル隨又使者ヲ遣ハシ文物大ニ輸入ス之レヲ
 聖德太子ノ事業ト曰フ

(二)軍事上外國ト關係セシ顯著ナル事蹟四ヲ舉ケテ其原因ト結果ヲ示セ(全上)

紀元八百五十三年仲哀天皇ノ時筑紫ノ熊襲反ス討テ捷タス天皇陣中ニ崩ス初メ皇后奏シ
 テ曰ク熊襲ノ叛服常ナラサルハ其後援アルニ因ル海西國アリ金銀寶貨ニ富ム新羅ト云フ
 熊襲乙ニ據テ勢ヲ成ス之ヲ討タスハ熊襲ヲ平クル能ハスト天皇聽カス其崩スルニ及ヒ
 皇后喪ヲ秘シ急ニ師ヲ帥ヒ親ラ韓地ニ航シ之ヲ降シ戍ヲ置キ貨ヲ携ヒ金銀彩色繞羅縑緞

等八十船ヲ得之ヲ以テ年々ノ調貢トス紀元一千九百廿八年龜山天皇文永五年元主忽必烈
 使ヲ遣シ修交ヲ求ム時ニ鎌倉ノ執權北條時宗之ヲ追フ始メ元ハ其祖鉄木真カ滿州ニ興リ
 金ヲ亡ホシ宋ニ攻ム忽必烈ニ至リ宋ヲ滅シ其威四方ニ轟ク是ニ於テ餘勢ヲ以テ我國ニ通
 セント其使ヲ遣ス前後九回時宗之ヲ追還シ或ハ之ヲ斬ル元主大ニ怒リ兵ヲ以テ筑紫ニ寇
 ス探題之ヲ擊退ス元又四百州ノ兵十萬ヲ發シ壹岐對島ヲ掠畧シ筑紫ニ至ル時宗諸將ヲシ
 テ之ヲ討タシム時ニ暴風雨ニ會シ敵艦覆沒ス我兵之ニ乘シ其衆ヲ盡ス生還スルモノ纔ニ
 三人元又我邊ヲ窺ハス降テ足利氏ノ未世天下亂レ群雄四方ニ割據シ甲起リ乙迭レ秀吉天
 下ノ大權ヲ掌握シ海内一統スルヤ明主其政ヲ失フト聞キ戰後ノ餘勢ヲ以テ明韓ヲ討滅シ
 其國光ヲ輝カシ範圍ヲ廣メントシ且ツ國內ノ武士久シク戰亂ニ馴レ其平和ヲ好マサレバ
 其餘勢ヲ以テ之ヲ海外ニ及ホシ内治ノ平和ヲ圖ラント大軍ヲ韓土ニ派シ大ニ韓明ノ軍ヲ
 破ル戰未タ終ラサルニ中途ニシテ秀吉薨シ軍ヲ班ス諸將遠征ニ倦ミ奔命ニ疲ル是ニ於テ
 諸將軍ヲ還シ各其國ニ就キ海内ノ一統ヲ完クス明治廿七年朝鮮東學黨ノ變アリ清國ハ其
 禍亂ニ乘シ朝鮮ヲ已レカ屬國ト爲サントシ陰ニ陽ニ其内政ニ干涉ス然ルニ朝鮮ハ我國及

ヒ各國共ニ獨立ノ一國ト認ム故ニ清國ト協同朝鮮ノ災禍ヲ極ハントス朝鮮ハ之レヲ肯諾シタルモ清國ハ陰ニ之ヲ妨碍シ辭ヲ左右ニ托シ時機ヲ緩ニシ兵備ヲ整ヘ一舉シ朝鮮ヲ討平シ其慾望ヲ達セントシ剩ヘ我軍艦ヲ豊島ノ沖ニ要撃ス因テ我國ハ明カニ清國ハ東洋ノ平和ヲ攪亂スルモノトナシ大兵ヲ出シ廿八年ヲ以テ清ノ海軍ヲ全滅シ陸軍又滿州遼東山東ヲ占領ス清乃チ我勇武ニ屈シ和ヲ請ヒ償金二億兩及ヒ臺灣及遼東ヲ以テ和議成ル然ルニ遼東ハ露佛獨ノ干涉ニヨリ之ヲ返還シ更ニ償金ヲ増ス是ニ於テ我國威世界ヲ壓シ國光赫々タルニ至リ軍備亦大ニ整フ之レ我國外國討征ノ四大事件トス

(三) 德川幕府ノ諸侯ヲ配置セシ策ヲ問フ(全上)

德川氏幕府ヲ江戸ニ開クヤ關八州ヲ其根據地トナシ各諸侯ヲ六十州ニ分封シ其親藩ヲ要處ニ置キ舊臣ヲ以テ之ニ配ス諸侯ノ配置ハ相角立シテ爭雄ノ姿ヲ成シ親藩相聯絡シ同僚ノ懷アラシム即チ大藩ニハ島津ヲ九州ニ毛利山陽ニ前田北陸ニ伊達奥羽ニ各一隅ニアリ相特立シ親藩紀伊尾張水戸ヲ初メトシ此レニ世臣宿將ヲ聯結シ以テ諸侯慮アルニ備ヒ又權臣ヲ以テ親藩ヲ制セシメ皆其威勢權力ノ權衡ヲ得セシム

(一) 藤原氏其政權ヲ武門ニ奪ハレタル原因(廿八年六月大坂戰 務監督局文官試問)

答 藤原氏ガ其政權ヲ武門ニ奪ハレタルハ主トシテ藤氏ノ腐敗ト地方土豪ノ勃興トニアリ初メ藤原氏政權ヲ掌握スルヤ道長等ノ時ニ至リテ專横其極ニ達シ政治道德悉ク腐敗セザルハナク且ツ藤氏ノ一族ハ暗愚庸劣ノ徒ヲ以テシテ猶廟堂ノ上ニ趨走シ苟モ人材アリト雖モ用ヒズ彼等ハ祖先ノ勳勞ヲ誇リ外戚ノ威權ヲ恃ミ優柔懦弱ニ流レ觀花與月ヲ專ラニシ歌舞遊宴ヲ事トシ淫酒ニ耽リ更ニ政治ヲ顧ミズ且ツ王室ノ干城タル武備ヲ修メズ武士ヲ見ルコト土芥ノ如ク甚ダシ故ニ少シク氣節アルモノハ京師ニアリテ藤原氏ノ膝下ニ從フヲ欲セズ厥然袂ヲ拂フテ地方ニ去リ且當時地方ハ京師ノ文弱ノ淵ニ沈メルニ反シテ質素剛健ノ風盛ニシテ國司ハ土地ヲ買ヒ重任シテ長計ノ策ヲ建テ土豪諸在ニ勃興シテ土地人民ヲ私有シ隱然兵馬ヲ蓄ヘテ相ヒ爭ヒ其勢侮ル可ラザルモノアリ斯クシテ藤氏ノ政權空虚トナルヤ土豪中ノ源平二氏ハ漸次功ヲ積ミテ強大トナリ動モスレバ朝命ヲ奉ゼズ而シテ朝廷ノ官吏等自カラ是ヲ討ズルコトヲナサズ源氏叛スレバ平氏ニ命シテ討セシメ平氏朝命ニ從ハ

サル者アレバ源氏ニ令シテ之ヲ征セシム若シ他族ノ反スルアレバ源平二氏孰レカ
ヲシテ之ヲ滅セシメ朝廷ハ又一兵ヲ動かサズ故ニ官人ハ事ナク彌々國事ヲ怠リ遂
ニ兵馬ノ大權ハ源平二氏ノ手中ニ歸シ朝廷ハ官爵ヲ有スルト雖モ虛位ヲ要スル
ノミ是ニ於テ淫靡無腸ノ腐敗男子ノ政權ハ遂ニ武門ニ歸シ平氏之レニ替ルニ至
ル

(二) 左ノ人々ノ年代及ビ著明ナル事蹟

一、楠正儀

二、吉備真備

三、高山彦九郎

四、淀君

五、空海

六、稚郎子

七、青砥藤綱

答 (一) 楠正儀ハ五十九代後村上天皇ノ正平年間兄正行ト力ヲ協セ猫額大ノ地ニ天皇ヲ
擁シテ忠勤ヲ盡シ能ク足利氏ノ大軍ヲ防止シ正行ノ四條畷ニ戰死スルヤ河内ニ據
リテ能ク戰ヒ吉野ノ行宮ヲ護衛シ奉リシガ壯ニシテ逝ク

(二) 吉備真備 百六頁參照スベシ

(三) 高山彦九郎ハ上野ノ人寛政嘉永ノ頃普ク海内ヲ周遊シテ地勢人情ヲ視察シ諸所
ニ遊説シ王室ノ御衰微ヲ嘆シ京ニ入ル毎ニ必ず三條橋上皇居ヲ遙拜シテ曰ク草莽
ノ臣彦九郎ト路人集ヒ來リ觀テ狂トナシ笑ヘトモ願ミズ嘗テ尊氏ノ墓ヲ過ギリ其
罪ヲ數ヘ大ニ罵倒シ之ヲ鞭ツト三百ニ至レリ後計畫スル所アリ成ラズシテ死ス

(四) 淀君ハ後陽成帝ノ天正文錄慶長時代ノ人ナリ豊臣秀吉ニ寵愛セラレ秀頼ノ母タ
リ秀吉薨ジ秀頼次グニ及ビ淀君事ヲ恣ニシ奸臣大野治長ヲ寵シ事偏頗ル多シ方廣
寺ノ鐘銘ノ事件起ルヤ片桐且元ノ忠言ヲ容レズ反ツテ之レヲ殺シ治長ノ勤メヲ容
レテ慶長十九年十二月兵ヲ擧ゲ家康ト戰ヒ後和セシガ翌年又秀頼ヲシテ兵ヲ擧ゲ
シメシガ敗レテ五月七日遂ニ大坂落城ト共ニ自刃セリ

(五) 空海ハ平城朝ノ嵯峨帝ノ御宇眞言宗ヲ開ク讃岐ノ人ニシテ初メ儒學ヲ修メ大學
ニ入り名聲高カリシガ後佛教ニ志シ全國ノ深山幽谷ヲ跋涉シ延暦ノ末年最澄ト共
ニ遣唐使ニ從ヒテ渡唐シ僧慧果ニツイテ秘教ヲ受ケ三年ノ後歸朝シ高雄ニ住ミヌ
彼又文學ニ秀デ天皇ニ御信任厚ク高野山ニ金剛峰寺ヲ建テ又東寺ヲ建立シ後天子

ノ寵愛ノ餘宮中ニ眞言院ヲ建立スルニ至リ後弘法大師ト諡セラル

(六) 稚郎子 應神天皇ノ御子ニシテ百濟ノ阿直岐及ビ博士王仁ニ就テ漢籍ヲ學ビ大ニ得ル所アリ天皇稚郎子ヲ皇太子トナシ崩ジサセ給フヤ稚郎子ハ御位ヲ皇兄仁徳天皇ニ讓リテ「皇兄ノ仁厚ク愛深ク在マス」天下ニ聞ヘ特ニ御年長ゼサセ給ヘリ長ニテ賢ナルモノ九五ノ位ニ即クハ正道ナリ先帝ノ吾レヲ立テントセルハ私愛ニ出デタルノミ天下ノ公道ニ非ズ且ツ我レ不肖ニシテ天下ヲ治ムルノ徳ナシ皇兄願ハクハ速カニ御位ニ即カセ給ヘ我ハ謹ンデ下臣ニ列ス可シト而シテ仁徳帝謙讓シテ聽カセ王ハズ皇子即チ菟道ニ遜レ肯テ位ニ即カセ給ハザリシガ互ニ讓位セサセ給フ三年天下ノ調貢スル者ノ到ル所ニ惑フヲ見サセラレ意ヲ決シテ自ラ及ニ伏シテ薨ジサセ給フ

(七) 青砥藤綱ハ寛元年間執權時頼ニ擧ケラレ左尉門尉ヲ拜シ引付衆トナル藤綱廉潔ニシテ學識アリ聽訟明斷ヲ以テ稱セラル嘗テ夜滑川ヲ渡リ錢十文ヲ水中ニ落シ五十五文ヲ出シ炬ヲ買ヒ夫ヲ雇ヒテ搜索セリ人其得失相償ハザルヲ笑フ藤綱曰ク五十

文ハ我手ヲ去ルモ民間ニアリ落シタルハ小ト雖モ永ク世ノ用ヲ失フト聞ク者嘆賞セザルナシ藤綱剛直ニシテ忤貴ヲ憚ラズ世ヲ感化スルヲ夥多ナリキ

(一) 藤原氏ノ政權ヲ失ヒシ原因(前項參照)(卅八年六月大藏省名古屋稅務署)

(二) 關ヶ原役ノ起因

答 豊臣秀吉ノ天下ノ權ヲ掌握スルヤ當時ノ諸侯ハ皆雄健ナル豪傑輩ニシテ猶且靜謐ナルヲ得シハ只一ニ太閤ノ非常ナル雄才アリシニ依ルノミサレバ秀吉ノ薨ズルヤ繼子秀頼ノ材幹乏シク諸侯ヲ御スル能ハザリシカバ徳川家康ハ先ツ扶殖セル勢力ヲ振作シ三成之ニ對シテ權勢ヲ爭ヒ天下ヲ握ラントスルノ野心勃々タリ然シテ加藤清正福島正則等三成ノ奸佞ヲ憤リ之ヲ除カントス家康論シテ止ム三成即チ佐和山ニ歸リ陰ニ計圖シ竊ニ好ヲ上杉景勝ニ通ジ家康ヲ陸奥ニ誘致シテ西國ノ諸侯ト挾撃セントス故ニ景勝ハ期ヲ過ギテ尙ホ上京セズ陰ニ兵馬ヲ練ル家康遂ニ兵ヲ發シテ陸奥ヲ攻ム三成直チニ大坂ニ上リ大谷吉隆ノ諫ムルヲ聽カズ増田長盛、長束正家等ト謀リ詐リ秀頼ノ命ト稱シ兵ヲ擧グ此ニ於テ毛利輝元安藝ヨリ來リ會ス毛利

子固ト聲望アリ三成即チ輝元ヲ推シテ盟主トナシ浮田秀家豊臣秀秋嶋津義弘小西
行長等關西ノ諸將多ク之ニ與ス會スルモノ諸侯四十三人應スルモノ三十六國其兵
十八万四千人ナリ三成等即チ諸將ノ向フ所ヲ部署シ進ンデ美濃ニ入ル家康變ヲ聞
キ其子秀康ヲ留メテ景勝ニ當ラレシメ自ラ軍ヲ旋シ部下井伊直政本田忠勝等ヲ率
エテ西上ス福島正則細川忠興池田輝政淺野幸長黒田長政、山内一豊蜂須賀至鎮等
之ニ屬シ加藤清正黒田考高ノ如キ豊臣氏ニ忠ナルモノモ亦三成行長ヲ惡シテ家康
ニ屬シ家康ノ兵八万五千人遂ニ慶長五年關ヶ原ニ會戰スルニ至レリ

(三) 十八年官判ノ大要

答 明治十八年十二月太政大臣三條實美ノ奏議ヲ用ヒ三大臣參議諸省郷ヲ廢シ更ニ十省
ヲ置キ其ノ長ヲ大臣ト稱シ副ヲ次官ト稱ス各省大臣ハ又國務大臣トシテ内閣ノ一
員タリ上ニ總理大臣一人ヲ置キテ以テ全局ノ統一ヲ掌ラシム即チ外務内務大藏陸
軍海軍司法文部農商務遞信宮内ノ十省ニシテ但ダ宮内省ノミハ内閣以外ニ立テ皇
室ニ隸ス之レ歐州制度ニ則レルモノニシテ全ク伊藤博文ノ計畫ニ成レルモノナリ
ト云フ

地理

(一) 我國水産業ノ盛ナル地方ヲ列舉シ其種類ヲ舉ケヨ(三十二年官判大要)
水産業ハ我國富源ノ一ニシテ四面海ヲ環ラス國ナルヲ以テ何レノ地モ漁業盛ナリ故ニ之
レヲ列舉センカ其繁ニ堪ヘヌ故ニ今大要ヲ舉ケテ以テ止ム
九十九里ノ濱ハ鱚ヲ最トシ干鰯ノ産實ニ巨額ナリ伊勢ノ鰻尾張三河ノ海參駿河與津ノ鰯
品海ノ海苔伊豆相模鳥賊鰻下總鰻鯉鮒鹿島浦ノ鱚陸前陸中ニテ鮪與羽ノ日本海岸ニ鰻鯉
鰻岐ノ鯖鰯干鰯伯耆ニ白珊瑚瀬戸内海一帶ノ地鰻鰯鰻海參鰻多ク岡山赤穂ニ鹽土佐ノ鰻
珊瑚阿波ノ齊田鹽鰻岐ノ食鹽鰻鰻又紀州沖ヨリ土佐沖ニ亘リ捕鯨頗ル盛ナリ五島近海ニ
鯨鱚鯉鮪海草鯛牡蠣ハ九州一般ニ多ク有明沖ハ鰻永良部鰻薩摩ニ鰻節千島ニ鰻虎鰻鰻
鯨北海道ハ全海岸悉ク漁場ニシテ鮭鱒鱈鯉昆布等多ク産シ其他流球台灣及ヒ全沿海ノ地
皆漁業盛ナリ

(二) 京都ヲ出發シ東京ニ到達スル迄ノ道筋ニアル縣廳ノ所在地ヲ問フ(全上)

澁賀縣應近江ノ大津三重縣應伊勢ノ津又ハ岐阜縣應美濃ノ岐阜愛知縣應尾張ノ名古屋靜岡縣應駿河ノ靜岡神奈縣應相模ノ横濱ニシテ其出發地ハ山城ノ京都其到達地ハ武藏ノ東京ニシテ三重ト岐阜トハ鐵道ノ線路ニ途ニ岐カル然レモ徒歩旅行センニハ東海道ト中山道ニヨリ異ナルモ現時旅客其東海道及瀛車ニ依ルヲ以テ長野縣埼玉縣群馬縣及ヒ山梨縣等ヲ通路トシテ茲ニ舉ケス

(三)我國海軍鎮守府ノ所在及所管區域ヲ問フ(全上)

全國ヲ五鎮守府ニ分チ環海ヲ防衛ス

第一相模國三浦郡横須賀ニアリ陸中ノ南北閉伊郡界ヨリ紀伊ノ南東牟婁郡界ニ至ルノ海岸海面及ヒ小笠原島ノ海岸海面

第二安藝國安藝郡吳港ニアリ九州ノ東岸及紀伊國南東牟婁郡界ヨリ石見長門ノ國界ニ至ル海岸海面及四國ノ四周並ニ内海

第三肥前國東彼杵郡佐世保港ニアリ九州ノ南西北岸及ヒ壹岐對馬諸島ノ海岸海面

第四丹後國加佐郡舞鶴港石見長門國界ヨリ羽後陸奥國界ニ至ル海岸海面及ヒ隱岐佐渡ノ

海岸海面ニシテ明治卅四年開府セリ

第五膽振國室蘭郡室蘭港ニアリ北海道陸奥及ヒ陸中北九戸南九戸兩郡ノ海岸海面ニシテ未設ニ屬ス

(四)我國重要鑛產ヲ舉ケ重ナル鑛山ヲ列舉セヨ(全上)

鑛物重要ナルモノハ佐渡ノ金銀鑛アリ但馬生野ノ銀山下野足尾ノ銅山其他九州ニ阿蘇山ノ硫黃四國ニ別子ノ銅山市川ノ安質母尼鑛山中國ニ笹ヶ谷銅山大森銀山東北地方ニ尾去澤小真木院内銀銅山北上川山系ニ鉄鑛アリ千島帶ニ硫黃アリ又滿庵ハ北海道四國七野能登等ニ石炭ハ肥前ノ高島ヲ最トシ筑前筑後磐城常陸北海道等ヲ主トス石灰ニハ豊前長門大理石ニハ美濃常陸花崗石ハ攝津水晶ハ若狹甲斐等ニシテ其他少額ノ產地處々ニアリ

(五)左ノ地名ニ就テ知ル所ヲ記セ

(イ)米子(ロ)上田(ハ)博多(ニ)淡水(ホ)銚子(ヘ)打狗(ト)福井(チ)高知(リ)三春(ヌ)五島

(イ)米子町ハ伯耆國ニアリ深浦ニアル港ニシテ人口一萬四千餘加藤氏ノ城趾アリ

(ロ)上田町ハ信濃國ニアリ千曲河ノ上流ニ臨ミ蠶糸蠶卵紙上田縞ヲ出タスヲ以テ名アリ
(ハ)博多ハ筑前國福岡市ノ一部ニシテ博多灣ニ面シ形勝ノ地ナリ元寇ノ跡ニシテ今特別
輸出港タリ博多織ノ如キ世ニ名高シ

(ニ)淡水港ハ台北縣淡水河口ニアリ基隆ニ次ク港ニシテ台北ニ近ク船舶出入ス

(ホ)銚子町ハ下總國ノ東端ニ位シ利根河口ニアリ大平洋ニ面シ燈明台アリ漁業盛ニシテ
人口千葉縣第一タリ銚子縮醬油ヲ産ス

(ヘ)打狗港ハ台南府ノ南十二里鳳山ニ近キ一岬角長ク南ヨリ出テ一灣ヲ抱キ自ラ良港ヲ
ナス然レモ港門狭ク砂多ク大船ヲ入レズ砂糖ノ輸出場タリ

(ト)福井市ハ越前ニアリ元ト北ノ莊ト稱シ柴田勝家之ニ據リ德川秀康封セラレ福井ト改
ム足羽川ノ兩岸ニ跨リ九十九橋ヲ以テ連ル絹布ノ機業盛ニシテ人口四萬三千餘ヲ有ス

北陸ノ名邑ニシテ縣廳ノ所在地タリ

(チ)高知市ハ土佐國鏡川ノ三稜洲ニアリ山内侯ノ舊城地ニシテ高知縣廳ヲ置ク

(カ)三春町ハ磐城國田村郡ニアリ馬ヲ産スルヲ以テ名アリ世ニ三春駒トテ駿馬多ク騎乘

ニ述ス

(ヌ)五島ハ長崎ノ西北彼杵半島ノ西ニアル一列島ニシテ附近ノ海頗ル魚族ニ富ミ五島鯨
五島鰯ハ古來其名高シ

(二)左ノ各項ヲ示シタル本縣ノ畧圖ヲ記セ(明治三十二年三月長野縣文官普通試驗)

一 郡市ノ區分

二 郡役所所在ノ市町村名

三 有名ナル河川

(解説)本問題ハ畧圖ヲ附セトアルモ之レ反テ讀者ノ煩トスル處ナレハ茲ニ之ヲ措テ贅セ
ス以下記シテ參考ニ供ス

郡市ノ區分ハ市ハ獨リ長野市ノミニシテ郡ハ東筑摩郡、西筑摩郡、更級郡、殖科郡、上水内
郡、下水内郡、伊那郡、下伊那郡、諏訪郡、北佐久郡、上高井郡、小縣郡、南安曇郡、北安曇
郡等又郡役所所在地市町村名ハ長野市、松本町、上田町、小諸町、福島町、高島町、岩村田
町、大町、須坂町、飯田町、松代町、下諏訪町、高遠町等ニシテ有名ナル河川ハ我國史上ニ於